

第2次総合計画及び合併 10 年の検証に関する
東御市まちづくりアンケート調査
報 告 書

平成 24 年 12 月

東 御 市

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査設計	3
4. 報告書の見方	3

II 調査の結果

1. 回答者の属性	7
2. 市への愛着・定住意向	11
3. これまでの市の取り組み全般	18
4. 今後のまちづくりについて	27
5. 東御市の主要課題	41
6. 町村合併による変化	47

III 自由回答

1. 自然環境・生活環境	63
2. 産業	68
3. 保健・医療・福祉	71
4. 教育・文化	73
5. 市政・まちづくり	74
6. その他	82

I 調査の概要

1. 調査の目的

新たなまちづくりの指針となる「第2次東御市総合計画」策定に資するため、市が進めてきた施策に対する満足度・重要度、また、2町村の合併から10年を迎えようとする今、合併後の東御市について、住民の意向を確認することを目的にアンケート調査を実施した。

2. 調査内容

- (1) ご自身のことについて
- (2) 市への愛着・定住意向について
- (3) これまでの市の取り組み全般
- (4) 今後のまちづくり
- (5) 東御市の主要課題
- (6) 合併後の変化
- (7) 自由意見

3. 調査設計

- (1) 調査対象 東御市に在住する16歳以上の市民
- (2) 標本数 2,500人
- (3) 標本抽出方法 層化2段階無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布・郵送回収
- (5) 調査期間 平成24年9月～10月
- (6) 回収結果

項 目	今回調査	〔参考〕 前回調査 (平成16年11月実施)
サンプル数	2,500	2,500
有効回収サンプル数	820	1,090
有効回収率	32.8%	43.6%

4. 報告書の見方

○報告書にある『前回調査』とは、平成16年11月に実施した東御市総合計画策定のためのアンケート調査結果を、『合併前調査』とは平成14年10月に実施した「東部町と北御牧村が合併した場合の新市まちづくり（将来構想）のためのアンケート調査」を指す。

○調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

○複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。

○図表中の「n=」とは、回答者数を表す。

○選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがある。

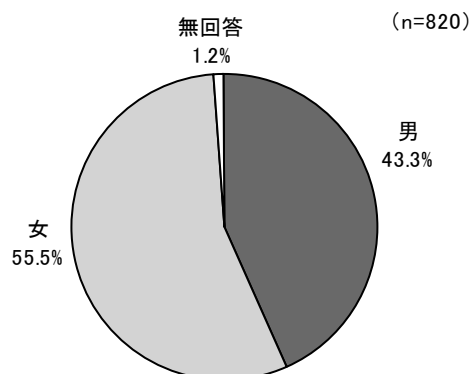
Ⅱ 調査の結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。[1つだけお選びください]

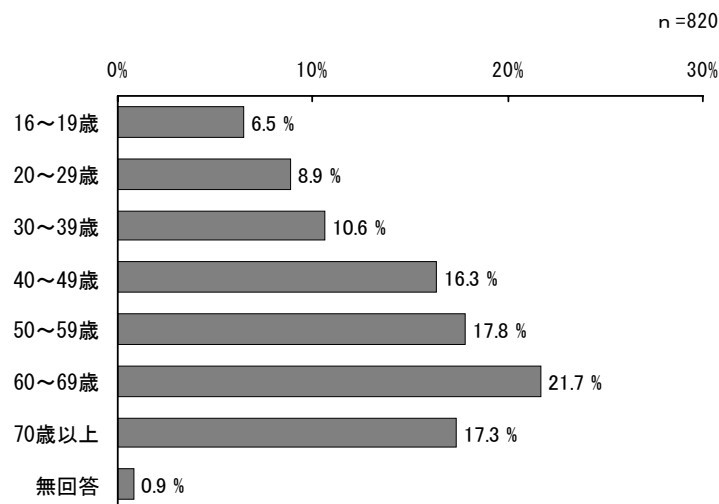
回答者は、「女」が55.5%、「男」が43.3%である。



(2) 年齢

問2 あなたはおいくつですか。[1つだけお選びください]

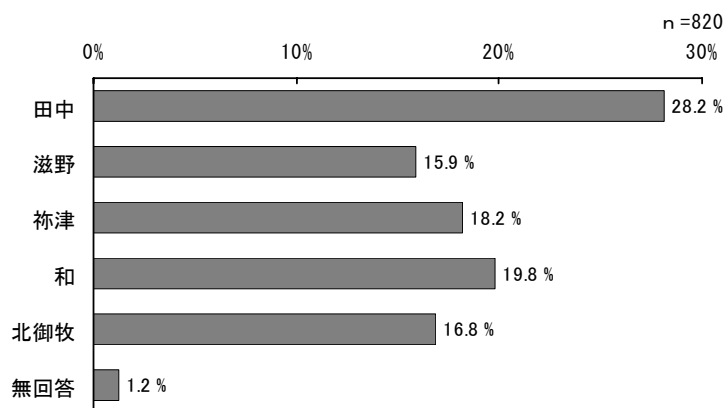
年齢は、「60～69歳」(21.7%)が最も多く、次いで「50～59歳」(17.8%)、「70歳以上」(17.3%)、以下「40～49歳」(16.3%)、「30～39歳」(10.6%)、「20～29歳」(8.9%)、「16～19歳」(6.5%)の順となっており、概ね、「60～69歳」までは年齢が上がるほど回答者が多くなる傾向にある。



(3) 居住地域

問3 お住まいの地区はどちらですか。[1つだけお選びください]

居住地域は、「田中」(28.2%)が他の地域に比べやや多く、以下、「和」(19.8%)、「柵津」(18.2%)、「北御牧」(16.8%)、「滋野」(15.9%)などの順である。

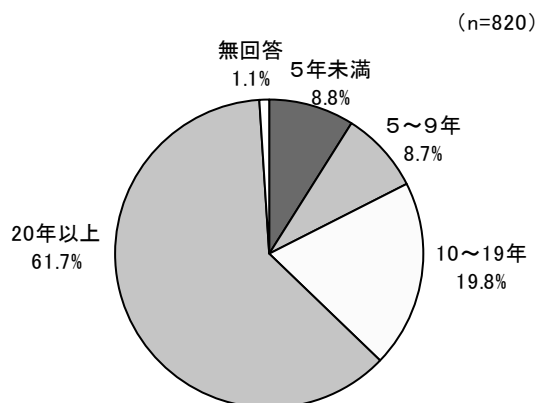


(4) 居住歴

問4 あなたは現在の地区に、何年くらい住んでいますか。[1つだけお選びください]

居住歴は、「20年以上」(61.7%)が圧倒的に多く6割以上を占め、次いで「10～19年」(19.8%)、「5年未満」(8.8%)、「5～9年」(8.7%)と続く。

[全体集計]



前回調査との比較

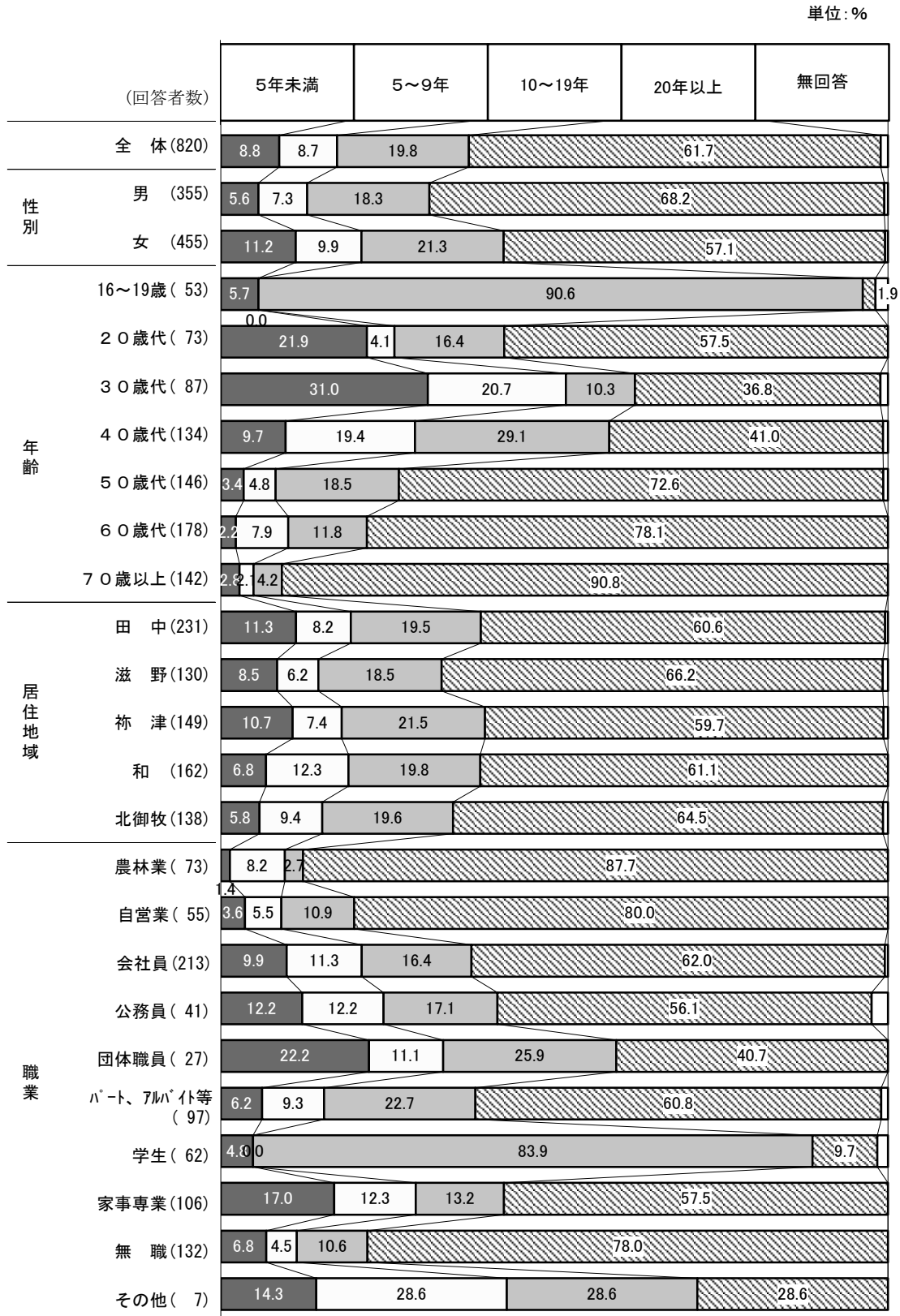
前回調査（平成16年11月実施）との比較では、「20年以上」がともに最も多く、今回調査（61.7%）と前回調査（62.0%）ではほぼ変化はない。一方、「5年未満」は10.6%から8.8%へ減少、それに代わり「10～19年」が17.2%から19.8%へと増加している。

		単位: %				
(n=)		5年未満	5～9年	10～19年	20年以上	無回答
今回調査 (820)		8.8	8.7	19.8	61.7	1.1
前回調査 (1090)		10.6	8.9	17.2	62.0	1.4

〔クロス集計〕

性別では、「20 年以上」は女性（57.1％）に比べ男性（68.2％）に多くなっている。年齢では、70 歳以上（90.8％）で 9 割を占める。居住地域での差はほとんど見られない。また、職業では「農林業」（87.7％）、「自営業」（80.0％）、「無職」（78.0％）などで特に多くなっている。

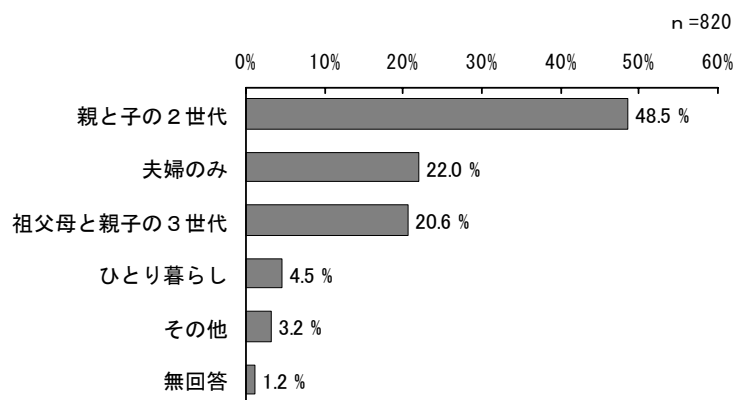
一方、「5 年未満」は、女性（11.2％）が男性（5.6％）を上回り、年齢では 30 歳代（31.0％）に多い。居住地域では、田中（11.3％）、「柰津」（10.7％）でやや多く、1 割を超える。



(5) 家族構成

問5 家族の構成は。[1つだけお選びください]

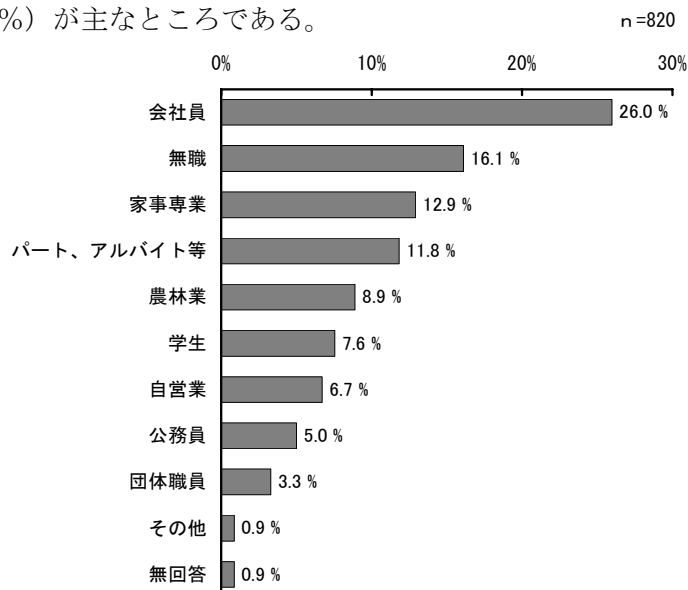
「親と子の2世代」(48.5%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(22.0%)、「祖父母と親子の3世代」(20.6%)、「ひとり暮らし」(4.5%)、「その他」(3.2%)の順となっている。



(6) 職業

問6 主な職業はどれにあてはまりますか。[1つだけお選びください]

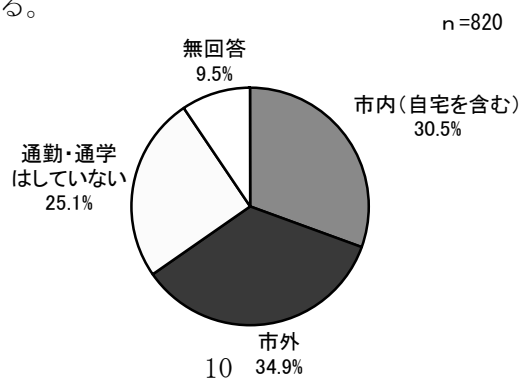
「会社員」(26.0%)、「無職」(16.1%)、「家事専業」(12.9%)、「パート、アルバイト等」(11.8%)、「農林業」(8.9%)が主なところである。



(7) 通勤地・通学地

問7 あなたの勤務地または通学地は。[1つだけお選びください]

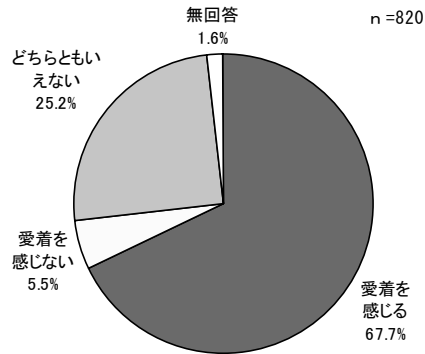
「市外」(34.9%)が最も多く、次いで「市内(自宅を含む)」(30.5%)、「通勤・通学はしていない」(25.1%)の順である。



2. 市への愛着・定住意向

問8 あなたは、東御市に愛着を感じますか。[1つだけお選びください]

「愛着を感じる」(67.7%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(25.2%)、「愛着を感じない」(5.5%)は1割に満たない。



[クロス集計]

性別ではほとんど違いはみられないが、年齢別では「愛着を感じる」は70歳以上(78.9%)で最も多く、30歳以上では年齢が高くなるにつれて多くなっている。反対に、「愛着を感じない」は30歳代と20歳代(各13.8%、11.0%)で1割を超える。16～19歳では、「どちらともいえない」(37.7%)も4割近い。

居住地域では、「愛着を感じる」は滋野地区と和地区(各73.8%、72.2%)で多く7割台、反対に「愛着を感じない」は、北御牧地区(8.0%)が最も多い。

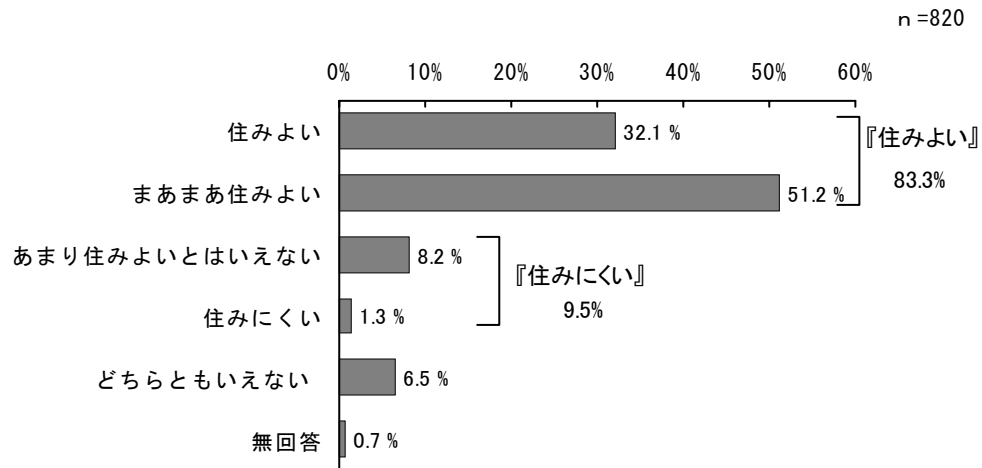
単位: %

(回答者数)		愛着を感じる	愛着を感じない	どちらともいえない	無回答
全 体 (820)		67.7	5.5	25.2	1.6
性別	男 (355)	67.3	6.2	25.6	0.8
	女 (455)	68.6	5.1	25.3	1.1
年齢	16～19歳 (53)	56.6	3.8	37.7	1.9
	20歳代 (73)	68.5	11.0	20.5	0.0
	30歳代 (87)	58.6	13.8	24.1	3.4
	40歳代 (134)	64.2	5.2	29.9	0.7
	50歳代 (146)	68.5	4.1	26.7	0.7
	60歳代 (178)	70.2	3.4	25.3	1.1
	70歳以上 (142)	78.9	2.1	19.0	0.0
居住地域	田 中 (231)	68.4	4.8	25.1	1.7
	滋 野 (130)	73.8	5.4	20.8	0.0
	柵 津 (149)	66.4	4.0	29.5	0.0
	和 (162)	72.2	5.6	21.0	1.2
	北御牧 (138)	60.1	8.0	30.4	1.4

問9 あなたにとって、東御市は住みよいまちですか。[1つだけお選びください]

「まあまあ住みよい」(51.2%) が最も多く、「住みよい」(32.1%) と合わせた『住みよい』(83.3%) と8割以上を占める。

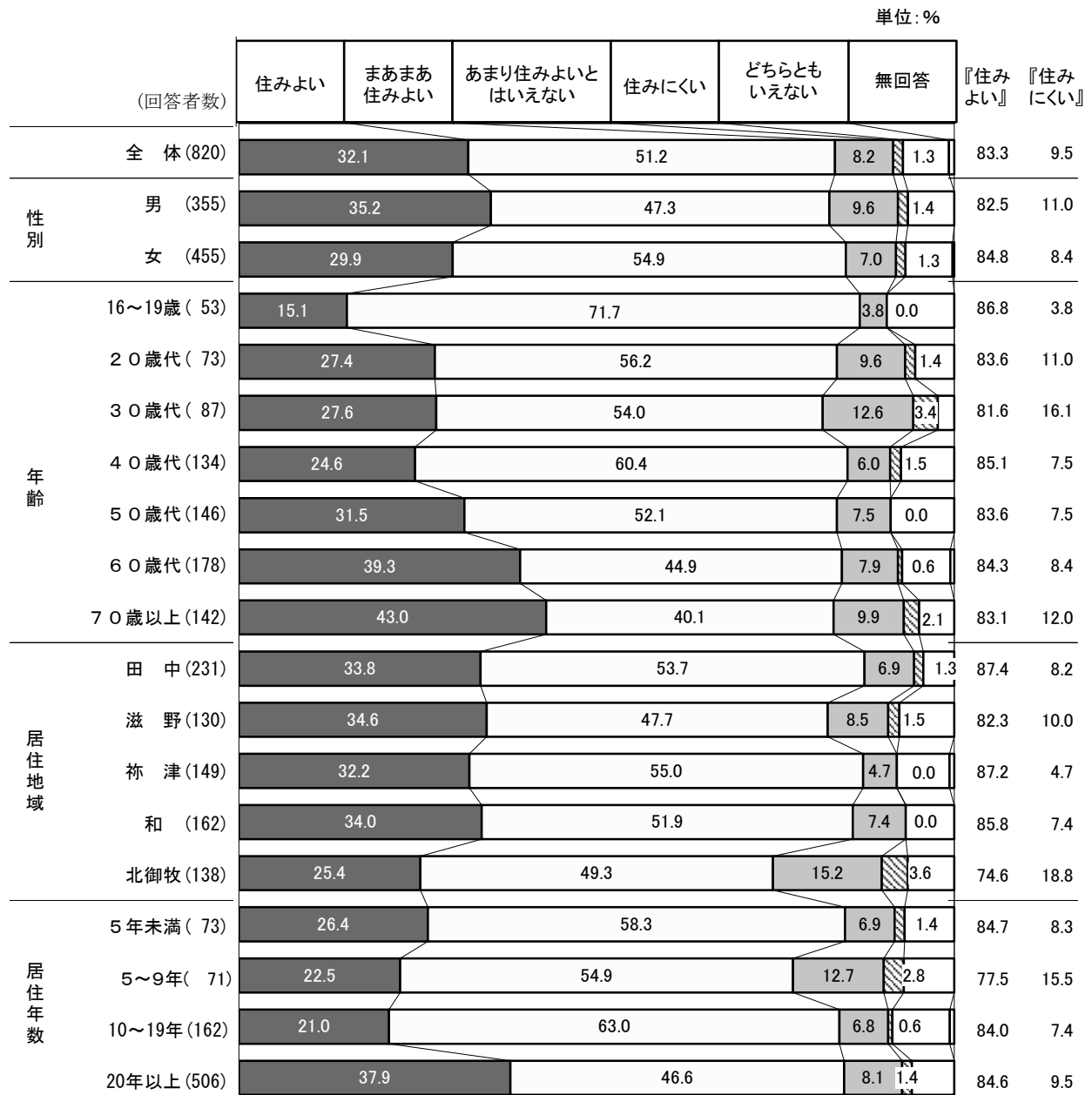
反対に、「あまり住みよいとはいえない」(8.2%)、「住みにくい」(1.3%) を合わせた『住みにくい』(9.5%) は1割未満にとどまる。



〔クロス集計〕

『住みよい』は、性別では女（84.8％）が男（82.5％）を上回り、年齢ではいずれの年代でも8割を超える。居住地域では北御牧（74.6％）、居住年数では5～9年（77.5％）を除き8割を超えている。

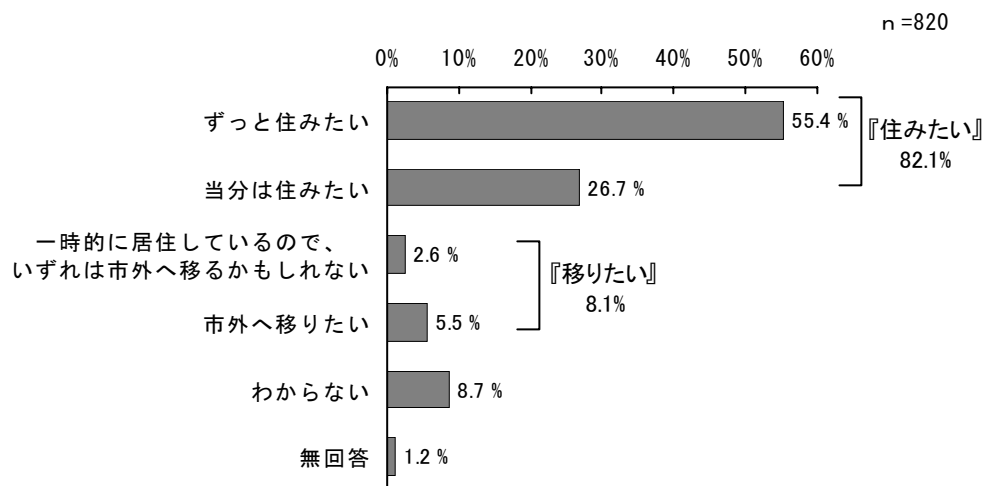
これに対し『住みにくい』は、年齢では30歳代（16.1％）で最も多く、20歳代（11.0％）、70歳以上（12.0％）で1割を超える。居住地域では、北御牧（18.8％）で2割弱と特に多く、居住年数では、5～9年（15.5％）が多くなっている。



問 10 あなたは、これからもずっと東御市に住み続けたいと思いますか。[1 つだけお選びください]

市への定住意向については、「ずっと住みたい」(55.4%) が最も多く、続く「当分は住みたい」(26.7%) を合わせた『住みたい』(82.1%) は 8 割を超える。

一方、「市外へ移りたい」(5.5%)、「一時的に居住しているので、いずれは市外へ移るかもしれない」(2.6%) を合わせた『移りたい』(8.1%) は 1 割弱にとどまる。「わからない」(8.7%) も 1 割弱とやや多くなっている。



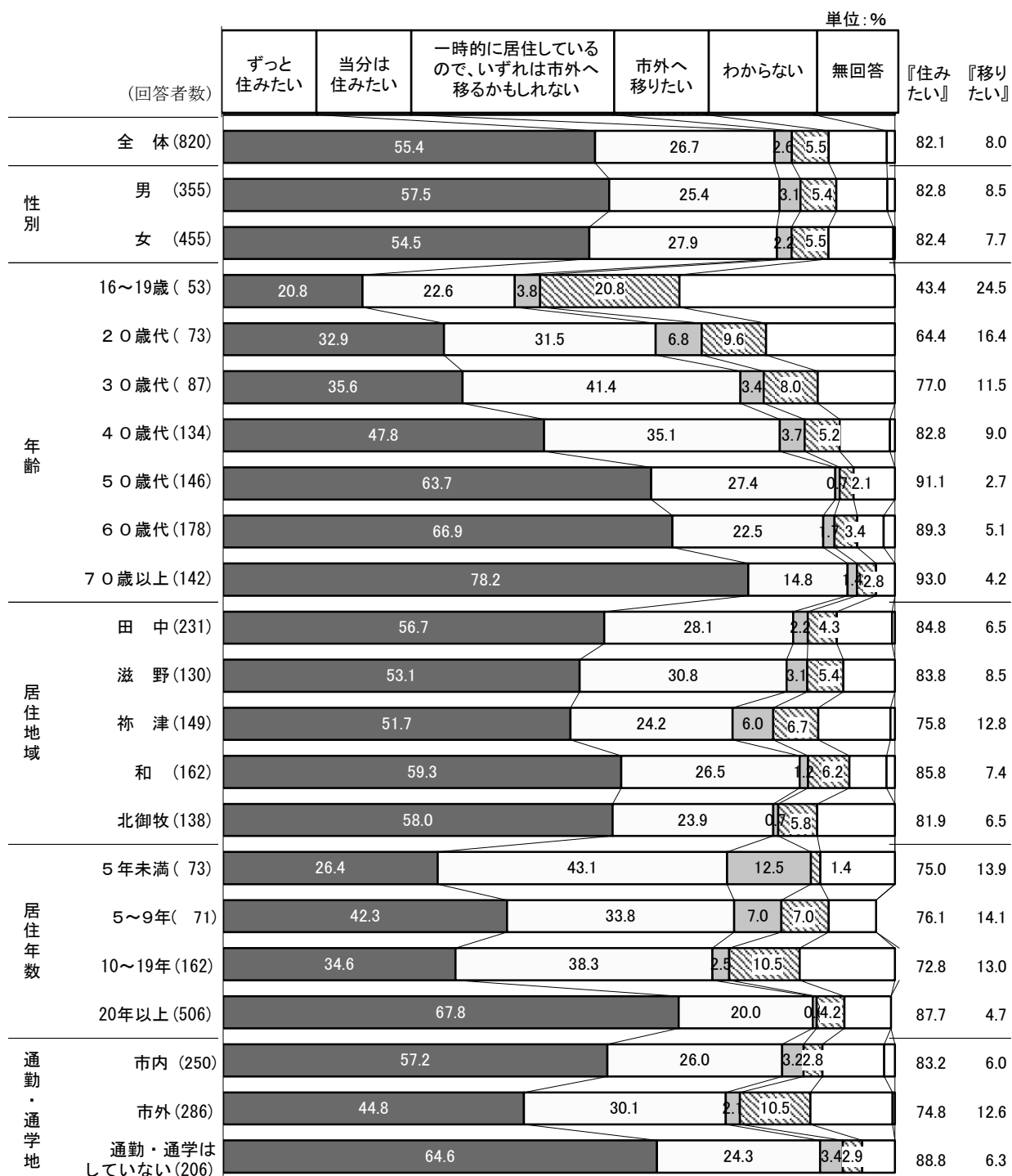
〔クロス集計〕

「ずっと住みたい」との回答が多い属性は、年齢では 70 歳以上 (78.2%)、居住年数では 20 年以上 (67.8%) である。

『住みたい』は、性別ではあまり差がないが、年齢では 70 歳以上 (93.0%) が 9 割を超えるなど特に多く、年代が高くなるにつれて多くなる傾向にある。居住地域では、和地区 (85.8%) が最も多く、その他の全地区でも『住みたい』が 7 割半ばを超えている。居住年数別では、20 年以上 (87.7%) で最も多く、次いで 5～9 年 (76.1%)、5 年未満 (75.0%)、10～19 年 (72.8%) の順となっている。

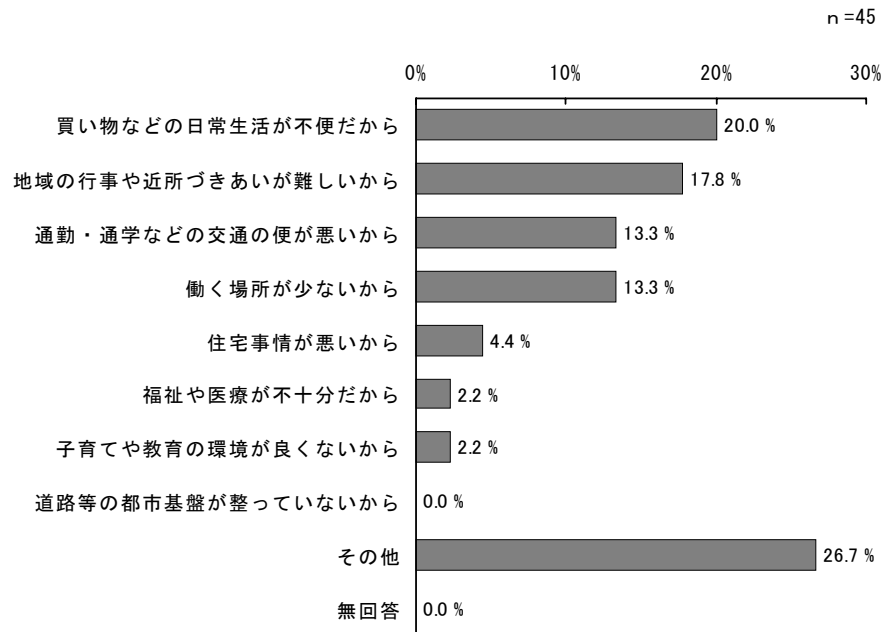
これに対し『移りたい』は、年齢では 16～19 歳 (24.5%) が最も多く、概ね年齢が高くなるにつれ、少なくなる傾向にある。居住地域では、祢津地区 (12.8%) が最も多く、全体 (8.0%) を 4.8 ポイント上回っている。また、居住年数では 5～9 年 (14.1%) が最も多く、5 年未満 (13.9%)、10～19 年 (13.0%)、20 年以上 (4.7%) の順となっている。

通勤・通学地別では、市外 (12.6%) のみ 1 割を超える。



**問 10-1（問 10 で「4」と回答した方のみ）市外へ移りたいと思われる理由は何ですか。
〔1つだけお選びください〕**

市外へ移りたいと思う理由は、「その他」を除き、「買い物などの日常生活が不便だから」（20.0%）が最も多く、次いで「地域の行事や近所づきあいが難しいから」（17.8%）、「通勤・通学などの交通の便が悪いから」「働く場所が少ないから」（各 13.3%）などが主なところである。



〔クロス集計〕

市外へ移りたいとした人は、全体の 5.5%（45 人）であることから、クロス集計は参考までに掲載する。性別でみると、男性が女性を上回るものとしては、「地域の行事や近所づきあいが難しいから」「通勤・通学などの交通の便が悪いから」（各 18.3 ポイント差、13.1 ポイント差）、反対に女性が男性を上回るものは、「買い物などの日常生活が不便だから」（17.5 ポイント差）となっている。年齢別では、「通勤・通学などの交通の便が悪いから」「買い物などの日常生活が不便だから」をあげる年代が比較的多いが、20～29 歳の「働く場所が少ないから」（57.1%）、40～49 歳の「地域の行事や近所づきあいが難しいから」（57.1%）が他に比べやや多い。

居住地域では、滋野地区の「買い物などの日常生活が不便だから」（42.9%）、祢津地区の「地域の行事や近所づきあいが難しいから」（40.0%）が比較的多くなっている。

通勤・通学地別では、市外で「働く場所が少ないから」（20.0%）が多くあげられている。

単位：人
%

		回答者数（人）	通勤・通学などの交通の便が悪いから	買い物などの日常生活が不便だから	働く場所が少ないから	住宅事情が悪いから	地域の行事や近所づきあいが難しいから	福祉や医療が不十分だから	道路等の都市基盤が整っていないから	子育てや教育の環境が良くないから	その他	無回答
全体		45 100.0	6 13.3	9 20.0	6 13.3	2 4.4	8 17.8	1 2.2	0 0.0	1 2.2	12 26.7	0 0.0
性別	男	19 100.0	4 21.1	2 10.5	3 15.8	1 5.3	5 26.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 21.1	0 0.0
	女	25 100.0	2 8.0	7 28.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	8 32.0	0 0.0
年齢	16～19歳	11 100.0	4 36.4	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 36.4	0 0.0
	20～29歳	7 100.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
	30～39歳	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	50～59歳	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	60～69歳	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0
	70歳以上	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
居住地	田中	10 100.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	滋野	7 100.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	祢津	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	和	10 100.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	北御牧	8 100.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
居住年数	5年未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	5～9年	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	10～19年	17 100.0	4 23.5	2 11.8	3 17.6	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 41.2	0 0.0
	20年以上	21 100.0	1 4.8	6 28.6	3 14.3	1 4.8	6 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 19.0	0 0.0
通勤・通学地	市内（自宅を含む）	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	市外	30 100.0	5 16.7	4 13.3	6 20.0	1 3.3	4 13.3	1 3.3	0 0.0	1 3.3	8 26.7	0 0.0
	通勤・通学はしていない	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。（回答者1人の項目は除く）

3. これまでの市の取り組み全般

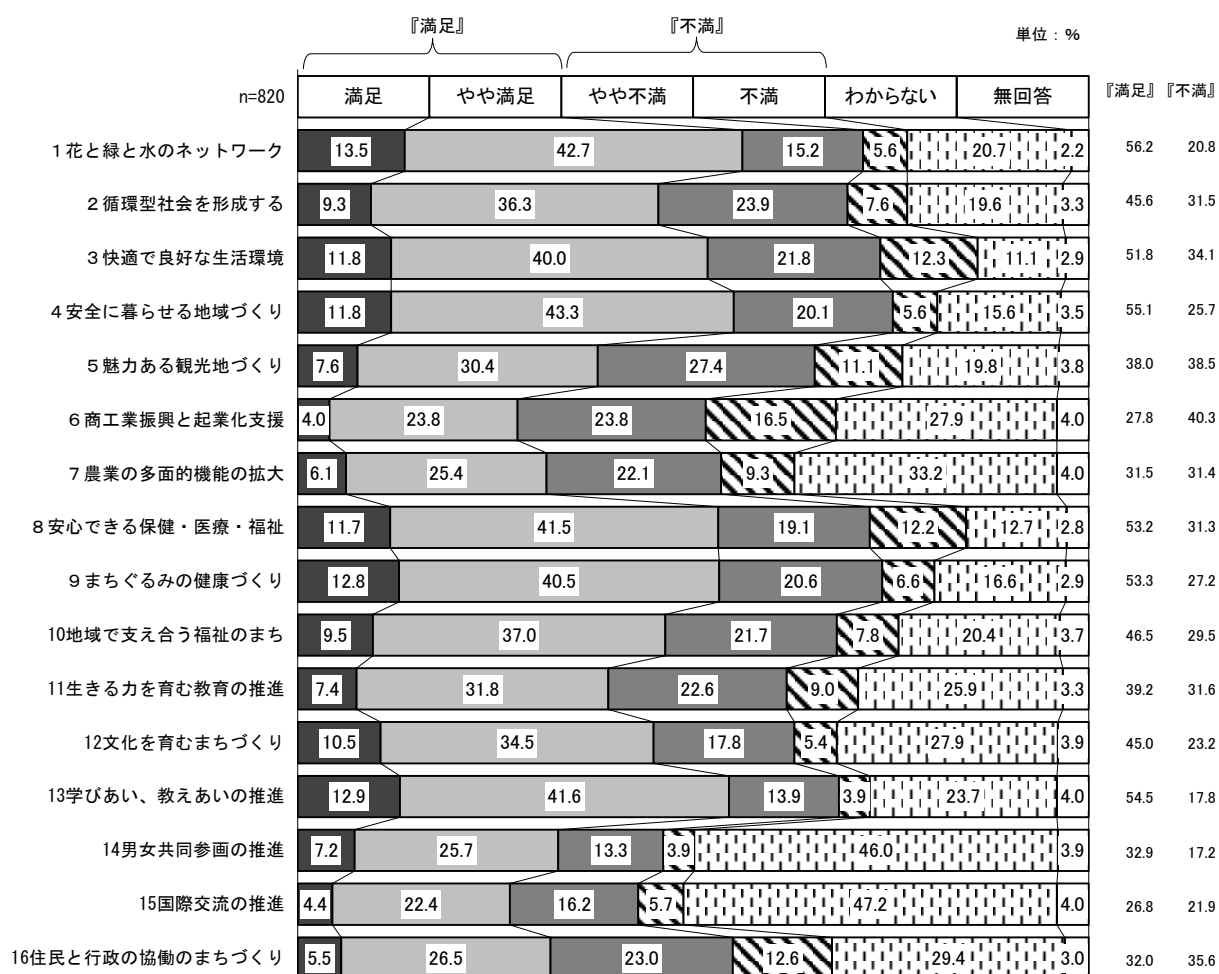
**問 11 あなたは、これまでの東御市の取り組みについて、どれくらい満足していますか。
また、それは今後の東御市にとって、どのくらい重要であると思いますか。**
〔項目ごとに、「満足度」はA～E、「重要度」は1～5の中から、それぞれ1つずつお選びください〕

(1) 満足度

市の取り組みに対する満足度について、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が半数を超える項目は、「花と緑と水のネットワーク」（56.2%）、「安全に暮らせる地域づくり」（55.1%）、「学びあい、教えあいの推進」（54.5%）、「まちぐるみの健康づくり」（53.3%）、「安心できる保健・医療・福祉」（53.2%）、「快適で良好な生活環境」（51.8%）の6項目である。

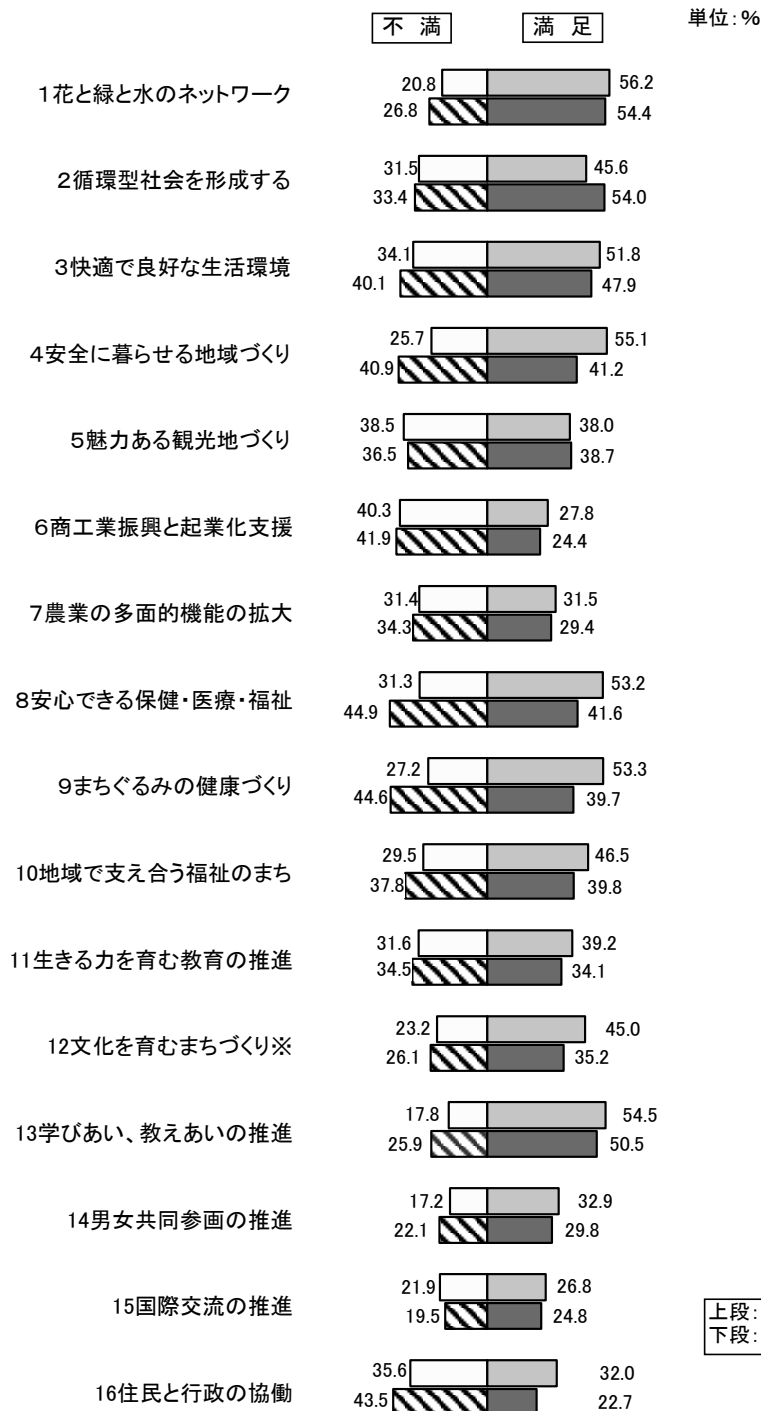
反対に『不満』（「不満」＋「やや不満」）で半数を超える項目はないが、「商工業振興と起業化支援」（40.3%）のみ4割を超え多い。次いで「魅力ある観光地づくり」（38.5%）、「住民と行政の協働のまちづくり」（35.6%）、「快適で良好な生活環境」（34.1%）などが比較的多くなっている。

『不満』が『満足』を上回るのは、「商工業振興と起業化支援」「住民と行政の協働のまちづくり」「魅力ある観光地づくり」の3項目であるが、特に「商工業振興と起業化支援」については、12.5ポイント差となっている。



前回調査との比較

前回調査（平成 16 年 11 月実施）との比較では、『満足』との回答は、「循環型社会を形成する」「魅力ある観光地づくり」を除き、今回調査が前回調査を上回る。特に、「安全に暮らせる地域づくり」「まちぐるみの健康づくり」「安心できる保健・医療・福祉」「文化を育むまちづくり」「住民と行政の協働」（各 13.9 ポイント差、13.6 ポイント差、11.6 ポイント差、9.8 ポイント差、9.3 ポイント差）などで大きく増加している。一方、『不満』で今回調査が前回調査を上回ったものは「魅力ある観光地」（2 ポイント差）のみである。



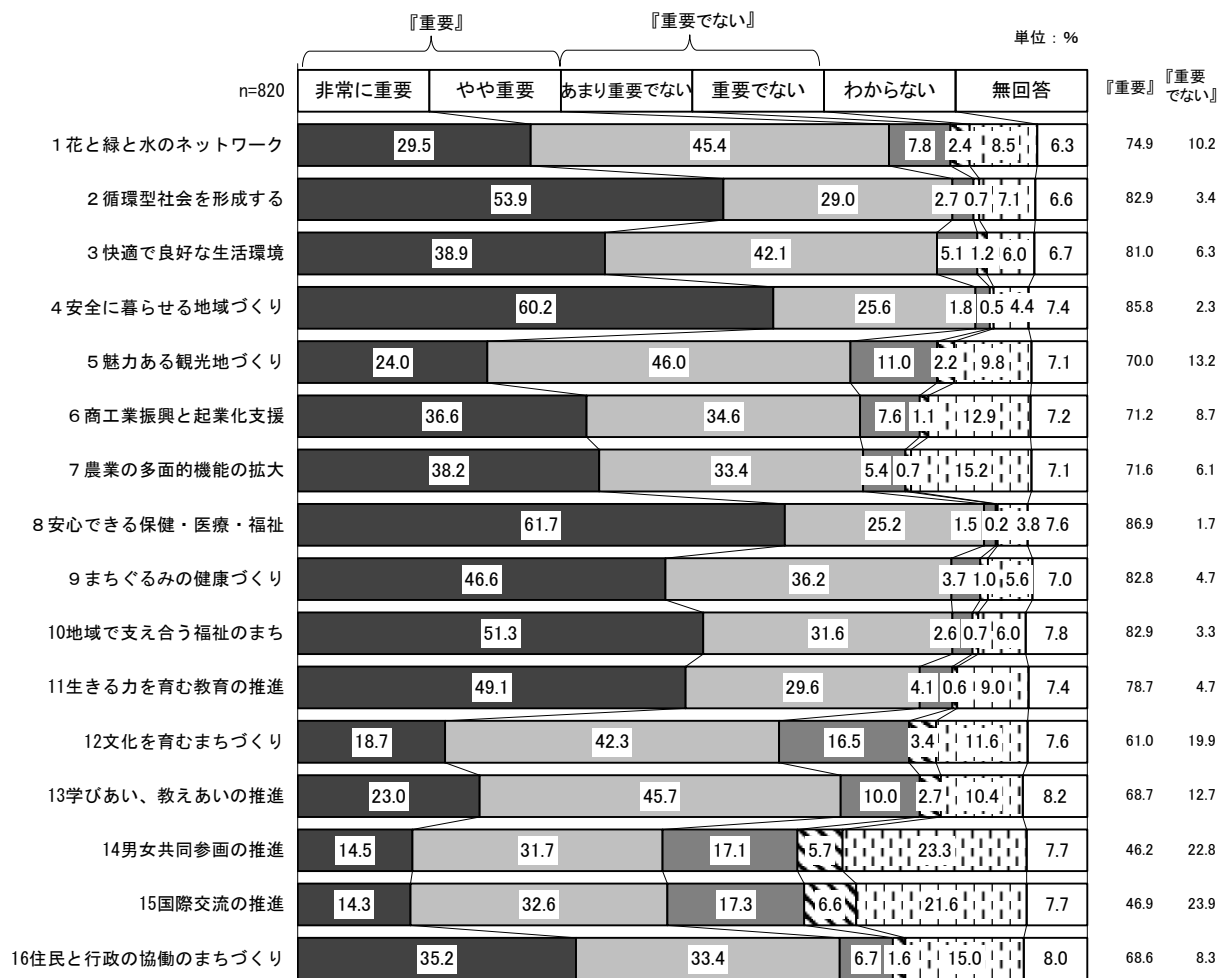
※前回調査では「新市文化の形成」

(2) 重要度

市の取り組みに対する重要度については、すべての項目で『重要』（「重要」＋「やや重要」）が『重要でない』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）を上回り、また、ほぼすべての項目で『重要』が半数を超えている。

『重要』は多い順に、「安心できる保健・医療・福祉」（86.9%）、「安全に暮らせる地域づくり」（85.8%）、「循環型社会を形成する」「地域で支え合うまち」（各 82.9%）、「まちぐるみの健康づくり」（82.8%）、「快適で良好な生活環境」（81.0%）などで8割を超えて多くなっている。特に、「非常に重要」だけで半数を超えた項目は「安心できる保健・医療・福祉」（61.7%）、「安全に暮らせる地域づくり」（60.2%）、「循環型社会を形成する」（53.9%）、「地域で支え合う福祉のまち」（51.3%）の4項目である。

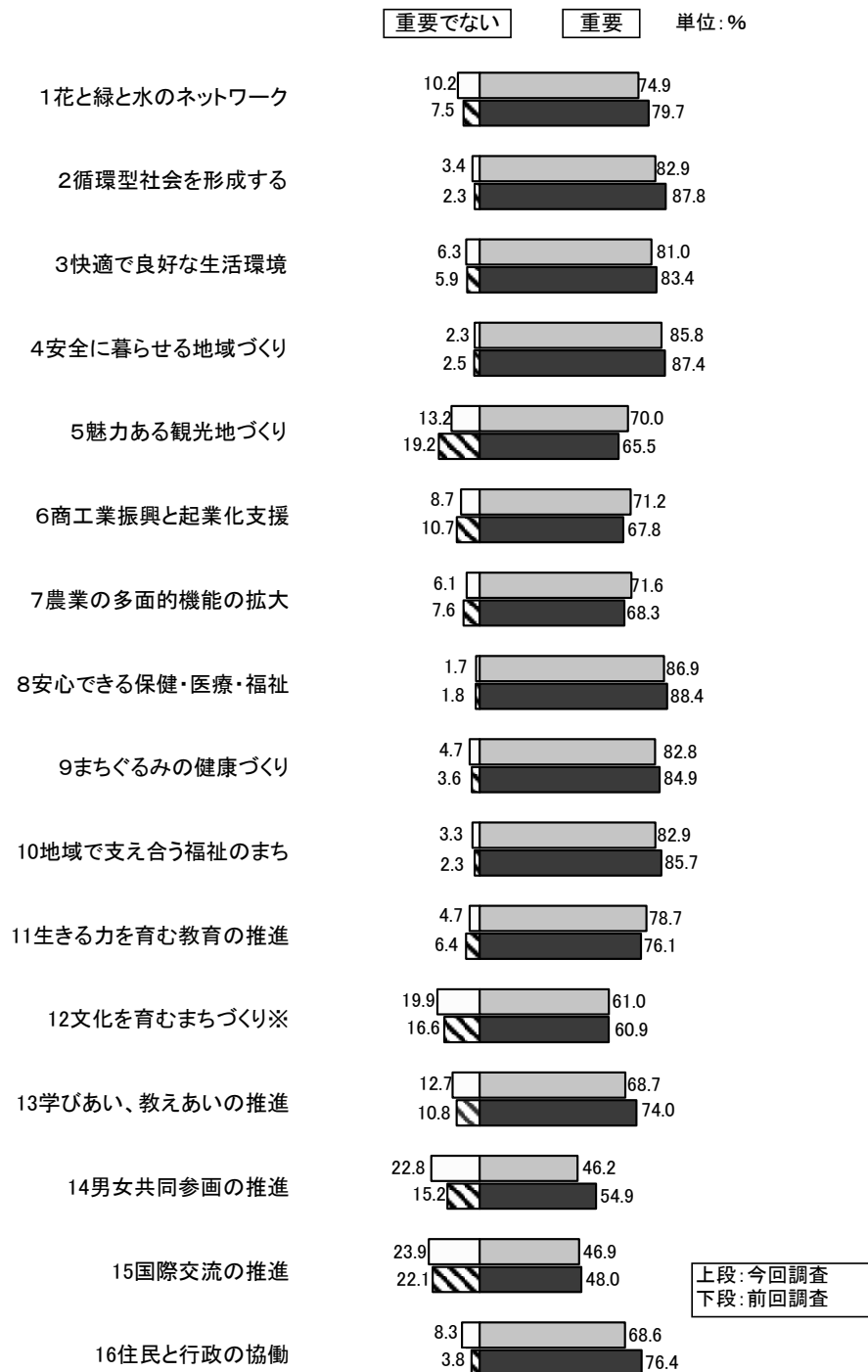
一方、『重要でない』は「国際交流の推進」（23.9%）、「男女共同参画の推進」（22.8%）で2割を超え、他の項目に比べやや多い。



前回調査との比較

前回調査（平成 16 年 11 月実施）との比較では、『重要』との回答が前回調査を上回った項目は、「魅力ある観光地づくり」「商工業振興と起業化支援」「農業の多面的機能の拡大」「生きる力を育む教育の推進」（各 4.5 ポイント差、3.4 ポイント差、3.3 ポイント差、2.6 ポイント差）などである。

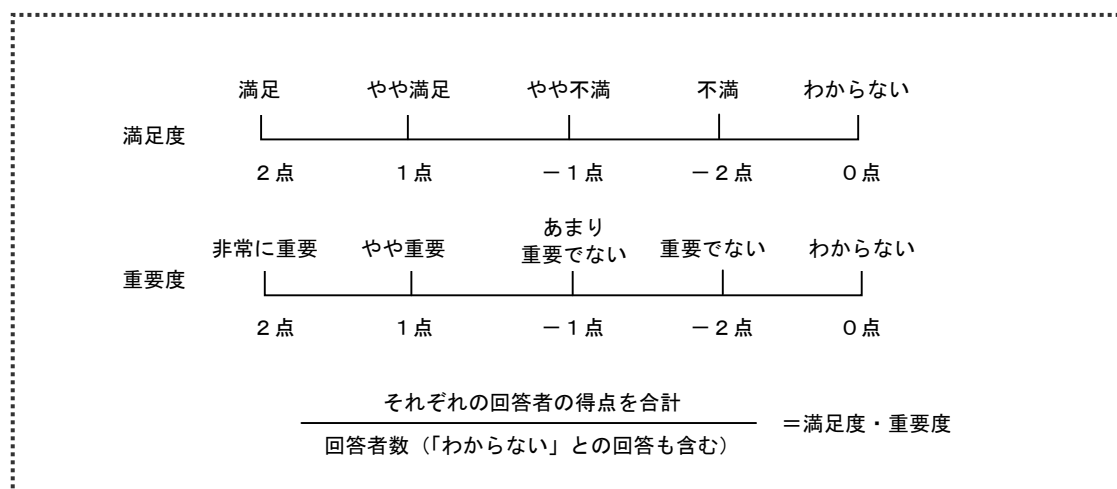
一方、『重要でない』については、「男女共同参画の推進」（7.6 ポイント差）で、前回調査を 5 ポイント以上と「魅力ある観光地づくり」（6 ポイント減）で、それぞれ前回調査からやや変化がみられる。



※前回調査では「新市文化の形成」

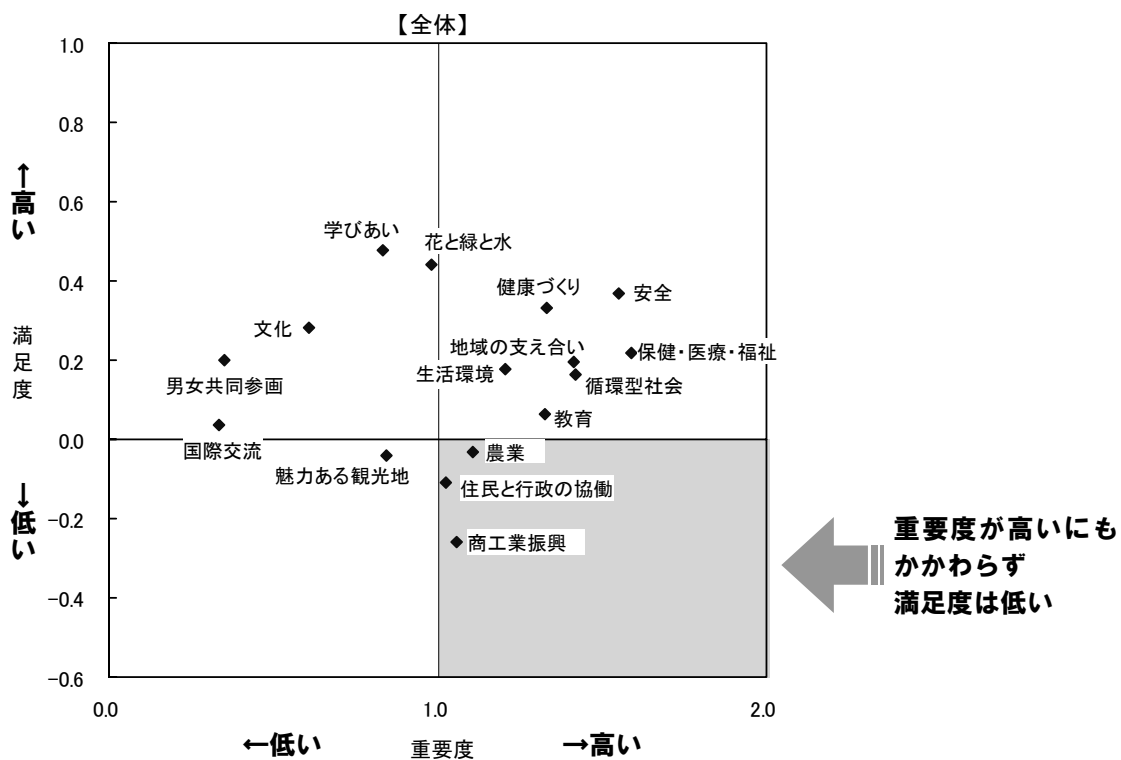
(3) 満足度と重要度の相関

満足度、重要度について以下の算出方法に従って点数評価を行う。



その結果、下記のようなプロット図を作成することができる。アミ掛けの部分に位置づけられたものは、重要度が高いにもかかわらず満足度の低い項目であり、今後の施策効果の高い項目と考えられる。

全体でアミ掛けの部分に位置付けられたのは、「商工業振興と起業化支援」「住民と行政の協働のまちづくり」「農業の多面的機能の拡大」である。



左頁のプロット図は全体の傾向を表したものだが、これを性別、年齢、居住地域ごとに作成した結果、アミ掛けの部分に位置づけられた項目は以下の通りである。

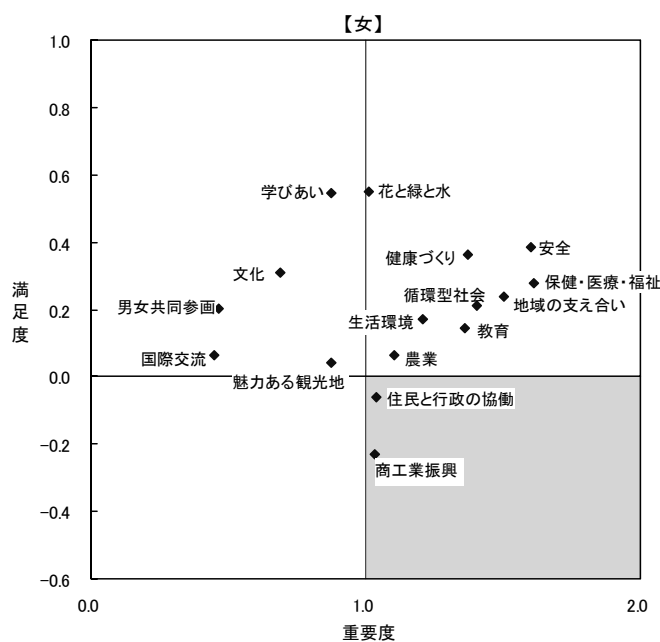
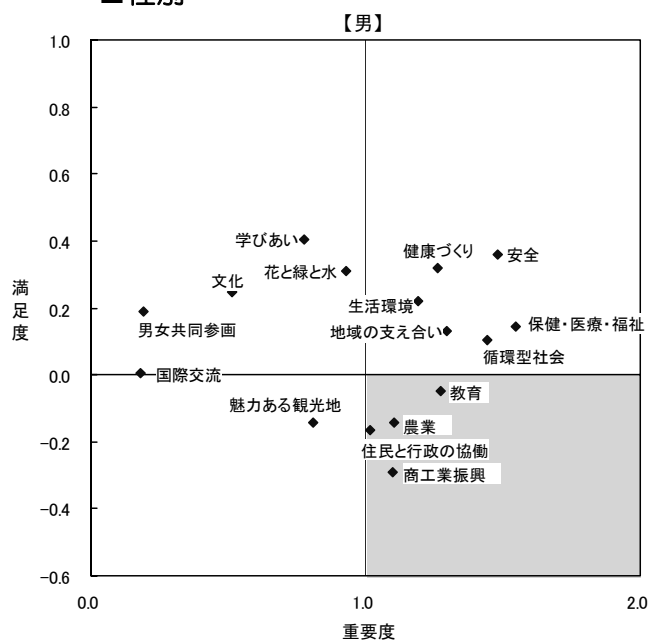
全体と比べ性別では、男性で「生きる力を育む教育」が加わる。年齢では16～19歳代は「教育」、70歳以上は「商工業振興」の1分野にとどまり、特に70歳以上では、全体的に満足度の高い項目が多い。一方、20歳代と50歳代では4項目に及ぶ。若年層では「快適で良好な生活環境づくり」、高齢層では「商工業振興」や「農業」が位置付けられる傾向にある。

居住地域では、祢津地区のみアミ掛け部分に位置づけられた項目がない。田中地区は全体と同じ、他の地区もほぼ全体と同様の傾向を示すが、北御牧地区は「生活環境」が加わる。

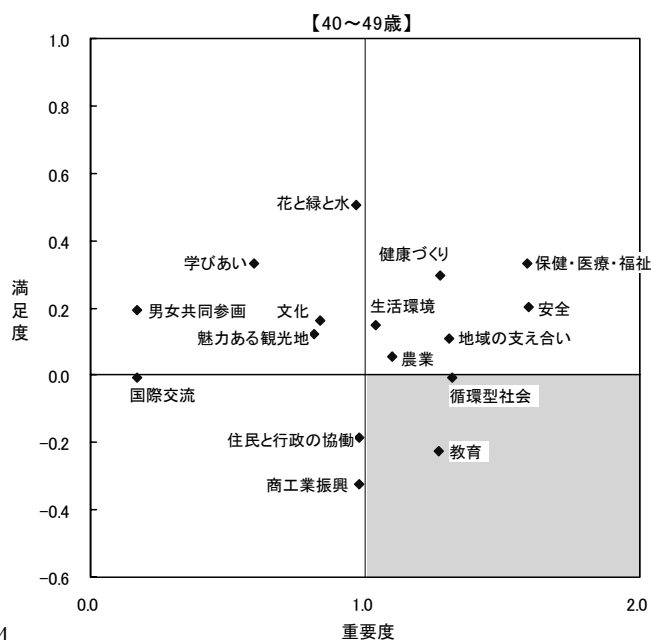
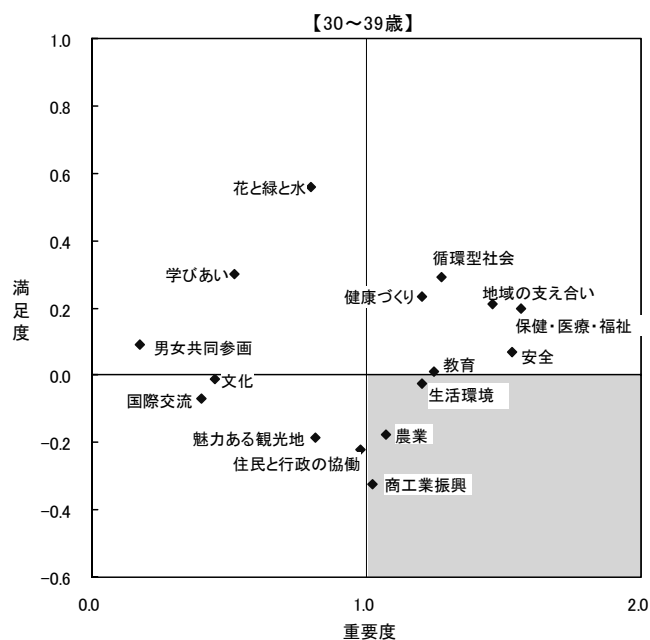
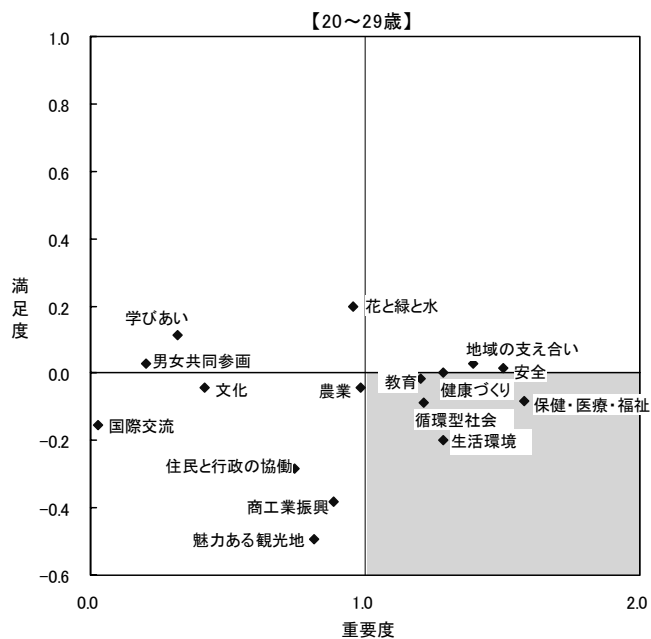
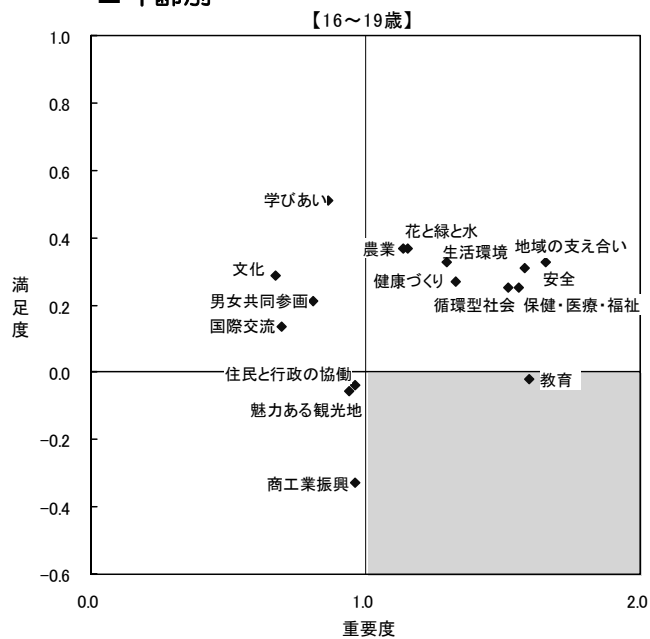
性別・年齢・居住地域においてアミ掛けの部分に位置づけられた項目

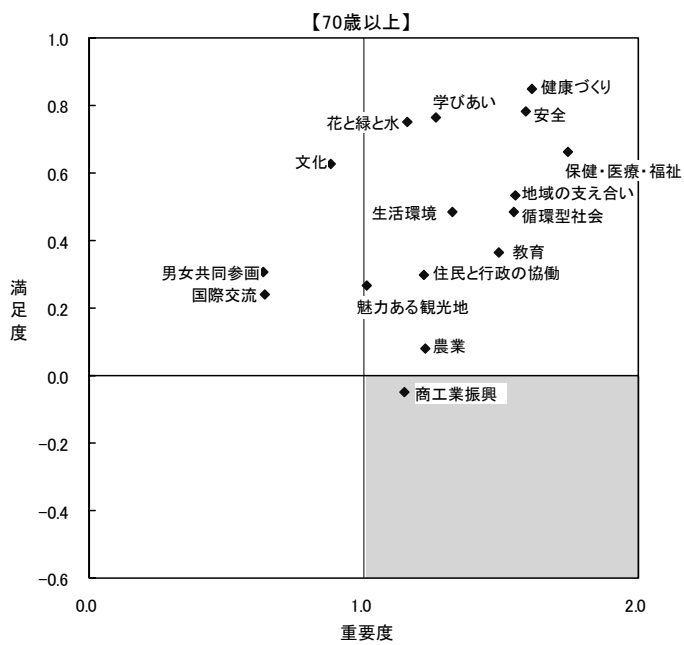
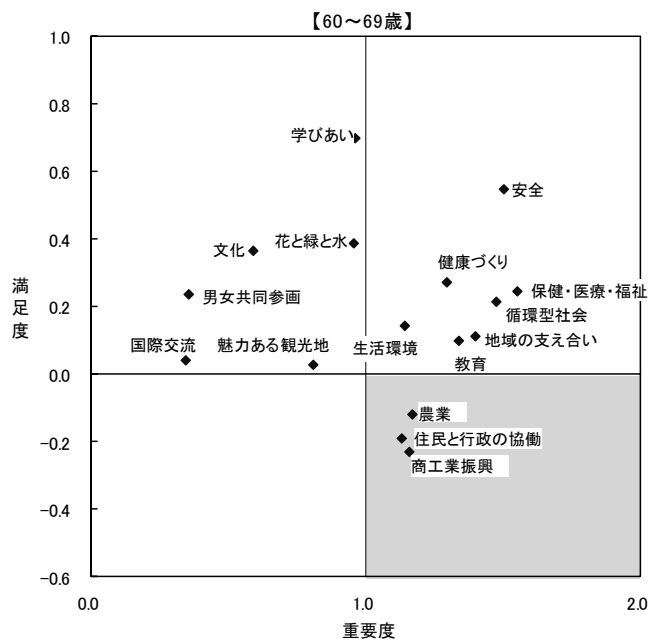
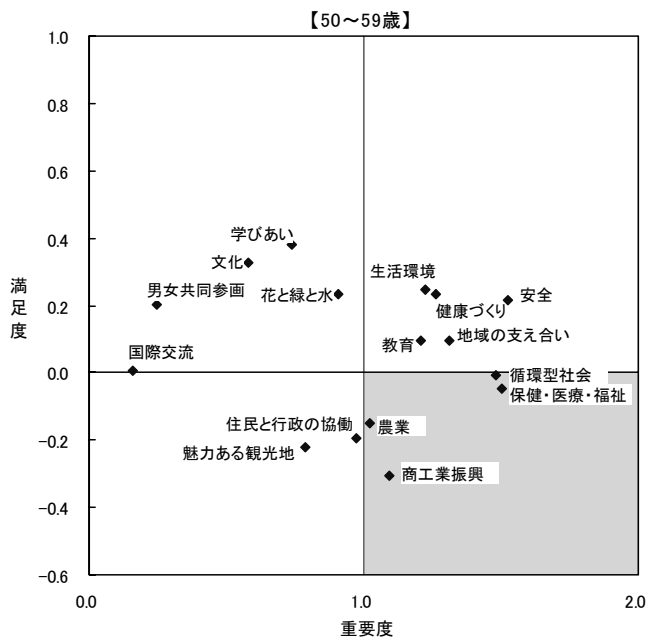
分野	項目	全体	性別		年齢							居住地域				
			男	女	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	田中	滋野	祢津	和	北御牧
自然環境・生活環境	花と緑と水のネットワーク															
	循環型社会を形成する					○		○	○							
	快適で良好な生活環境づくり					○	○									○
	安全に暮らせる地域づくり															
産業	魅力ある観光地づくり															
	商工業振興と起業化支援	○	○	○			○		○	○	○	○	○		○	
	農業の多面的機能の拡大	○	○				○		○	○		○			○	○
保健・医療・福祉	安心できる保健・医療・福祉体制づくり					○			○							
	まちぐるみの健康づくり															
	地域で支え合う福祉のまちづくり															
教育・文化	生きる力を育む教育の推進		○		○	○		○								
	文化を育むまちづくり															
	学びあい、教えあいの推進															
市政・まちづくり	男女共同参画の推進															
	国際交流の推進															
	住民と行政の協働のまちづくり	○	○	○						○		○	○			○

■性別

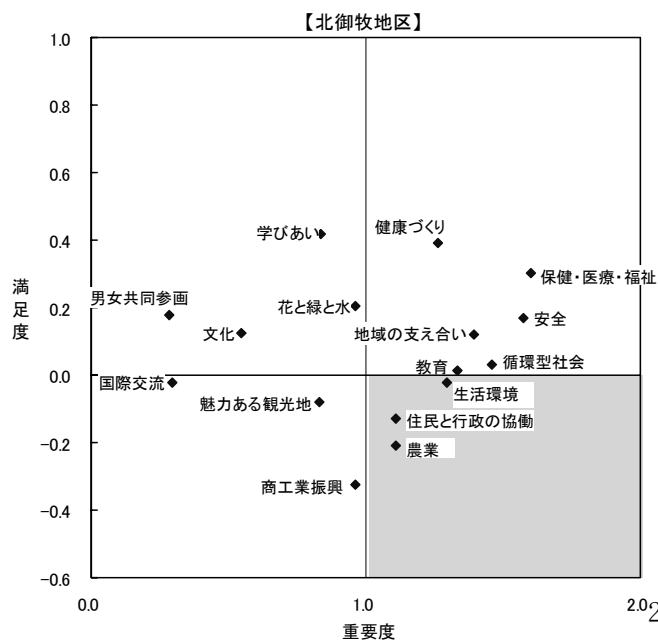
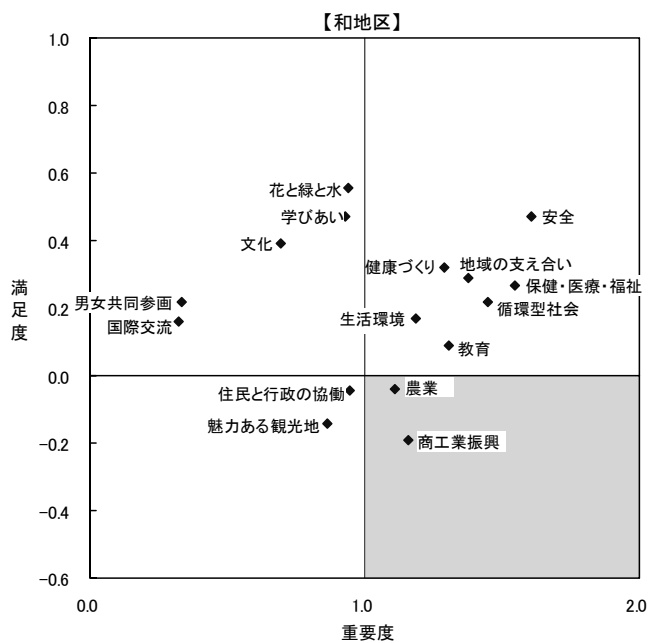
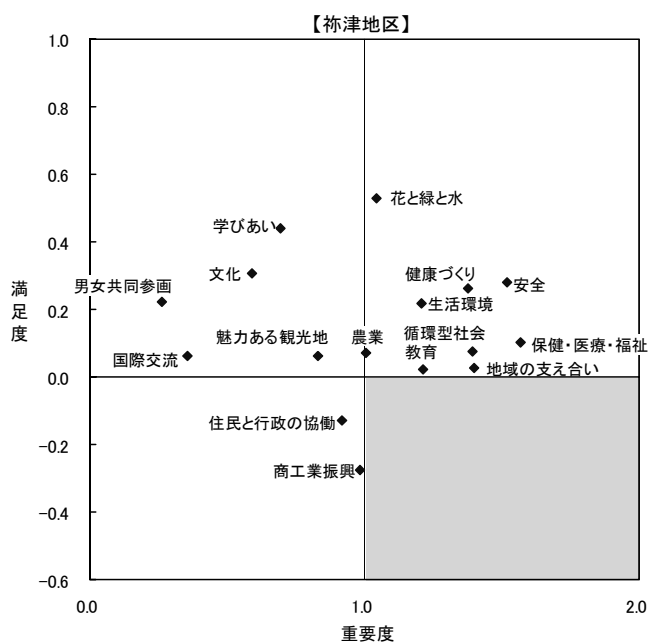
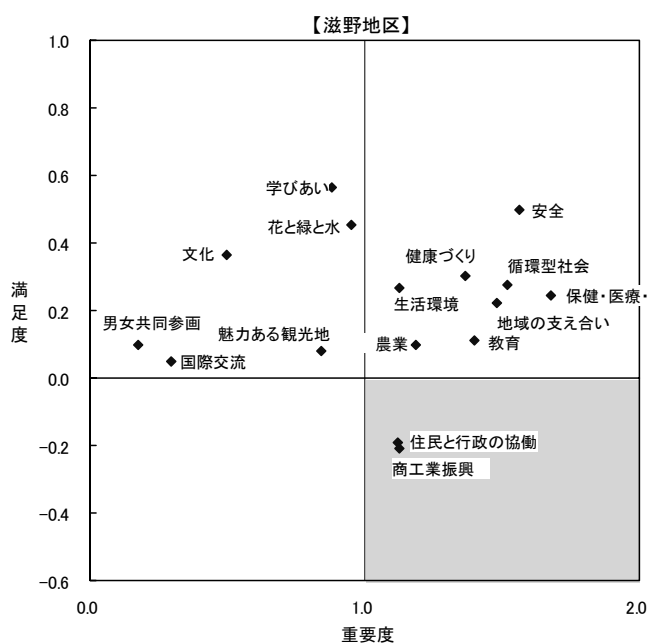
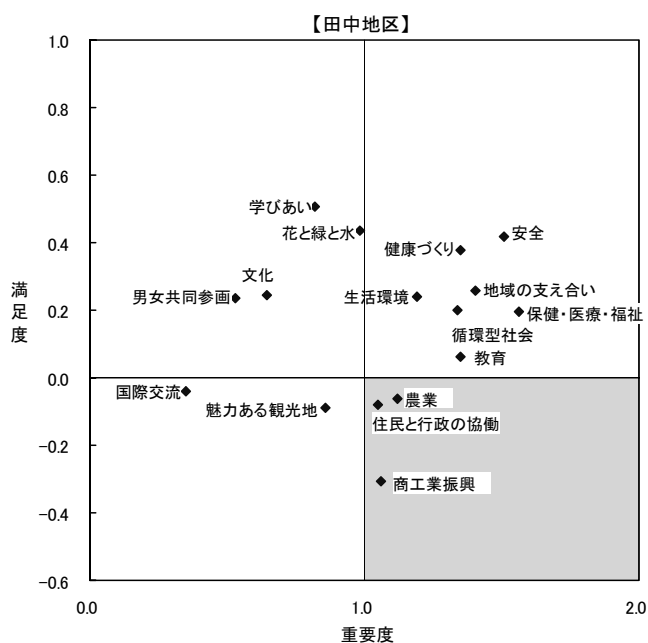


■年齢別





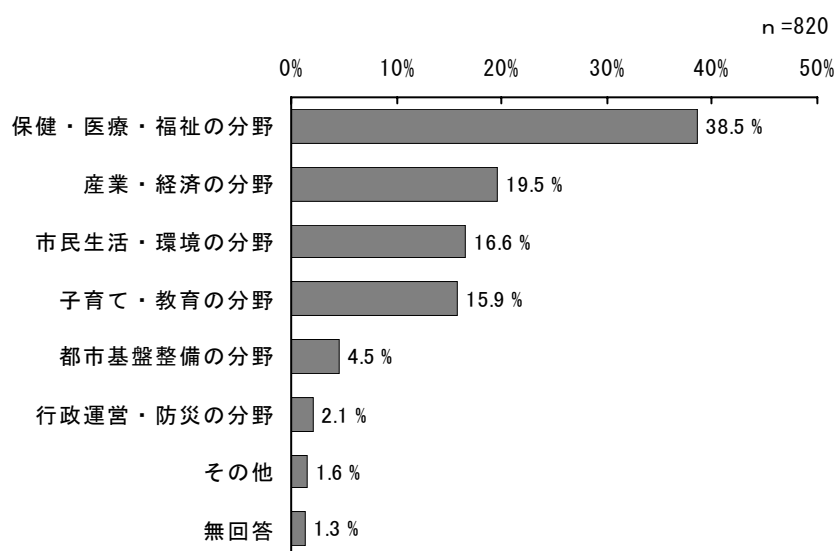
■居住地域別



4. 今後のまちづくりについて

問 12 あなたは、東御市が今後さらに住みよいまちとなるため、特にどのような分野の取り組みを優先的に進めていくことが必要だとお考えですか。[1つだけお選びください]

今後、市がさらに住みよいまちとなるために優先的に進めるべき取り組みの分野は、「保健・医療・福祉の分野」(38.5%)が4割近くと最も多く、次いで「産業・経済の分野」(19.5%)、「市民生活・環境の分野」(16.6%)、「子育て・教育の分野」(15.9%)などが主なところである。



〔クロス集計〕

性別でみると、「子育て・教育の分野」「保健・医療・福祉の分野」は女性が男性をやや上回る（各5ポイント差、3.9ポイント差）。反対に、男性が女性を上回る項目は「市民生活・環境の分野」「行政運営・防災の分野」（各4.7ポイント差、3.2ポイント差）である。

年齢別では、70歳以上で他の年代に比べ「保健・医療・福祉の分野」(50.0%)が突出して多い。また、子育て世代にあたる20歳代及び30歳代では「子育て・教育の分野」(各34.2%、29.9%)が多くなっている。

居住地域では、滋野地区の「保健・医療・福祉の分野」(44.6%)、北御牧地区の「市民生活・環境の分野」(23.9%)などがやや目立つ。

単位：人
%

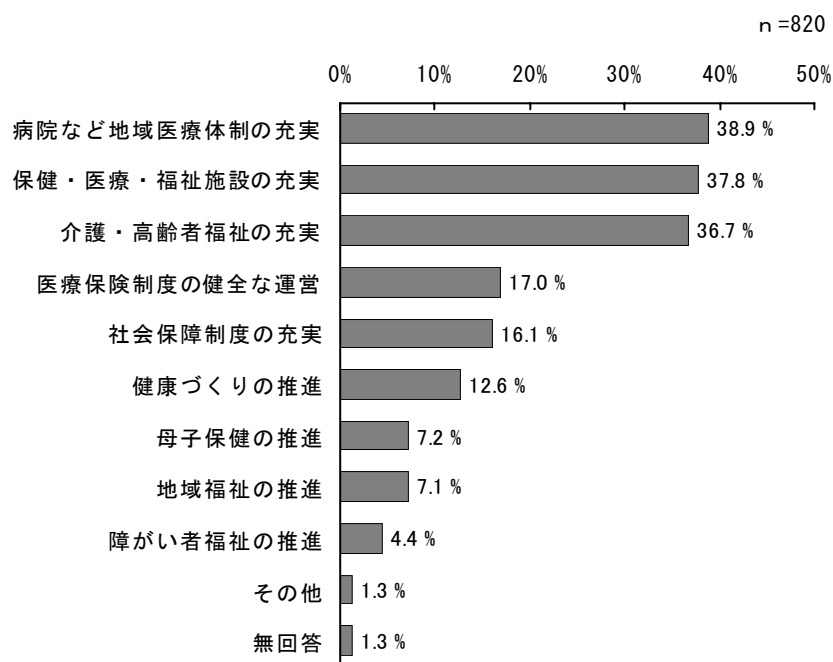
		回答者数 (人)	保健・医療・福祉分野	子育て・教育分野	市民生活・環境分野	産業・経済分野	都市基盤整備分野	行政運営・防災分野	その他	無回答
全体		820	316	130	136	160	37	17	13	11
		100.0	38.5	15.9	16.6	19.5	4.5	2.1	1.6	1.3
性別	男	355	128	47	69	67	17	14	8	5
		100.0	36.1	13.2	19.4	18.9	4.8	3.9	2.3	1.4
	女	455	182	83	67	91	19	3	4	6
		100.0	40.0	18.2	14.7	20.0	4.2	0.7	0.9	1.3
年齢	16～19歳	53	13	6	13	13	6	1	1	0
		100.0	24.5	11.3	24.5	24.5	11.3	1.9	1.9	0.0
	20～29歳	73	17	25	10	14	2	1	3	1
		100.0	23.3	34.2	13.7	19.2	2.7	1.4	4.1	1.4
	30～39歳	87	27	26	13	11	5	1	2	2
		100.0	31.0	29.9	14.9	12.6	5.7	1.1	2.3	2.3
	40～49歳	134	51	27	22	25	5	1	2	1
		100.0	38.1	20.1	16.4	18.7	3.7	0.7	1.5	0.7
	50～59歳	146	61	12	27	31	7	4	2	2
		100.0	41.8	8.2	18.5	21.2	4.8	2.7	1.4	1.4
	60～69歳	178	71	20	39	37	6	2	2	1
		100.0	39.9	11.2	21.9	20.8	3.4	1.1	1.1	0.6
	70歳以上	142	71	14	12	28	6	7	1	3
		100.0	50.0	9.9	8.5	19.7	4.2	4.9	0.7	2.1
居住地区	田中	231	94	35	30	45	11	7	4	5
		100.0	40.7	15.2	13.0	19.5	4.8	3.0	1.7	2.2
	滋野	130	58	19	15	29	5	2	1	1
		100.0	44.6	14.6	11.5	22.3	3.8	1.5	0.8	0.8
	祢津	149	52	29	28	26	8	2	2	2
		100.0	34.9	19.5	18.8	17.4	5.4	1.3	1.3	1.3
	和	162	63	29	29	30	4	3	3	1
		100.0	38.9	17.9	17.9	18.5	2.5	1.9	1.9	0.6
	北御牧	138	44	18	33	28	8	3	3	1
		100.0	31.9	13.0	23.9	20.3	5.8	2.2	2.2	0.7
通勤・通学地	市内（自宅を含む）	250	88	30	49	54	13	5	4	7
		100.0	35.2	12.0	19.6	21.6	5.2	2.0	1.6	2.8
	市外	286	106	52	44	57	15	4	6	2
		100.0	37.1	18.2	15.4	19.9	5.2	1.4	2.1	0.7
	通勤・通学はしていない	206	84	40	38	29	5	5	3	2
		100.0	40.8	19.4	18.4	14.1	2.4	2.4	1.5	1.0

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

**問 13 あなたは、それぞれの分野において、特に力を入れるべきだと思う項目は、何だ
とお考えですか。[それぞれの分野から2つまでお選びください]**

①保健・医療・福祉の分野

保健・医療・福祉の分野で特に力を入れるべき項目は、「病院などの地域医療体制の充実」(38.9%)、「保健・医療・福祉施設の充実」(37.8%)、「介護・高齢者福祉の充実」(36.7%)の3項目がともに3割を超え、多くなっている。



〔クロス集計〕

性別でみると、女性が男性を上回る項目は「母子保健の推進」「医療保険制度の健全な運営」(各 7.2 ポイント差、6.6 ポイント差)であり、男性が女性を上回る項目は「保健・医療・福祉施設の充実」(4.2 ポイント差)となっている。

年齢別では、60 歳代及び 70 歳以上では「介護・高齢者福祉の充実」(各 39.3%、47.2%)が最も多いが、50 歳代以下では「病院など地域医療体制の充実」が最も多くあげられている。

居住地域では、滋野地区の「介護・高齢者福祉の充実」(44.6%)、柵津地区の「病院など地域医療体制の充実」(44.3%)などで、全体及び他地区に比べると特に多い。

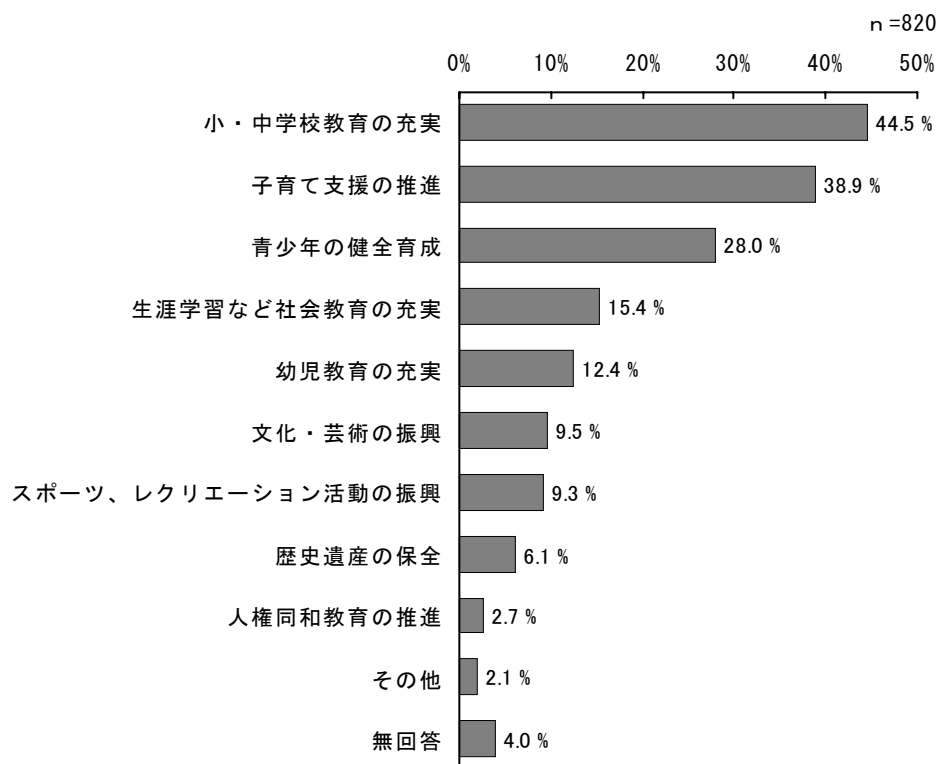
単位：人
%

		回答者数（人）	保健・医療・福祉施設の充実	健康づくりの推進	母子保健の推進	病院など地域医療体制の充実	医療保険制度の健全な運営	社会保障制度の充実	障がい者福祉の推進	介護・高齢者福祉の充実	地域福祉の推進	その他	無回答
全体		820	310	103	59	319	139	132	36	301	58	11	11
		100.0	37.8	12.6	7.2	38.9	17.0	16.1	4.4	36.7	7.1	1.3	1.3
性別	男	355	142	46	11	142	47	59	19	130	29	5	4
		100.0	40.0	13.0	3.1	40.0	13.2	16.6	5.4	36.6	8.2	1.4	1.1
女		455	163	56	47	174	90	73	17	167	28	5	7
		100.0	35.8	12.3	10.3	38.2	19.8	16.0	3.7	36.7	6.2	1.1	1.5
年齢	16～19歳	53	20	8	5	23	6	9	5	16	6	1	0
		100.0	37.7	15.1	9.4	43.4	11.3	17.0	9.4	30.2	11.3	1.9	0.0
	20～29歳	73	22	5	13	29	10	13	1	24	3	1	3
		100.0	30.1	6.8	17.8	39.7	13.7	17.8	1.4	32.9	4.1	1.4	4.1
	30～39歳	87	37	8	17	37	14	16	5	23	3	1	1
		100.0	42.5	9.2	19.5	42.5	16.1	18.4	5.7	26.4	3.4	1.1	1.1
	40～49歳	134	51	18	9	52	26	18	7	44	13	2	1
		100.0	38.1	13.4	6.7	38.8	19.4	13.4	5.2	32.8	9.7	1.5	0.7
	50～59歳	146	52	26	4	60	24	33	7	55	10	2	0
		100.0	35.6	17.8	2.7	41.1	16.4	22.6	4.8	37.7	6.8	1.4	0.0
	60～69歳	178	61	21	7	69	37	28	9	70	11	2	2
		100.0	34.3	11.8	3.9	38.8	20.8	15.7	5.1	39.3	6.2	1.1	1.1
	70歳以上	142	63	17	4	45	21	15	2	67	12	2	3
		100.0	44.4	12.0	2.8	31.7	14.8	10.6	1.4	47.2	8.5	1.4	2.1
居住地区	田中	231	92	32	18	91	42	34	8	80	15	4	5
		100.0	39.8	13.9	7.8	39.4	18.2	14.7	3.5	34.6	6.5	1.7	2.2
	滋野	130	46	10	8	51	25	15	8	58	11	1	0
		100.0	35.4	7.7	6.2	39.2	19.2	11.5	6.2	44.6	8.5	0.8	0.0
	祢津	149	45	19	14	66	22	24	6	54	10	2	3
		100.0	30.2	12.8	9.4	44.3	14.8	16.1	4.0	36.2	6.7	1.3	2.0
	和	162	64	25	10	60	31	26	6	58	11	1	1
		100.0	39.5	15.4	6.2	37.0	19.1	16.0	3.7	35.8	6.8	0.6	0.6
通勤・通学地	北御牧	138	56	17	8	48	18	32	8	49	10	3	1
		100.0	40.6	12.3	5.8	34.8	13.0	23.2	5.8	35.5	7.2	2.2	0.7
	市内（自宅を含む）	250	95	32	15	99	44	44	7	79	20	3	7
		100.0	38.0	12.8	6.0	39.6	17.6	17.6	2.8	31.6	8.0	1.2	2.8
	市外	286	104	35	25	121	40	55	18	106	14	3	2
		100.0	36.4	12.2	8.7	42.3	14.0	19.2	6.3	37.1	4.9	1.0	0.7
通勤・通学はしていない		206	77	29	15	70	43	25	11	77	19	5	1
		100.0	37.4	14.1	7.3	34.0	20.9	12.1	5.3	37.4	9.2	2.4	0.5

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

②子育て・教育の分野

子育て・教育の分野で特に力を入れるべき項目は、「小・中学校教育の充実」(44.5%)が特に多く4割台半ば、次いで「子育て支援の推進」(38.9%)も4割近くとなっている。続いて、やや差が開いて「青少年の健全育成」(28.0%)が3割弱となっている。



〔クロス集計〕

性別でみると、男女で大きく差があるのは、「スポーツ、レクリエーション活動の振興」で、男性が女性を上回る。(8.3ポイント差)

年齢別には、「小・中学校教育の充実」が16～19歳とその親世代である40～49歳で突出して多く(各54.7%、61.9%)、子育て世代にあたる20歳代及び30歳代では「子育て支援の推進」(各57.5%、49.4%)が全体及び他の年代と比べて特に多くなっている。

居住地域では、田中地区で「スポーツ、レクリエーション活動の振興」(14.3%)がやや多い他は、目立った特徴はみられない。

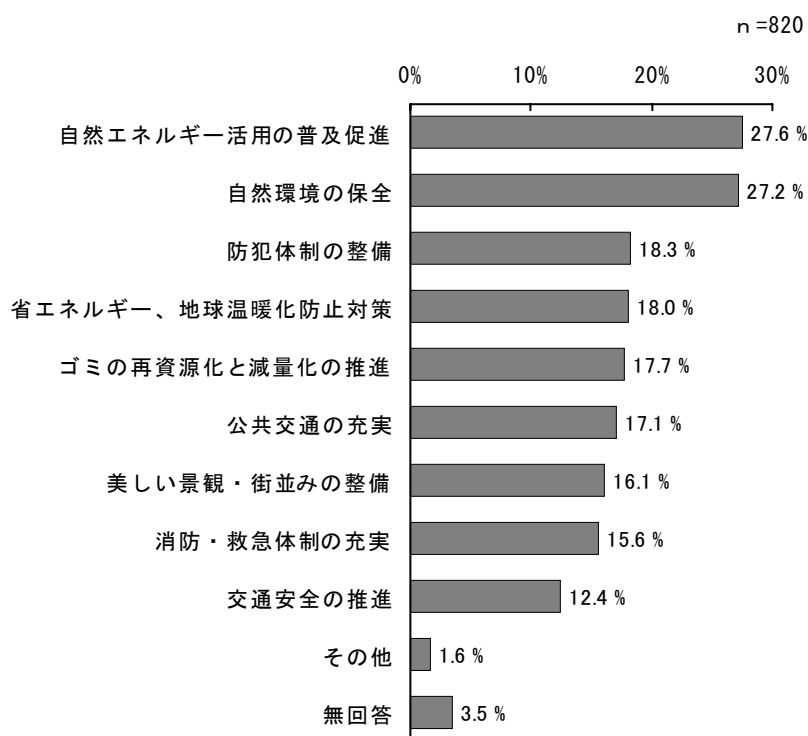
単位：人
%

		回答者数（人）	子育て支援の推進	幼児教育の充実	実小・中学校教育の充	青少年の健全育成	人権同和教育の推進	生涯学習など社会教育の充実	スポーツ、レクリエーション活動の振興	文化・芸術の振興	歴史遺産の保全	その他	無回答
全体		820	319	102	365	230	22	126	76	78	50	17	33
		100.0	38.9	12.4	44.5	28.0	2.7	15.4	9.3	9.5	6.1	2.1	4.0
性別	男	355	132	40	157	101	10	47	49	39	28	6	10
		100.0	37.2	11.3	44.2	28.5	2.8	13.2	13.8	11.0	7.9	1.7	2.8
	女	455	183	62	204	128	12	77	25	37	20	11	23
100.0		40.2	13.6	44.8	28.1	2.6	16.9	5.5	8.1	4.4	2.4	5.1	
年齢	16～19歳	53	19	7	29	15	8	2	9	9	1	0	0
		100.0	35.8	13.2	54.7	28.3	15.1	3.8	17.0	17.0	1.9	0.0	0.0
	20～29歳	73	42	10	24	13	5	5	7	6	6	2	2
		100.0	57.5	13.7	32.9	17.8	6.8	6.8	9.6	8.2	8.2	2.7	2.7
	30～39歳	87	43	16	36	13	1	9	8	10	7	4	5
		100.0	49.4	18.4	41.4	14.9	1.1	10.3	9.2	11.5	8.0	4.6	5.7
	40～49歳	134	47	16	83	34	3	15	12	16	6	4	3
		100.0	35.1	11.9	61.9	25.4	2.2	11.2	9.0	11.9	4.5	3.0	2.2
	50～59歳	146	67	13	64	35	2	34	11	15	9	2	7
		100.0	45.9	8.9	43.8	24.0	1.4	23.3	7.5	10.3	6.2	1.4	4.8
	60～69歳	178	61	19	78	55	2	38	17	8	9	5	7
		100.0	34.3	10.7	43.8	30.9	1.1	21.3	9.6	4.5	5.1	2.8	3.9
	70歳以上	142	37	21	50	64	1	21	12	13	10	0	8
		100.0	26.1	14.8	35.2	45.1	0.7	14.8	8.5	9.2	7.0	0.0	5.6
居住地区	田中	231	84	33	94	60	8	31	33	28	13	9	9
		100.0	36.4	14.3	40.7	26.0	3.5	13.4	14.3	12.1	5.6	3.9	3.9
	滋野	130	42	19	62	40	3	24	4	9	6	3	6
		100.0	32.3	14.6	47.7	30.8	2.3	18.5	3.1	6.9	4.6	2.3	4.6
	祢津	149	62	18	66	41	5	20	14	13	12	0	5
		100.0	41.6	12.1	44.3	27.5	3.4	13.4	9.4	8.7	8.1	0.0	3.4
	和	162	70	16	76	46	1	23	16	14	9	3	8
		100.0	43.2	9.9	46.9	28.4	0.6	14.2	9.9	8.6	5.6	1.9	4.9
北御牧	138	57	16	63	41	5	27	8	13	8	2	4	
	100.0	41.3	11.6	45.7	29.7	3.6	19.6	5.8	9.4	5.8	1.4	2.9	
通勤・通学地	市内 （自宅を含む）	250	93	30	106	61	5	41	22	26	19	4	15
		100.0	37.2	12.0	42.4	24.4	2.0	16.4	8.8	10.4	7.6	1.6	6.0
	市外	286	120	32	141	75	13	36	30	35	16	9	4
		100.0	42.0	11.2	49.3	26.2	4.5	12.6	10.5	12.2	5.6	3.1	1.4
	通勤・通学は していない	206	79	33	92	60	3	36	14	14	11	4	8
	100.0	38.3	16.0	44.7	29.1	1.5	17.5	6.8	6.8	5.3	1.9	3.9	

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

③市民生活・環境の分野

市民生活・環境の分野で特に力を入れるべき項目は、「自然エネルギー活用の普及促進」(27.6%)、「自然環境の保全」(27.2%) がともに2割後半、続く「防犯体制の整備」(18.3%)、「省エネルギー、地球温暖化防止対策」(18.0%)、「ゴミの再資源化と減量化の推進」(17.7%)、「公共交通の充実」(17.1%)、「美しい景観・街並みの整備」(16.1%)、「消防・救急体制の充実」(15.6%)の6項目は1割台後半で、ほぼ横並びの状態となっている。



〔クロス集計〕

性別でみると、「自然エネルギー活用の普及促進」は男性が女性を上回り（4.2ポイント差）、「公共交通の充実」は女性が男性を上回る（4ポイント差）。

年齢別では、50～59歳で「自然環境の保全」(34.9%)、20～29歳で「防犯体制の整備」(27.4%)が、全体及び他の年代より比較的多い。

居住地域でみると、北御牧地区で「自然エネルギー活用の普及促進」(32.6%)、祢津地区で「自然環境の保全」(32.2%)、田中地区では「省エネルギー、地球温暖化防止対策」(23.8%)などが多くあげられ、やや特徴的な傾向がみられる。

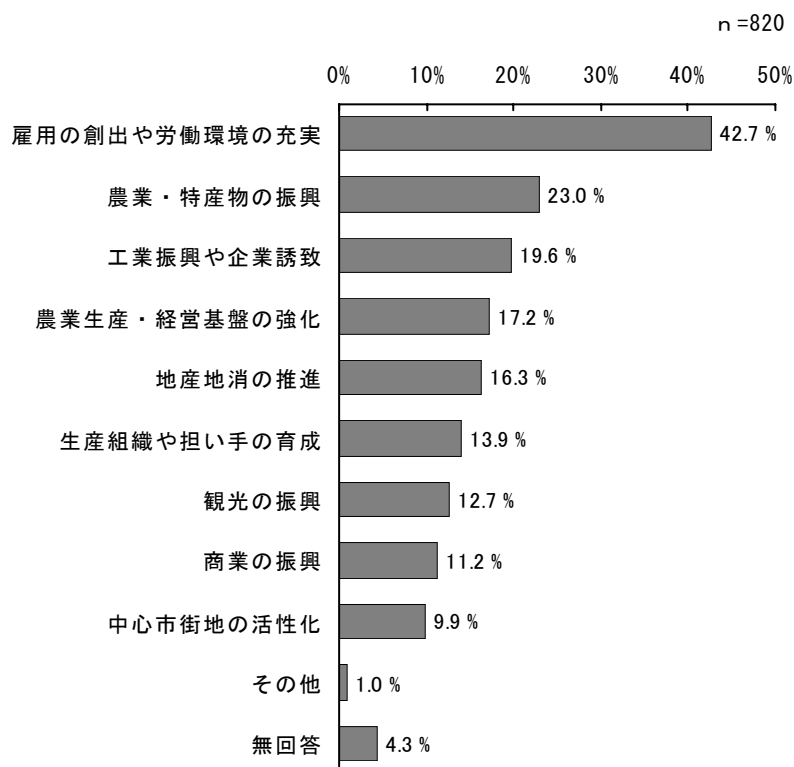
単位：人
%

		回答者数（人）	自然環境の保全	交通安全の推進	実消防・救急体制の充	防犯体制の整備	公共交通の充実	美しい景観・街並みの整備	ゴミの再資源化と減量化の推進	省エネルギー、地球温暖化防止対策	自然エネルギー活用	その他	無回答
全体		820	223	102	128	150	140	132	145	148	226	13	29
		100.0	27.2	12.4	15.6	18.3	17.1	16.1	17.7	18.0	27.6	1.6	3.5
性別	男	355	97	47	58	74	53	58	56	60	107	6	7
		100.0	27.3	13.2	16.3	20.8	14.9	16.3	15.8	16.9	30.1	1.7	2.0
	女	455	123	55	69	75	86	69	86	86	118	7	21
		100.0	27.0	12.1	15.2	16.5	18.9	15.2	18.9	18.9	25.9	1.5	4.6
年齢	16～19歳	53	15	10	9	10	10	12	10	7	15	0	0
		100.0	28.3	18.9	17.0	18.9	18.9	22.6	18.9	13.2	28.3	0.0	0.0
	20～29歳	73	15	12	9	20	13	15	9	13	14	1	4
		100.0	20.5	16.4	12.3	27.4	17.8	20.5	12.3	17.8	19.2	1.4	5.5
	30～39歳	87	19	13	19	16	19	19	13	12	19	1	5
		100.0	21.8	14.9	21.8	18.4	21.8	21.8	14.9	13.8	21.8	1.1	5.7
	40～49歳	134	34	21	21	24	28	22	29	19	36	0	4
		100.0	25.4	15.7	15.7	17.9	20.9	16.4	21.6	14.2	26.9	0.0	3.0
	50～59歳	146	51	14	24	21	23	26	22	31	44	5	5
		100.0	34.9	9.6	16.4	14.4	15.8	17.8	15.1	21.2	30.1	3.4	3.4
	60～69歳	178	53	16	24	24	24	23	35	39	56	6	4
		100.0	29.8	9.0	13.5	13.5	13.5	12.9	19.7	21.9	31.5	3.4	2.2
居住地区	70歳以上	142	34	16	21	34	22	12	24	27	42	0	6
		100.0	23.9	11.3	14.8	23.9	15.5	8.5	16.9	19.0	29.6	0.0	4.2
	田中	231	53	32	35	42	32	36	44	55	65	5	10
		100.0	22.9	13.9	15.2	18.2	13.9	15.6	19.0	23.8	28.1	2.2	4.3
	滋野	130	29	17	21	25	24	17	23	25	35	3	4
		100.0	22.3	13.1	16.2	19.2	18.5	13.1	17.7	19.2	26.9	2.3	3.1
	祢津	149	48	25	26	25	21	26	29	19	39	0	4
		100.0	32.2	16.8	17.4	16.8	14.1	17.4	19.5	12.8	26.2	0.0	2.7
	和	162	50	14	23	37	33	23	28	25	42	2	6
		100.0	30.9	8.6	14.2	22.8	20.4	14.2	17.3	15.4	25.9	1.2	3.7
	北御牧	138	38	14	21	19	29	27	19	23	45	3	4
		100.0	27.5	10.1	15.2	13.8	21.0	19.6	13.8	16.7	32.6	2.2	2.9
通勤・通学地	市内（自宅を含む）	250	63	27	39	42	44	38	43	41	71	4	13
		100.0	25.2	10.8	15.6	16.8	17.6	15.2	17.2	16.4	28.4	1.6	5.2
	市外	286	85	44	45	51	51	57	45	50	79	4	6
		100.0	29.7	15.4	15.7	17.8	17.8	19.9	15.7	17.5	27.6	1.4	2.1
	通勤・通学はしていない	206	56	22	33	36	32	26	40	41	61	5	7
		100.0	27.2	10.7	16.0	17.5	15.5	12.6	19.4	19.9	29.6	2.4	3.4

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

④産業・経済の分野

産業・経済の分野で特に力を入れるべき項目は、「雇用の創出や労働環境の充実」（42.7%）が4割以上と他の項目に比べ圧倒的に多い。続く「農業・特産物の振興」（23.0%）が2割弱、「工業振興や企業誘致」（19.6%）、「農業生産・経営基盤の強化」（17.2%）、「地産地消の推進」（16.3%）で1割後半となっている。



〔クロス集計〕

性別では、「工業振興や企業誘致」で男性が女性を大きく上回る（11.2 ポイント差）。一方、「中心市街地の活性化」や「地産地消の推進」は女性が男性を上回る（各 6.2 ポイント差、5.9 ポイント差）。

年齢別でみると、いずれの年代も「雇用の創出や労働環境の充実」を最も多くあげ、特に 50～59 歳（49.3%）では5割近い。また、30～39 歳では「農業・特産物の振興」「地産地消の推進」（各 29.9%、23.0%）など、農業関連の項目を多くあげている。

居住地域でも、「雇用の創出や労働環境の充実」をいずれの地区も最も多くあげ、特に滋野地区と祢津地区（各 49.2%、49.0%）では5割近い。また、北御牧地区では「農業生産・経営基盤の強化」（22.5%）、和地区で「工業振興や企業誘致」（25.3%）、田中地区で「中心市街地の活性化」（16.0%）などが全体や他の地区に比べ多くなっている。

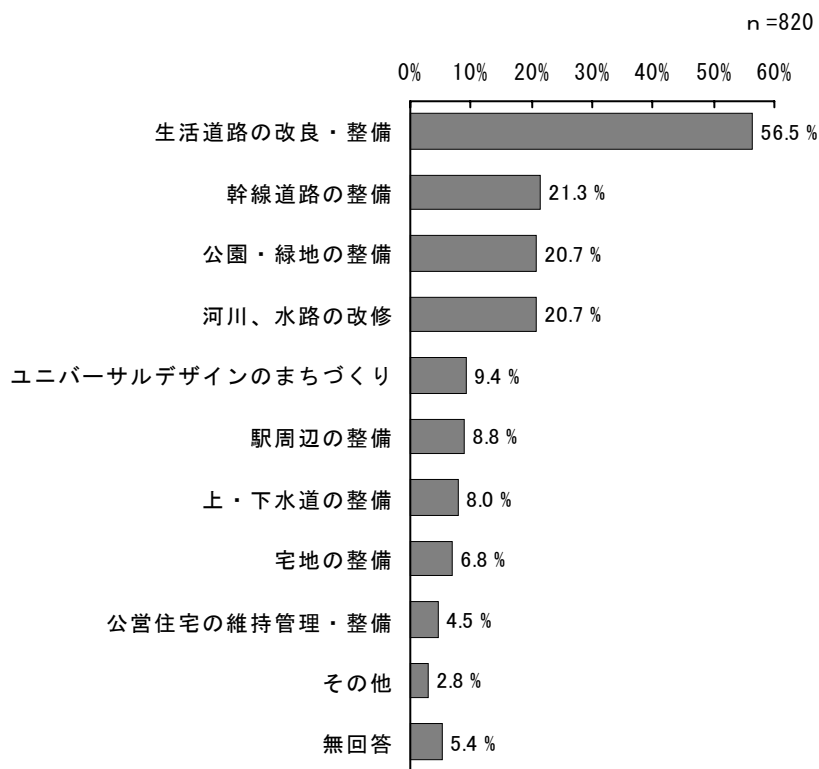
単位：人
%

		回答者数（人）	商業の振興	農業・特産物の振興	農業生産・経営基盤の強化	生産組織や担い手の育成	地産地消の推進	工業振興や企業誘致	雇用の創出や労働環境の充実	観光の振興	中心市街地の活性化	その他	無回答
全体		820	92	189	141	114	134	161	350	104	81	8	35
		100.0	11.2	23.0	17.2	13.9	16.3	19.6	42.7	12.7	9.9	1.0	4.3
性別	男	355	49	88	68	43	46	92	147	49	23	6	11
		100.0	13.8	24.8	19.2	12.1	13.0	25.9	41.4	13.8	6.5	1.7	3.1
	女	455	40	98	72	71	86	67	200	52	58	2	24
		100.0	8.8	21.5	15.8	15.6	18.9	14.7	44.0	11.4	12.7	0.4	5.3
年齢	16～19歳	53	7	10	13	3	12	6	22	11	11	0	0
		100.0	13.2	18.9	24.5	5.7	22.6	11.3	41.5	20.8	20.8	0.0	0.0
	20～29歳	73	12	19	10	5	9	7	32	13	7	2	4
		100.0	16.4	26.0	13.7	6.8	12.3	9.6	43.8	17.8	9.6	2.7	5.5
	30～39歳	87	14	26	15	10	20	12	28	12	12	0	5
		100.0	16.1	29.9	17.2	11.5	23.0	13.8	32.2	13.8	13.8	0.0	5.7
	40～49歳	134	19	31	17	15	21	28	61	21	18	0	5
		100.0	14.2	23.1	12.7	11.2	15.7	20.9	45.5	15.7	13.4	0.0	3.7
	50～59歳	146	18	29	30	23	25	29	72	17	11	2	4
		100.0	12.3	19.9	20.5	15.8	17.1	19.9	49.3	11.6	7.5	1.4	2.7
	60～69歳	178	13	40	28	32	28	43	83	16	10	4	6
		100.0	7.3	22.5	15.7	18.0	15.7	24.2	46.6	9.0	5.6	2.2	3.4
	70歳以上	142	7	33	27	26	19	35	49	12	12	0	10
		100.0	4.9	23.2	19.0	18.3	13.4	24.6	34.5	8.5	8.5	0.0	7.0
居住地区	田中	231	31	57	33	26	40	46	85	30	37	3	8
		100.0	13.4	24.7	14.3	11.3	17.3	19.9	36.8	13.0	16.0	1.3	3.5
	滋野	130	14	31	25	16	19	23	64	10	10	2	6
		100.0	10.8	23.8	19.2	12.3	14.6	17.7	49.2	7.7	7.7	1.5	4.6
	祢津	149	15	31	22	21	24	25	73	24	12	1	5
		100.0	10.1	20.8	14.8	14.1	16.1	16.8	49.0	16.1	8.1	0.7	3.4
	和	162	14	37	29	24	27	41	70	18	13	1	9
		100.0	8.6	22.8	17.9	14.8	16.7	25.3	43.2	11.1	8.0	0.6	5.6
	北御牧	138	15	32	31	26	24	23	55	20	9	1	6
		100.0	10.9	23.2	22.5	18.8	17.4	16.7	39.9	14.5	6.5	0.7	4.3
通勤・通学地	市内（自宅を含む）	250	26	54	38	29	29	56	115	35	20	4	14
		100.0	10.4	21.6	15.2	11.6	11.6	22.4	46.0	14.0	8.0	1.6	5.6
	市外	286	36	61	55	33	56	56	128	39	37	2	6
		100.0	12.6	21.3	19.2	11.5	19.6	19.6	44.8	13.6	12.9	0.7	2.1
	通勤・通学はしていない	206	24	60	34	40	35	33	76	24	16	2	10
		100.0	11.7	29.1	16.5	19.4	17.0	16.0	36.9	11.7	7.8	1.0	4.9

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

⑤都市基盤整備の分野

都市基盤整備の分野で特に力を入れるべき項目は、「生活道路の改良・整備」(56.5%)が群を抜いて多く、実に5割半ばに達する。次いで「幹線道路の整備」(21.3%)、「公園・緑地の整備」「河川、水路の改修」(各20.7%)が2割前半で横並びとなっている。



〔クロス集計〕

性別では、「生活道路の改良・整備」「幹線道路の整備」などで男性が女性を上回る（各6.2ポイント差、5.7ポイント差）。一方、「公園・緑地の整備」は女性が男性を上回る（5.8ポイント差）。

年齢別でみると、いずれの年代も「生活道路の改良・整備」を最も多くあげており、50～59歳及び60～69歳では6割を超える（各69.9%、61.8%）。16～19歳では「駅周辺の整備」(30.2%)が、他の年代に比べ突出して多く、10～40歳代では「公園・緑地の整備」も3割前後とやや多くなっている。

居住地域では、北御牧地区の「幹線道路の整備」(27.5%)、柵津地区の「河川、水路の改修」(26.2%)で他地区をやや上回る。

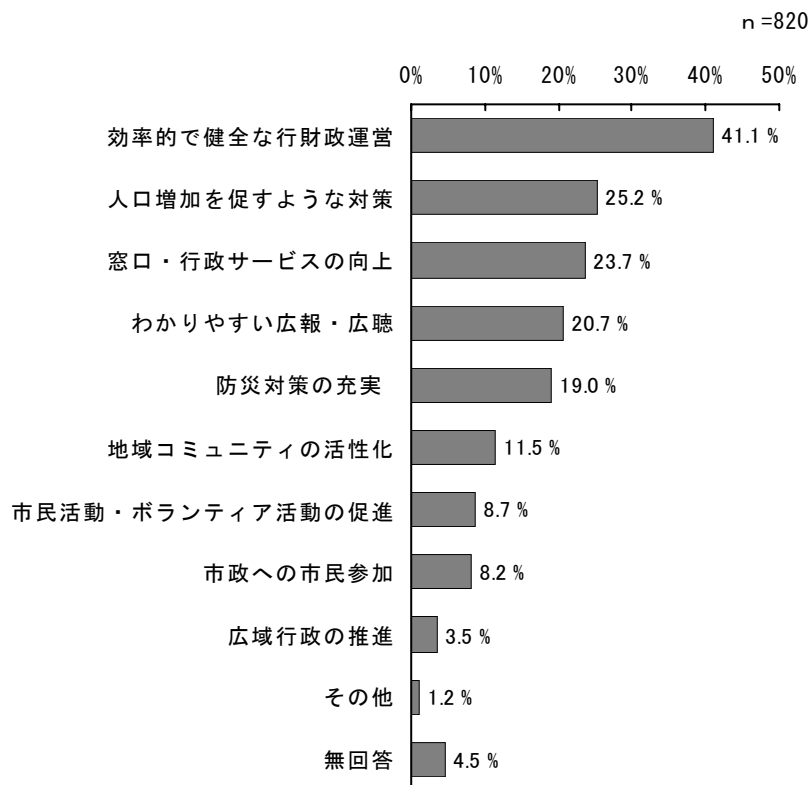
単位：人
%

		回答者数（人）	幹線道路の整備	生活道路の改良・整備	駅周辺の整備	ユニバーサルデザインのまちづくり	公園・緑地の整備	公営住宅の維持管理・整備	宅地の整備	上・下水道の整備	河川、水路の改修	その他	無回答
全体		820	175	463	72	77	170	37	56	66	170	23	44
		100.0	21.3	56.5	8.8	9.4	20.7	4.5	6.8	8.0	20.7	2.8	5.4
性別	男	355	88	213	30	37	62	8	22	29	83	11	14
		100.0	24.8	60.0	8.5	10.4	17.5	2.3	6.2	8.2	23.4	3.1	3.9
	女	455	87	245	41	40	106	28	30	37	86	11	30
		100.0	19.1	53.8	9.0	8.8	23.3	6.2	6.6	8.1	18.9	2.4	6.6
年齢	16～19歳	53	12	19	16	15	15	2	4	1	10	1	0
		100.0	22.6	35.8	30.2	28.3	28.3	3.8	7.5	1.9	18.9	1.9	0.0
	20～29歳	73	14	32	11	8	24	6	3	3	12	0	5
		100.0	19.2	43.8	15.1	11.0	32.9	8.2	4.1	4.1	16.4	0.0	6.8
	30～39歳	87	18	39	5	5	26	8	11	14	12	2	6
		100.0	20.7	44.8	5.7	5.7	29.9	9.2	12.6	16.1	13.8	2.3	6.9
	40～49歳	134	31	70	11	19	38	8	5	15	15	6	7
		100.0	23.1	52.2	8.2	14.2	28.4	6.0	3.7	11.2	11.2	4.5	5.2
	50～59歳	146	32	102	10	15	21	5	10	8	36	3	6
		100.0	21.9	69.9	6.8	10.3	14.4	3.4	6.8	5.5	24.7	2.1	4.1
	60～69歳	178	42	110	6	10	28	4	12	12	48	8	6
		100.0	23.6	61.8	3.4	5.6	15.7	2.2	6.7	6.7	27.0	4.5	3.4
	70歳以上	142	26	87	13	5	17	3	8	13	36	2	13
		100.0	18.3	61.3	9.2	3.5	12.0	2.1	5.6	9.2	25.4	1.4	9.2
居住地区	田中	231	46	128	31	23	55	11	17	22	40	8	9
		100.0	19.9	55.4	13.4	10.0	23.8	4.8	7.4	9.5	17.3	3.5	3.9
	滋野	130	31	72	11	12	25	6	10	10	23	4	8
		100.0	23.8	55.4	8.5	9.2	19.2	4.6	7.7	7.7	17.7	3.1	6.2
	祢津	149	25	82	11	14	31	5	12	12	39	1	9
		100.0	16.8	55.0	7.4	9.4	20.8	3.4	8.1	8.1	26.2	0.7	6.0
	和	162	34	98	6	14	30	10	7	10	39	5	10
		100.0	21.0	60.5	3.7	8.6	18.5	6.2	4.3	6.2	24.1	3.1	6.2
通勤・通学地	市内（自宅を含む）	138	38	77	13	14	28	4	7	12	26	4	7
		100.0	27.5	55.8	9.4	10.1	20.3	2.9	5.1	8.7	18.8	2.9	5.1
	市外	250	59	137	20	22	44	10	15	18	53	7	18
		100.0	23.6	54.8	8.0	8.8	17.6	4.0	6.0	7.2	21.2	2.8	7.2
	通勤・通学はしていない	286	67	153	35	37	72	13	26	19	50	9	9
		100.0	23.4	53.5	12.2	12.9	25.2	4.5	9.1	6.6	17.5	3.1	3.1
		206	36	127	12	16	41	10	8	20	51	5	12
		100.0	17.5	61.7	5.8	7.8	19.9	4.9	3.9	9.7	24.8	2.4	5.8

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

⑥行政運営・防災の分野

行政運営・防災の分野で特に力を入れるべき項目は、「効率的で健全な行財政運営」(41.1%)が4割強と他の項目を上回る。続く「人口増加を促すような対策」(25.2%)、「窓口・行政サービスの向上」(23.7%)、「わかりやすい広報・広聴」(20.7%)、「防災対策の充実」(19.0%)などが主なところである。



〔クロス集計〕

性別では、「効率的で健全な行財政運営」で男性が女性を大きく上回る(12.5ポイント差)。一方、「わかりやすい広報・広聴」「防災対策の充実」については、女性が男性を上回る(各6.8ポイント差、5.2ポイント差)。

年齢別では、いずれの年代も「効率的で健全な行財政運営」を最も多くあげており、60～69歳(46.6%)で特に多い。一方、10歳代・20歳代の若年層では、「防災対策の充実」(各28.3%、27.4%)がやや多い傾向がみられる。

居住地域では、滋野地区の「窓口・行政サービスの向上」(34.6%)が他地区に比べ特に多い。

通勤・通学地別では、市内(自宅を含む)で「人口増加を促すような対策」(32.4%)が多くあげられている。

単位：人
%

		回答者数（人）	わかりやすい広報・ 広聴	効率的で健全な行財 政運営	窓口・行政サービス の向上	地域コミュニティの 活性化	市民活動・ボラン ティア活動の促進	市政への市民参加	人口増加を促すよう な対策	広域行政の推進	防災対策の充実	その他	無回答
全体		820	170	337	194	94	71	67	207	29	156	10	37
		100.0	20.7	41.1	23.7	11.5	8.7	8.2	25.2	3.5	19.0	1.2	4.5
性別	男	355	61	170	80	45	25	32	100	16	58	5	12
		100.0	17.2	47.9	22.5	12.7	7.0	9.0	28.2	4.5	16.3	1.4	3.4
	女	455	109	161	111	46	45	35	106	13	98	5	24
100.0		24.0	35.4	24.4	10.1	9.9	7.7	23.3	2.9	21.5	1.1	5.3	
年齢	16～19歳	53	16	20	10	10	8	5	9	2	15	1	0
		100.0	30.2	37.7	18.9	18.9	15.1	9.4	17.0	3.8	28.3	1.9	0.0
	20～29歳	73	18	33	19	4	7	3	11	2	20	0	3
		100.0	24.7	45.2	26.0	5.5	9.6	4.1	15.1	2.7	27.4	0.0	4.1
	30～39歳	87	21	28	24	10	6	8	20	4	17	0	6
		100.0	24.1	32.2	27.6	11.5	6.9	9.2	23.0	4.6	19.5	0.0	6.9
	40～49歳	134	28	55	34	13	9	14	37	4	30	1	5
		100.0	20.9	41.0	25.4	9.7	6.7	10.4	27.6	3.0	22.4	0.7	3.7
	50～59歳	146	33	62	38	13	13	16	36	5	28	3	6
		100.0	22.6	42.5	26.0	8.9	8.9	11.0	24.7	3.4	19.2	2.1	4.1
	60～69歳	178	31	83	40	22	14	12	52	8	26	3	4
		100.0	17.4	46.6	22.5	12.4	7.9	6.7	29.2	4.5	14.6	1.7	2.2
	70歳以上	142	23	51	28	20	14	8	41	4	20	2	12
		100.0	16.2	35.9	19.7	14.1	9.9	5.6	28.9	2.8	14.1	1.4	8.5
居住地区	田中	231	47	94	55	22	26	28	56	8	35	4	8
		100.0	20.3	40.7	23.8	9.5	11.3	12.1	24.2	3.5	15.2	1.7	3.5
	滋野	130	25	45	45	20	8	11	30	6	20	2	7
		100.0	19.2	34.6	34.6	15.4	6.2	8.5	23.1	4.6	15.4	1.5	5.4
	祢津	149	27	64	35	17	13	7	33	8	33	1	8
		100.0	18.1	43.0	23.5	11.4	8.7	4.7	22.1	5.4	22.1	0.7	5.4
	和	162	38	71	34	14	12	13	45	3	37	0	6
		100.0	23.5	43.8	21.0	8.6	7.4	8.0	27.8	1.9	22.8	0.0	3.7
北御牧	138	32	57	24	19	12	8	41	4	29	3	7	
	100.0	23.2	41.3	17.4	13.8	8.7	5.8	29.7	2.9	21.0	2.2	5.1	
通勤・通学地	市内 （自宅を含む）	250	48	96	59	29	15	22	81	6	44	2	12
		100.0	19.2	38.4	23.6	11.6	6.0	8.8	32.4	2.4	17.6	0.8	4.8
	市外	286	60	129	63	30	30	27	61	13	67	3	9
		100.0	21.0	45.1	22.0	10.5	10.5	9.4	21.3	4.5	23.4	1.0	3.1
	通勤・通学は していない	206	43	82	54	24	20	15	50	9	34	4	9
		100.0	20.9	39.8	26.2	11.7	9.7	7.3	24.3	4.4	16.5	1.9	4.4

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

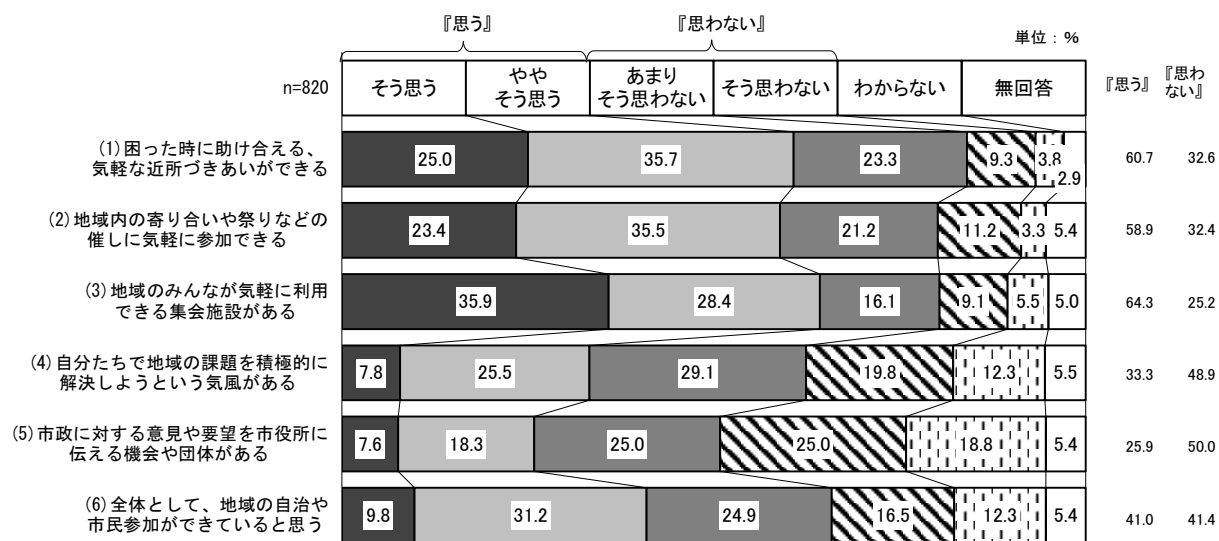
5. 東御市の主要課題

問 14 あなたが暮らしている地域（小学校区単位）の状況について、あなたは日頃どのようにお感じですか。〔1つだけお選びください〕

暮らしている地域の状況について感じることにあつねたところ、『思う』（「思う」＋「やや思う」）が半数を超える項目は、「地域 みんなが気軽に利用できる集会施設がある」（64.3%）、「困った時に助け合える、気軽な近所づきあいができる」（60.7%）、「地域内の寄り合いや祭りなどの催しに気軽に参加できる」（58.9%）の3項目である。

反対に『思わない』（「そう思わない」＋「あまり思わない」）で半数を占める、または半数に近い項目は、「市政に対する意見や要望を市役所に伝える機会や団体がある」（50.0%）、「自分たちで地域の課題を積極的に解決しようという気風がある」（48.9%）の2項目となっており、特に「市政に対する意見や要望を市役所に伝える機会や団体がある」については、「そう思わない」（25.0%）を4人に1人があげている。

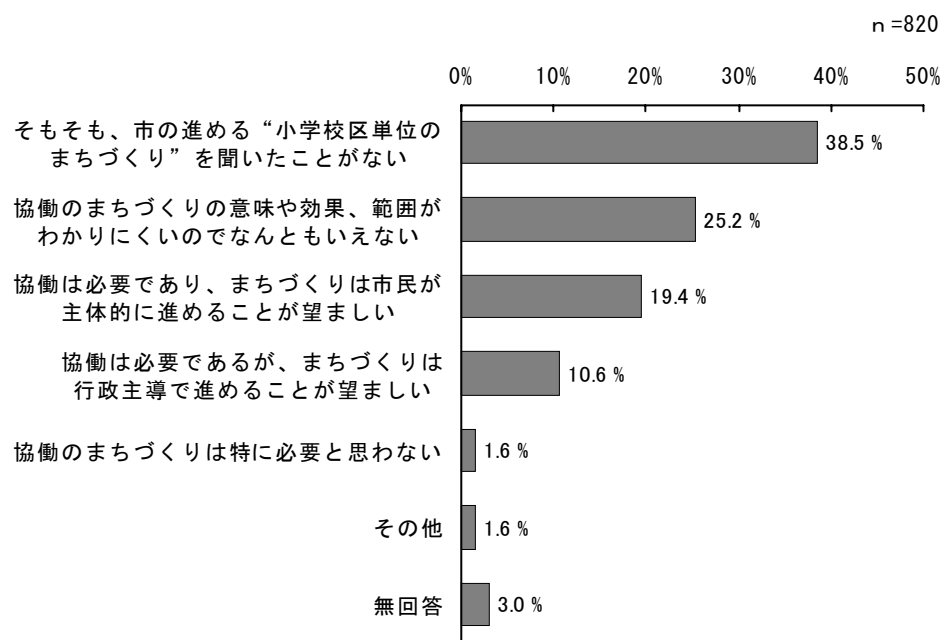
また、「全体として、地域の自治や市民参加ができていると思う」については、『思わない』（41.4%）と『思う』（41.0%）がほぼ拮抗している。



問 15 市では、市民と行政の協働による“小学校区単位のまちづくり”を進めていますが、あなたは、このことについて、どのように感じていますか。[1つだけお選びください]

“小学校区単位のまちづくり”については、「そもそも、市の進める“小学校区単位のまちづくり”を聞いたことがない」(38.5%)が最も多く、4割弱の人があげている。次いで「協働のまちづくりの意味や効果、範囲がわかりにくいのでなんともいえない」(25.2%)であり、周知・啓発の必要な状況がうかがえる。

一方で「協働は必要であり、まちづくりは市民が主体的に進めることが望ましい」(19.4%)は2割程度となっており、「協働のまちづくりは特に必要と思わない」はわずかに1.6%である。



〔クロス集計〕

性別では、「そもそも、市の進める“小学校区単位のまちづくり”を聞いたことがない」で女性が男性を上回る(9.1ポイント差)。反対に「協働は必要であるが、まちづくりは行政主導で進めることが望ましい」は男性が女性を上回る(5.7ポイント差)。

年齢別では、70歳以上を除き全ての年代で「そもそも、市の進める“小学校区単位のまちづくり”を聞いたことがない」が最も多くあげられているが、16～19歳、20～29歳(各47.2%、43.8%)で4割台、30～39歳(56.3%)では5割を超えるなど、若年層を中心に認知が進んでいない状況がうかがえる。

居住地域別においても、全ての地区で「そもそも、市の進める“小学校区単位のまちづくり”を聞いたことがない」が最も多いが、滋野地区(46.2%)のみ4割を超え、特に多くなっている。

単位：人
%

		回答者数（人）	望主ま協 ま体的に 望ましは い進めは るく必要 ことめは が民あり がが	進ま協 めち働 るづく こと必要 がは行政 望まし主 しい導で	なわ意協 んかやの とりに効 もにく果 いえの、 ないでづ くり囲が	必要協 と思働 わのま ないち はづく りり は特	なづ“そ いくり小 ”をも、 聞区市 いた単 こと位の がのま ちる	その他	無回答
全体		820	159	87	207	13	316	13	25
		100.0	19.4	10.6	25.2	1.6	38.5	1.6	3.0
性別	男	355	69	49	92	5	119	7	14
		100.0	19.4	13.8	25.9	1.4	33.5	2.0	3.9
女		455	87	37	113	8	194	6	10
		100.0	19.1	8.1	24.8	1.8	42.6	1.3	2.2
年齢	16～19歳	53	11	6	10	1	25	0	0
		100.0	20.8	11.3	18.9	1.9	47.2	0.0	0.0
	20～29歳	73	14	6	18	1	32	0	2
		100.0	19.2	8.2	24.7	1.4	43.8	0.0	2.7
	30～39歳	87	19	3	13	0	49	1	2
		100.0	21.8	3.4	14.9	0.0	56.3	1.1	2.3
	40～49歳	134	21	12	35	3	57	2	4
		100.0	15.7	9.0	26.1	2.2	42.5	1.5	3.0
	50～59歳	146	24	15	42	1	58	4	2
		100.0	16.4	10.3	28.8	0.7	39.7	2.7	1.4
	60～69歳	178	32	21	52	5	61	1	6
		100.0	18.0	11.8	29.2	2.8	34.3	0.6	3.4
	70歳以上	142	36	23	36	2	32	5	8
		100.0	25.4	16.2	25.4	1.4	22.5	3.5	5.6
居住地域	田中	231	40	29	57	4	91	3	7
		100.0	17.3	12.6	24.7	1.7	39.4	1.3	3.0
	滋野	130	29	8	26	3	60	1	3
		100.0	22.3	6.2	20.0	2.3	46.2	0.8	2.3
	祢津	149	24	20	42	2	55	2	4
		100.0	16.1	13.4	28.2	1.3	36.9	1.3	2.7
	和	162	29	18	48	2	58	3	4
		100.0	17.9	11.1	29.6	1.2	35.8	1.9	2.5
	北御牧	138	33	11	34	2	49	3	6
		100.0	23.9	8.0	24.6	1.4	35.5	2.2	4.3

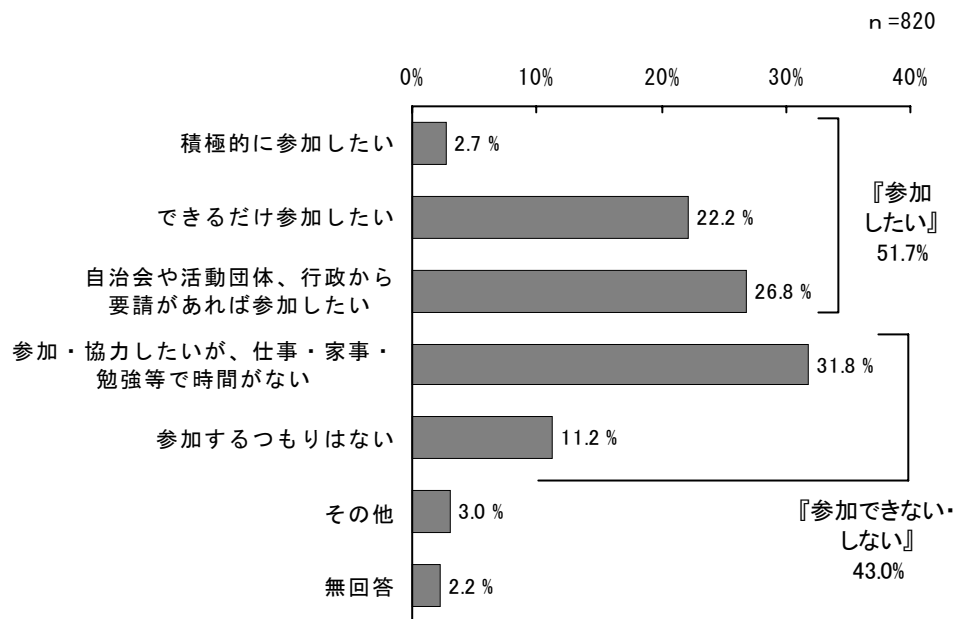
注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

問 16 あなたは、東御市が進めるまちづくりやいろいろな活動に参加したいとお考えですか。[1つだけお選びください]

市が進めるまちづくりや各種活動に参加したいかどうかは、「参加・協力したいが、仕事・家事・勉強等で時間がない」(31.8%)が最も多い。

一方で、「積極的に参加したい」(2.7%)、「できるだけ参加したい」(22.2%)、「自治会や活動団体、行政から要請があれば参加したい」(26.8%)を合わせた『参加したい』(51.7%)は半数を超える。

「参加するつもりはない」(11.2%)は1割程度にとどまる。

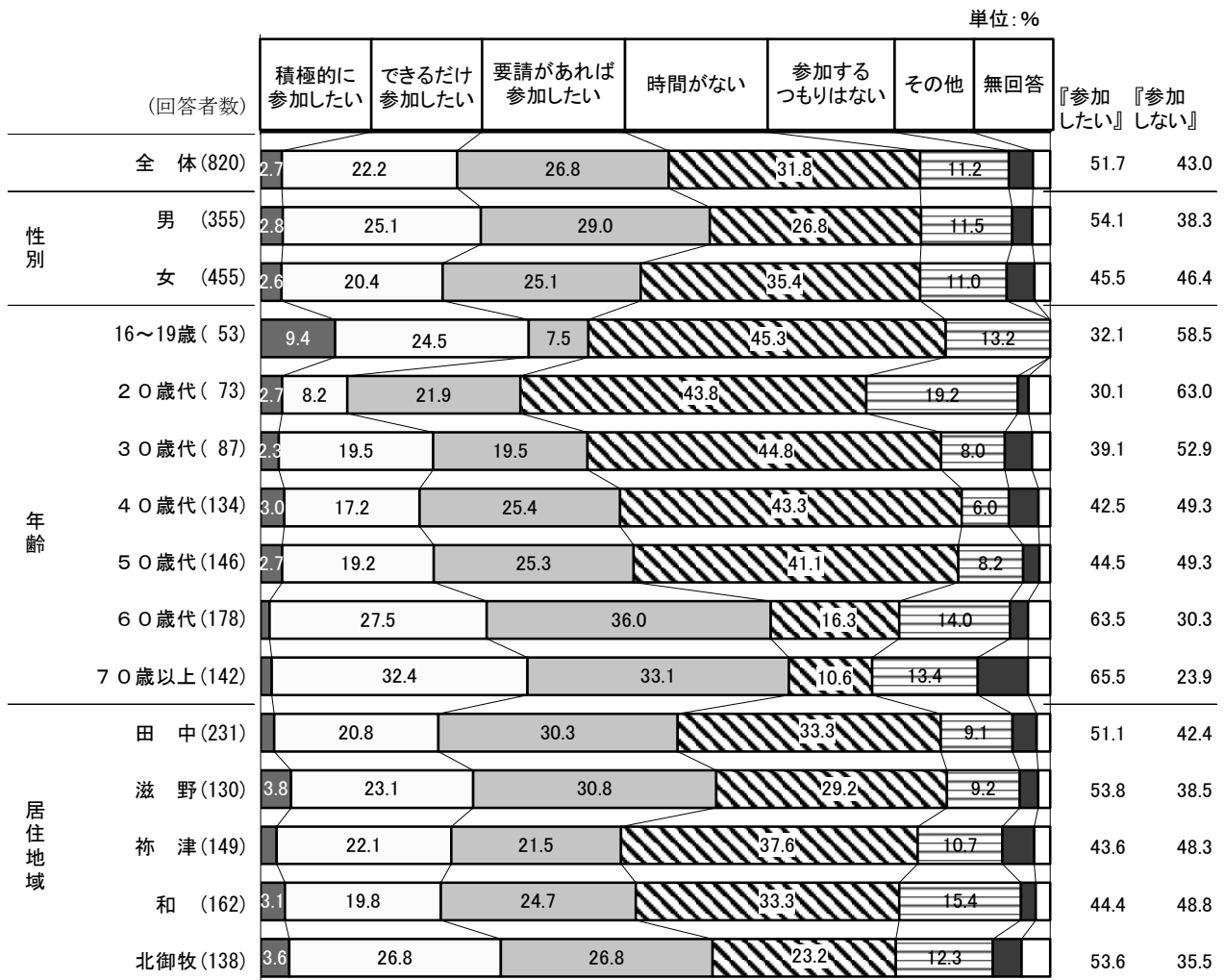


〔クロス集計〕

性別では、女性に比べ男性で『参加したい』が多い（8.6ポイント差）。

年齢では、10～19歳で「積極的に参加したい」（9.4%）が1割近くと、群を抜いて多くなっているものの、『参加したい』は年齢高くなるほど多くなる傾向にある。

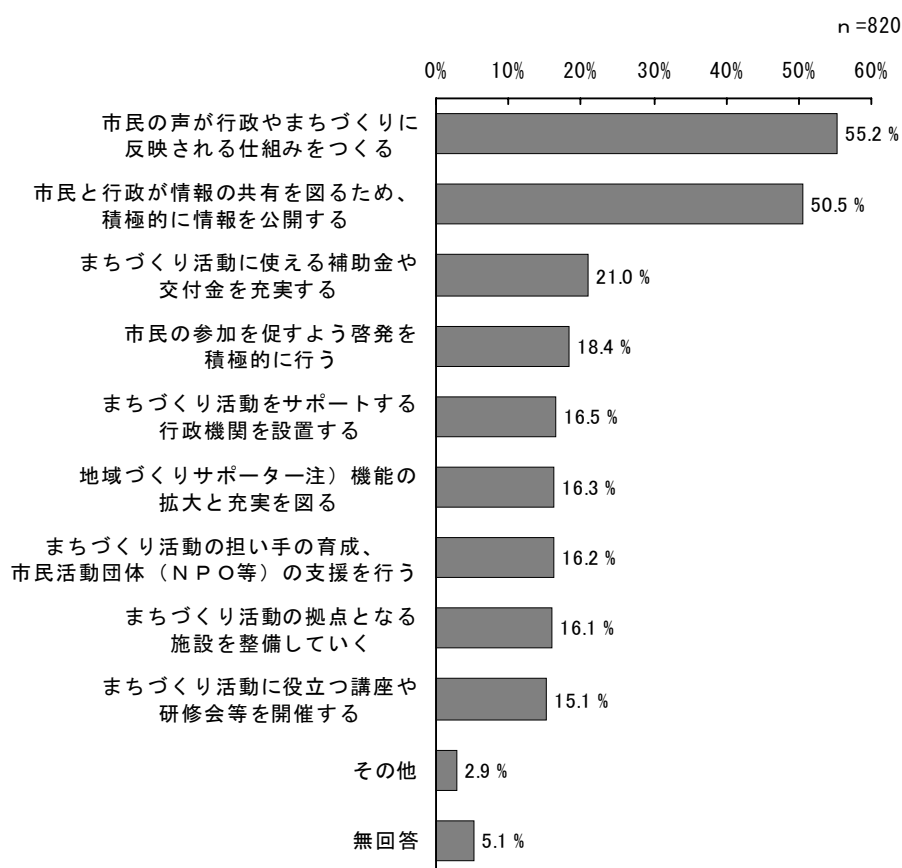
居住地域別では、柵津地区と和地区を除き『参加したい』が『参加できない・しない』を上回っており、なかでも北御牧地区及び滋野地区では、その差が10ポイント以上と参加意欲が高い。



問 17 “小学校単位のまちづくり”を活発にしていくために、市ではどのようなことに力を入れる必要があると思いますか。[3つまでお選びください]

“小学校単位のまちづくり”を活発にするために、市が力を入れるべきことは、「市民の声が行政やまちづくりに反映される仕組みをつくる」(55.2%)、「市民と行政が情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」(50.5%) がともに 5 割を超え、圧倒的に多い。

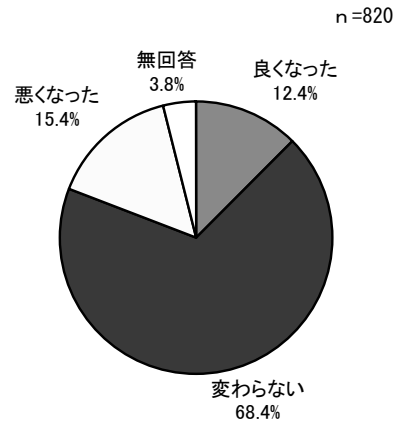
次いで「まちづくり活動に使える補助金や交付金を充実する」(21.0%) が 2 割強である他は、いずれも 1 割台となっている。



6. 町村合併による変化

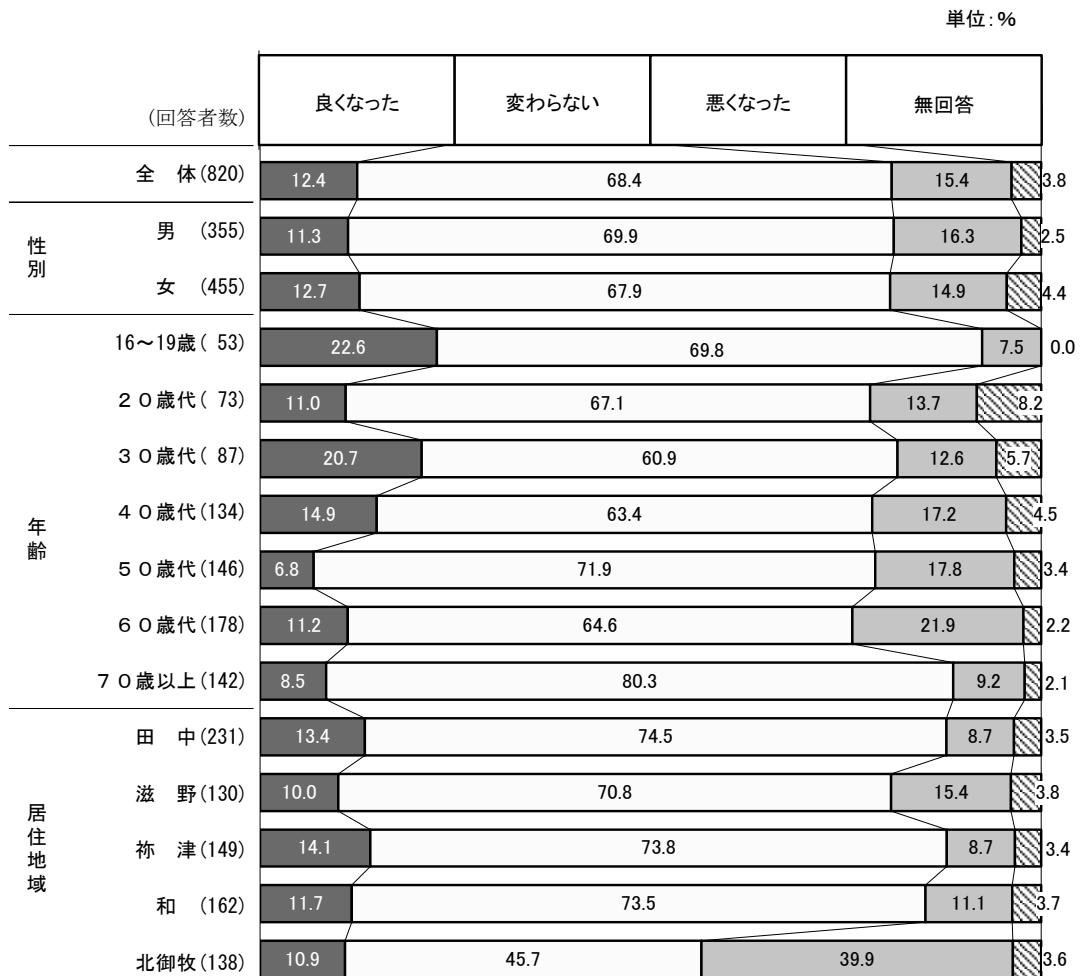
問 18 東御市は、合併して 10 年を迎えようとしています。合併により、あなたのお住まいの地域はどのように変わったと思いますか。[1 つだけお選びください]

合併による地域の変化については、「変わらない」(68.4%) が 7 割近くを占め、最も多いが、「悪くなった」(15.4%) が「良くなった」(12.4%) をやや上回る結果となっている。



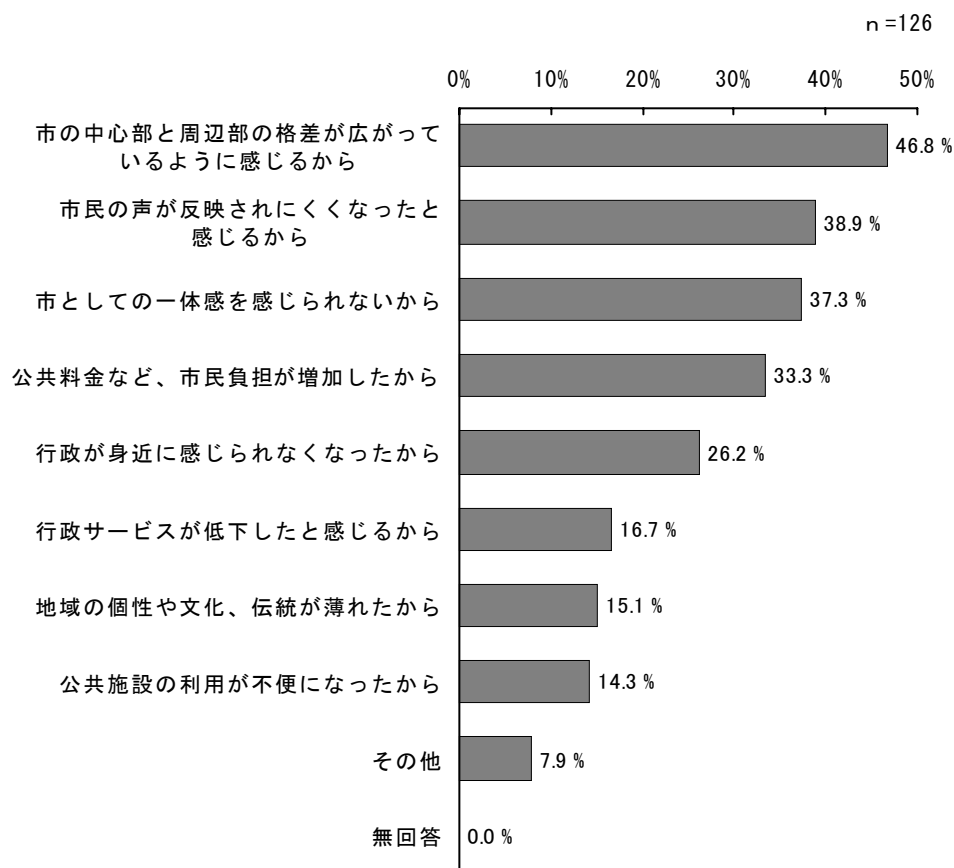
〔クロス集計〕

性別では、ほとんど違いは見られない。年齢では、「良くなった」は 16～19 歳 (22.6%) と 30 歳代 (20.7%) が 2 割台とやや多いが、これらの年代以外では「悪くなった」が「良くなった」を上回っており、40～60 歳代では「悪くなった」が 1 割後半～2 割台とやや多くなっている。居住地域では、北御牧地区のみ「悪くなった」(39.9%) が突出して多く 4 割近い。



問 18-1（問 18 で「3」を選んだ方のみ）悪くなったと思われる理由は何ですか。〔3つまでお選びください〕

合併後、地域が「悪くなった」と回答した人に対し、その理由をたずねたところ、「市の中心部と周辺部の格差が広がっているように感じるから」（46.8%）が最も多く4割台、続く「市民の声が反映されにくくなったと感じるから」（38.9%）、「市としての一体感を感じられないから」（37.3%）、「公共料金など、市民負担が増加したから」（33.3%）でいずれも3割台となっている。



〔クロス集計〕

性別でみると、「市民の声が反映されにくくなったと感じるから」は男性が女性を大きく上回り、「市としての一体感を感じられないから」は女性が男性を上回る（各 17.4 ポイント差、8.4 ポイント差）。

年齢別では、20 歳代を除き「市の中心部と周辺部の格差が広がっているように感じるから」または「市としての一体感を感じられないから」を最も多くあげている。ちなみに、20 歳代は「市民の声が反映されにくくなったと感じるから」（70.0%）が多い。

居住地域別では、最も多くあげられる回答は多様であるが、祢津地区の「公共料金など、市民負担が増加したから」（76.9%）が7割と特に多い。また、問 18 で合併により地域が「悪くなった」との回答が最も多い北御牧地区では「市の中心部と周辺部の格差が広がっているように感じるから」（52.7%）が他の項目に比べ特に多い。

単位：人
%

		回答者数（人）	市としての一体感を 感じられないから	市の中心部と周辺部の格 差が広がっているから	行政が身近に感じられな くなくなったから	行政サービスが低下 したと感じるから	公共料金など、市民 負担が増加したから	地域の個性や文化、 伝統が薄れたから	市民の声が反映され にくくなったと 感じるから	公共施設の利用が 不便になったから	その他	無回答
全体		126	47	59	33	21	42	19	49	18	10	0
		100.0	37.3	46.8	26.2	16.7	33.3	15.1	38.9	14.3	7.9	0.0
性別	男	58	19	29	18	11	20	9	28	7	5	0
		100.0	32.8	50.0	31.0	19.0	34.5	15.5	48.3	12.1	8.6	0.0
	女	68	28	30	15	10	22	10	21	11	5	0
		100.0	41.2	44.1	22.1	14.7	32.4	14.7	30.9	16.2	7.4	0.0
年齢	16～19歳	4	1	3	0	0	0	1	2	2	0	0
		100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	4	4	2	1	1	2	7	0	1	0
		100.0	40.0	40.0	20.0	10.0	10.0	20.0	70.0	0.0	10.0	0.0
	30～39歳	11	5	5	1	2	4	1	4	2	1	0
		100.0	45.5	45.5	9.1	18.2	36.4	9.1	36.4	18.2	9.1	0.0
	40～49歳	23	2	10	6	2	9	2	7	2	4	0
		100.0	8.7	43.5	26.1	8.7	39.1	8.7	30.4	8.7	17.4	0.0
	50～59歳	26	14	15	7	3	12	3	11	0	1	0
		100.0	53.8	57.7	26.9	11.5	46.2	11.5	42.3	0.0	3.8	0.0
	60～69歳	39	15	17	12	12	14	8	15	9	1	0
		100.0	38.5	43.6	30.8	30.8	35.9	20.5	38.5	23.1	2.6	0.0
	70歳以上	13	6	5	5	1	2	2	3	3	2	0
		100.0	46.2	38.5	38.5	7.7	15.4	15.4	23.1	23.1	15.4	0.0
居住地域	田中	20	10	7	4	2	5	3	11	2	1	0
		100.0	50.0	35.0	20.0	10.0	25.0	15.0	55.0	10.0	5.0	0.0
	滋野	20	6	12	5	3	5	2	5	2	4	0
		100.0	30.0	60.0	25.0	15.0	25.0	10.0	25.0	10.0	20.0	0.0
	祢津	13	7	4	3	1	10	0	5	0	0	0
		100.0	53.8	30.8	23.1	7.7	76.9	0.0	38.5	0.0	0.0	0.0
	和	18	9	7	4	6	6	1	4	4	2	0
		100.0	50.0	38.9	22.2	33.3	33.3	5.6	22.2	22.2	11.1	0.0
	北御牧	55	15	29	17	9	16	13	24	10	3	0
		100.0	27.3	52.7	30.9	16.4	29.1	23.6	43.6	18.2	5.5	0.0

注：アミ掛けは全体結果より5ポイント以上多いもの。

問 19 東御市では、合併前に新市のまちづくり（将来構想）を策定するためのアンケート調査を実施しています。その中では「合併にあたって期待すること」や「合併の不安を解消するためには」について、ご意見をいただいておりますが、改めて検証を行うためにお伺いします。

- ① あなたは、「合併にあたって期待すること」として回答のあった、次のそれぞれの項目について、現在、どのようにお感じですか。

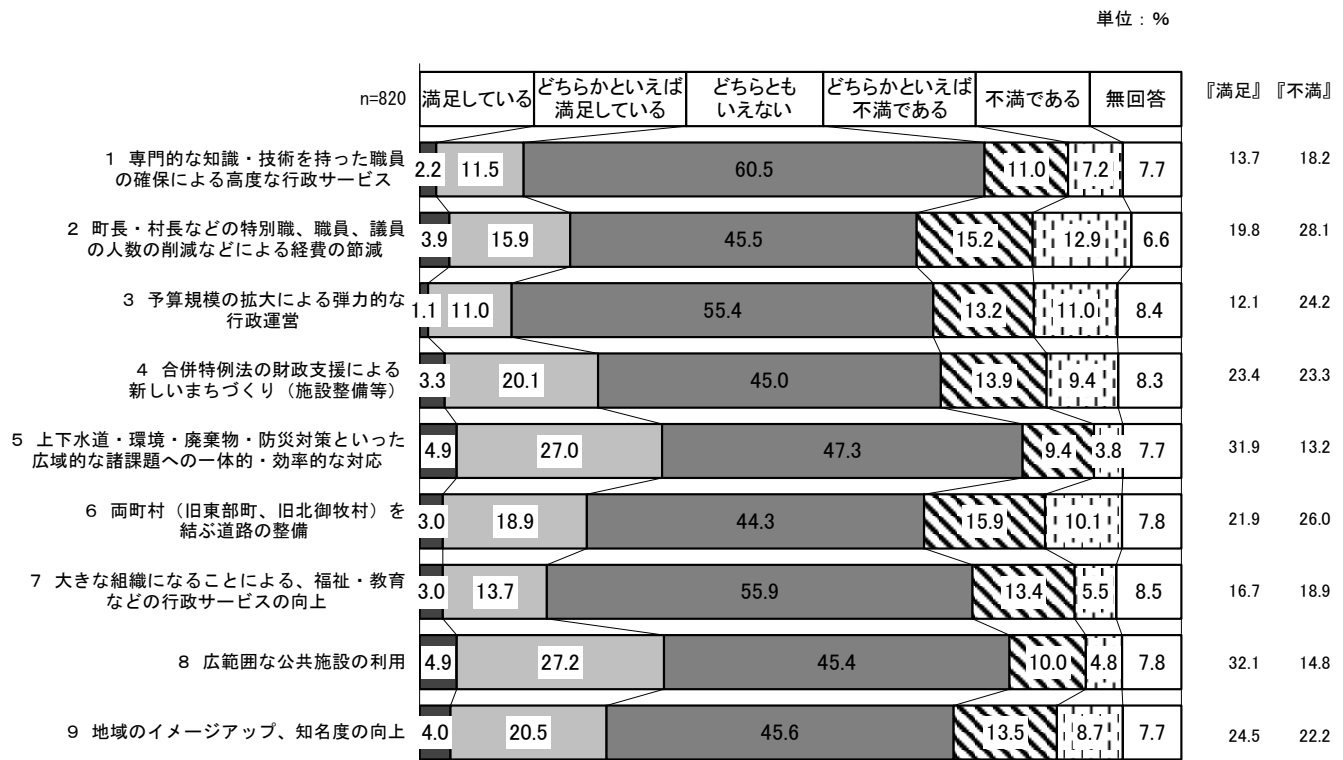
【それぞれ1つだけお選びください】

「合併にあたって期待すること」に対する現在の評価をたずねたところ、いずれの項目も「どちらともいえない」が最も大きな割合を占めている。

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を大きく上回る項目は、「上下水道・環境・廃棄物・防災対策といった広域的な諸課題への一体的・効率的な対応」（18.7 ポイント差）と「広範囲な公共施設の利用」（17.3 ポイント差）である。

反対に『不満』が『満足』を大きく上回る項目は、「予算規模の拡大による弾力的な行政運営」（12.1 ポイント差）、「町長・村長などの特別職、職員、議員の人数の削減などによる経費の節減」（8.3 ポイント差）などとなっている。

一方、「合併特例法の財政支援による新しいまちづくり（施設整備等）」や「大きな組織になることによる、福祉・教育などの行政サービスの向上」、「地域のイメージアップ、知名度の向上」については、評価が二分している。

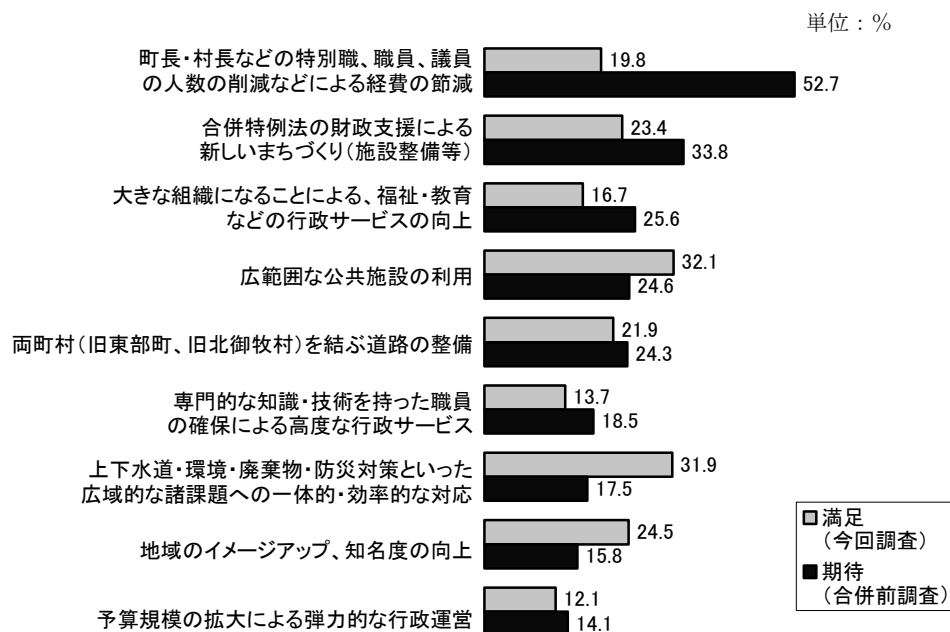


合併前調査との参考比較

合併前調査（平成 14 年 10 月実施）における、合併にあたって「期待できること」への回答を「期待」、今回調査を「満足」として、参考比較を行った。

「期待」に対し、「満足」が上回ったのは、「広範囲な公共施設の利用」「上下水道・環境・廃棄物・防災対策といった広域的な諸課題への一体的・効率的な対応」「地域のイメージアップ、知名度の向上」の 3 項目である。

反対に、「期待」に対し、「満足」が大きく下回るのは、「町長・村長などの特別職、職員、議員の人数の削減などによる経費の節減」であり、突出している。

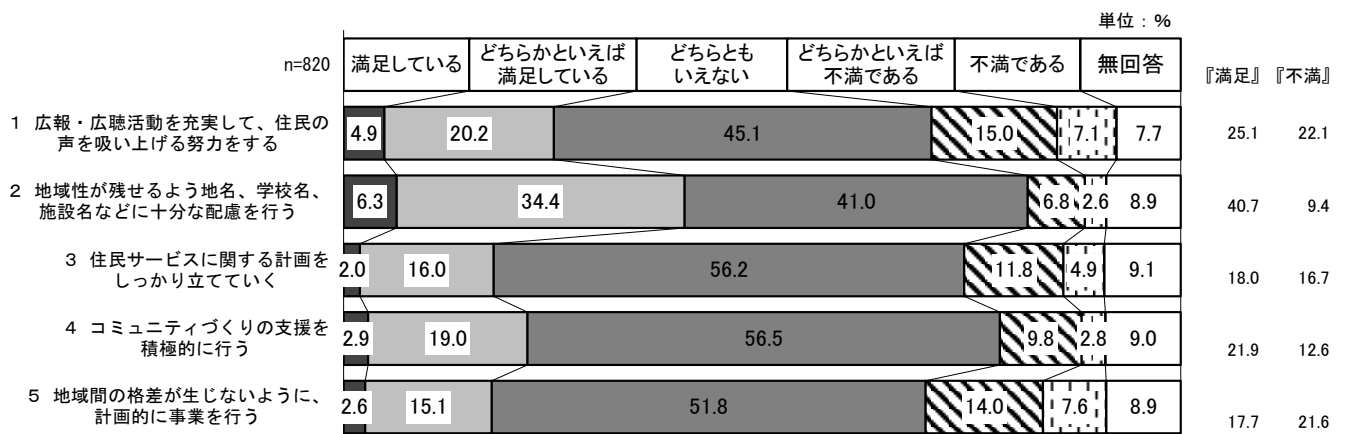


② あなたは、「合併の不安を解消するためには」に対して回答のあった、次のそれぞれの項目について、現在、どのようにお感じですか。
【それぞれ1つだけお選びください】

「合併の不安を解消するためには」に対する現在の評価をたずねたところ、いずれの項目も「どちらともいえない」が最も大きな割合を占めている。

5項目中4項目は、『満足』が『不満』を上回っており、「地域性が残せるよう地名、学校名、施設名などに十分な配慮を行う」(31.3 ポイント差)では、特に『満足』の割合が大きくなっている。

反対に『不満』が『満足』を上回ったのは、「地域間の格差が生じないように、計画的に事業を行う」(3.9 ポイント差)のみである。

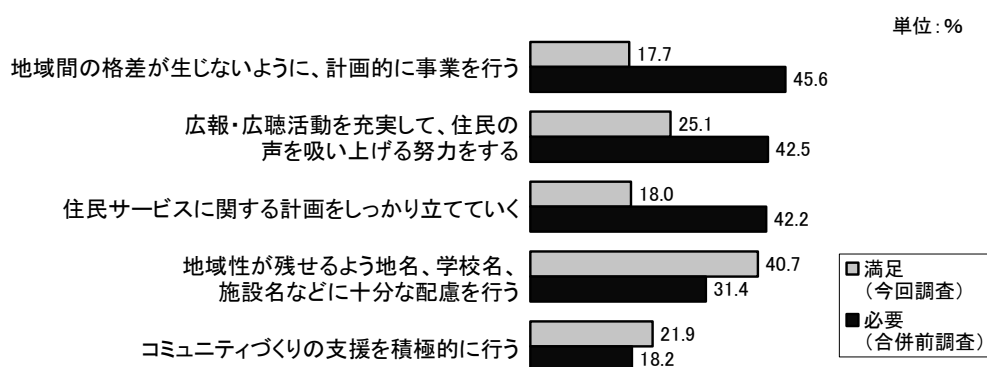


合併前調査との参考比較

合併前調査（平成 14 年 10 月実施）における、合併にあたっての「心配を解消するにはどうしたらいいか」で回答のあった 5 項目に対し、それらを「必要」、今回調査を「満足」として、参考比較を行った。

「必要」に対し「満足」の割合が上回るのは、「地域性が残せるよう地名、学校名、施設名などに十分な配慮を行う」「コミュニティづくりの支援を積極的に行う」である。

一方、「地域間の格差が生じないように、計画的に事業を行う」「住民サービスに関する計画をしっかりと立てていく」では、「必要」と「満足」の間に大きな乖離がみられる。

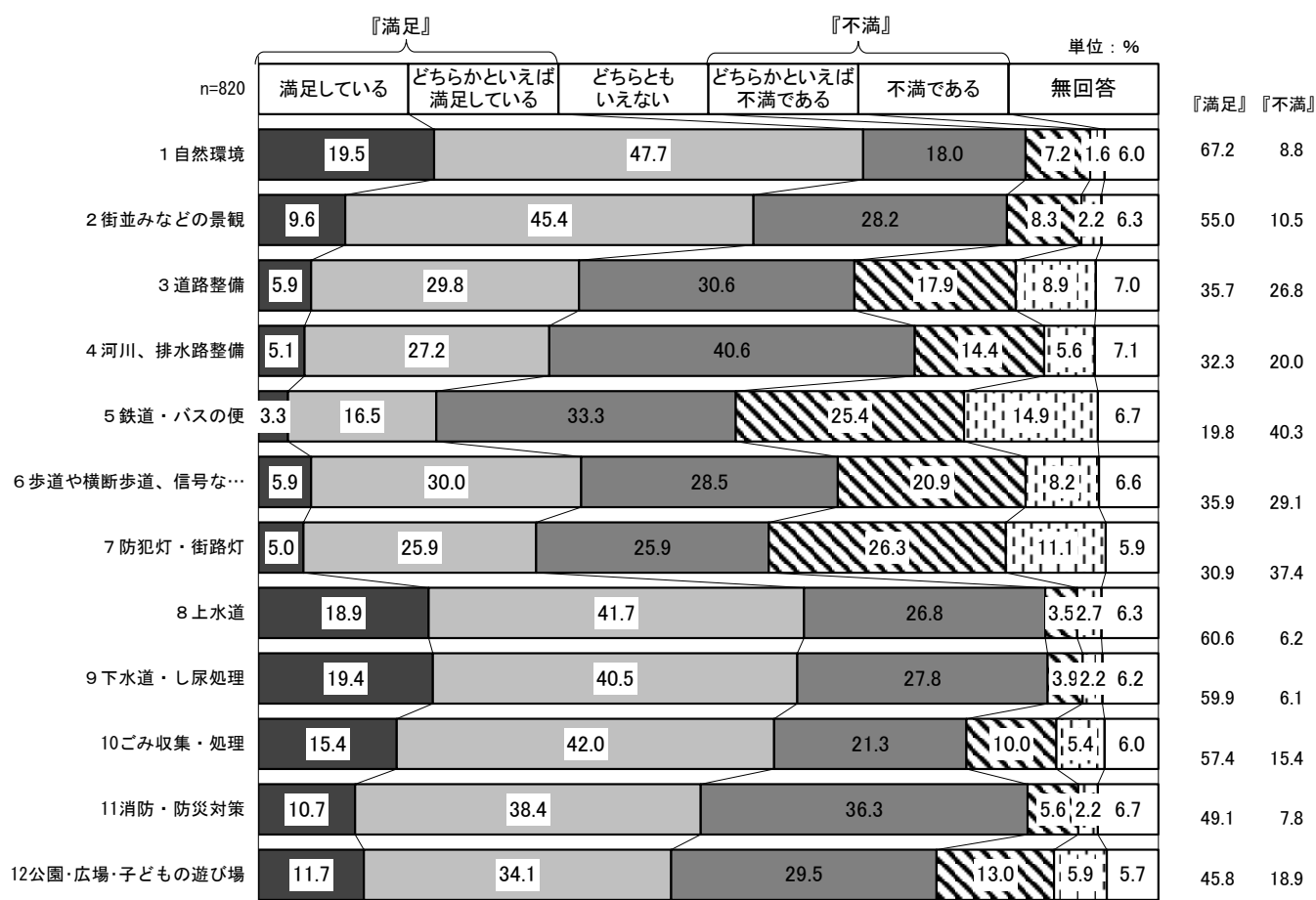


問 20 あなたは、次のそれぞれの項目について、現在どの程度満足されていますか。
〔それぞれ1つだけお選びください〕

①自然環境・生活環境

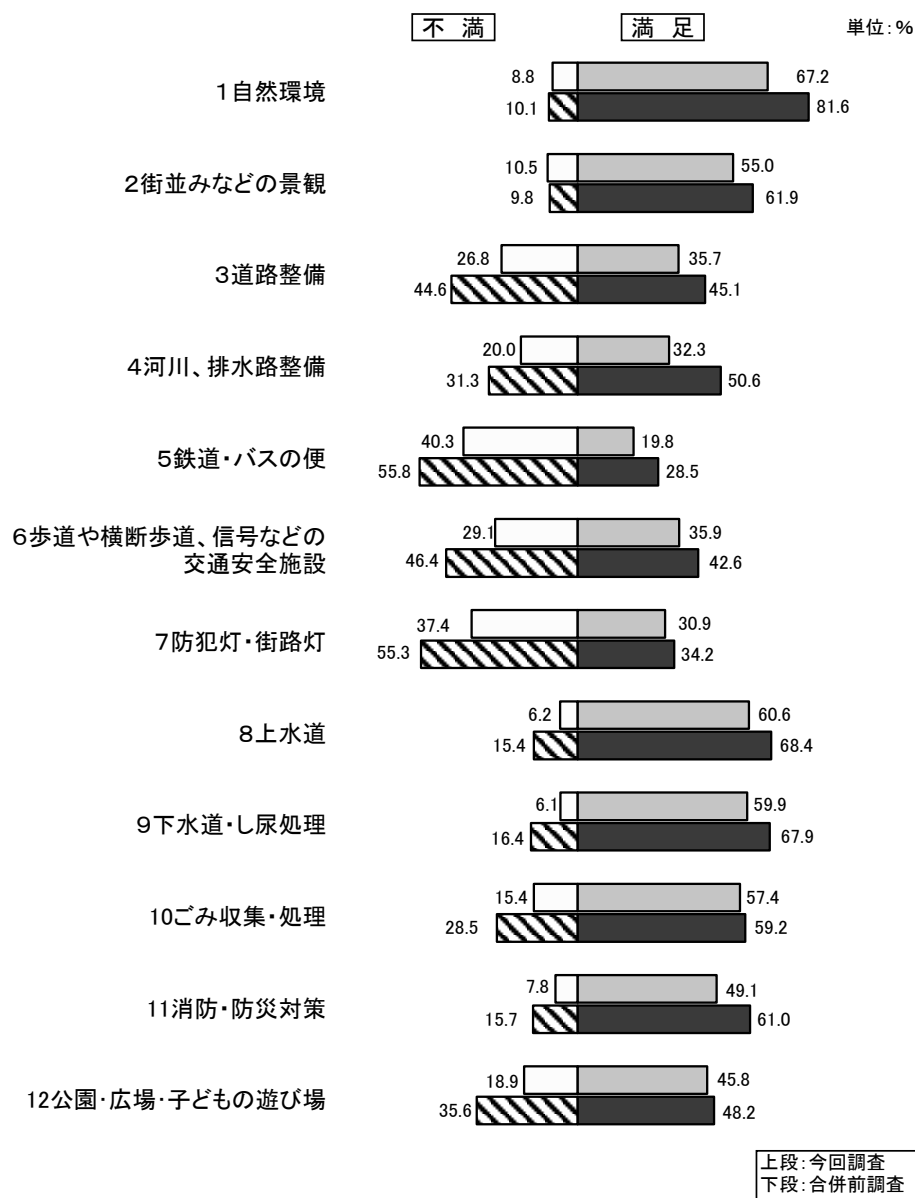
自然環境・生活環境に対する満足度についてたずねたところ、『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が半数を超えるのは、「自然環境」（67.2%）、「上水道」（60.6%）、
「下水道・し尿処理」（59.9%）、「ごみ収集・処理」（57.4%）、「街並みなどの景観」（55.0%）である。

ほとんどの項目で『満足』が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るが、「鉄道・バスの便」（20.5 ポイント差）、「防犯灯・街路灯」（6.5 ポイント差）のみ『不満』が『満足』を上回った。



合併前調査との比較

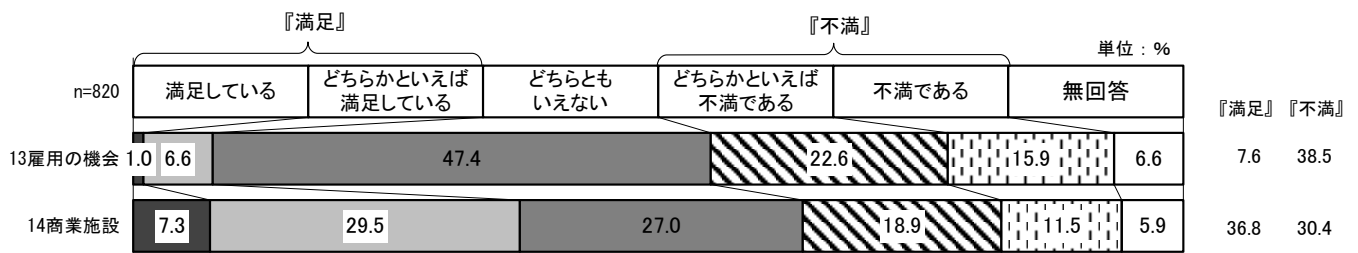
合併前調査（平成 14 年 10 月実施）との比較では、『満足』はいずれも微減傾向にあるものの、『不満』についても、「街並みなどの景観」を除くすべての項目で減少している。特に、「防犯灯・街路灯」「道路整備」「歩道や横断歩道、信号などの交通安全施設」「公園・広場・子どもの遊び場」「鉄道・バスの便」（各 17.9 ポイント差、17.8 ポイント差、17.3 ポイント差、16.7 ポイント差、15.5 ポイント差）などで減少の幅が大きくなっている。



②産業

産業に対する満足度についてたずねたところ、「雇用の機会」は『満足』（7.6%）が1割に満たず、『不満』（38.5%）が大きく上回る。

一方、「商業施設」については、『満足』（36.8%）と『不満』（30.4%）がともに3割台と評価が分かれる。

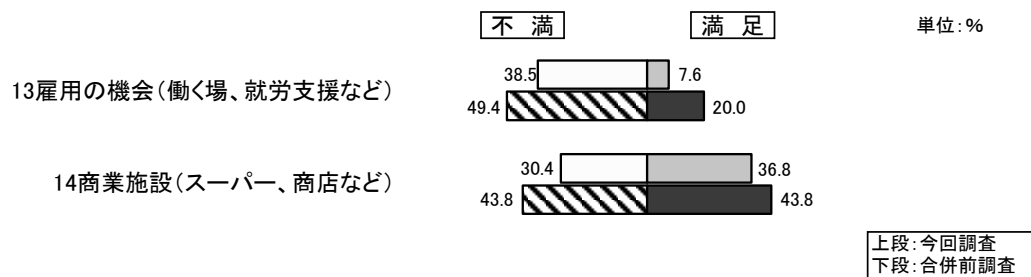


合併前調査との比較

合併前調査（平成14年10月実施）との比較では、『不満』は「商業施設（スーパー、商店など）」「雇用の機会（働く場、就労支援など）」ともに10ポイント以上減少している。

（各13.4ポイント差、10.9ポイント差）

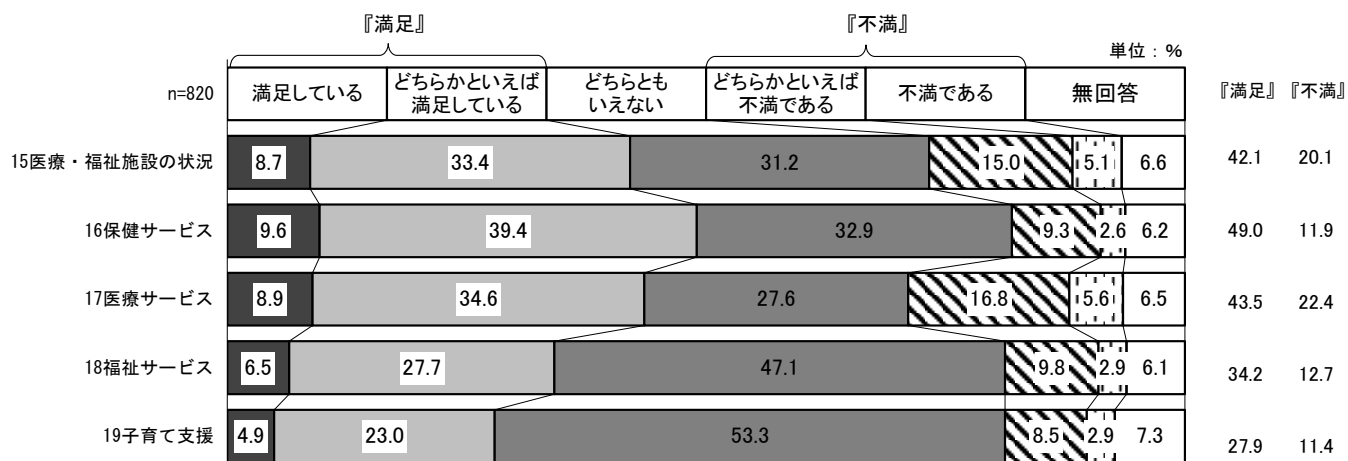
一方で、『満足』についても減少しており、特に「雇用の機会（働く場、就労支援など）」（12.4ポイント差）では、10ポイント以上の差がある。



③保健・医療・福祉

保健・医療・福祉に対する満足度についてたずねたところ、すべての項目で『満足』が『不満』を上回る。特に「保健サービス」は37.1ポイント差と『満足』の割合が高い。

ただし、「医療サービス」と「医療・福祉施設の状況」については、『不満』（各22.4%、20.1%）が2割台に達していることから、一概に満足度が高いとは言えない。

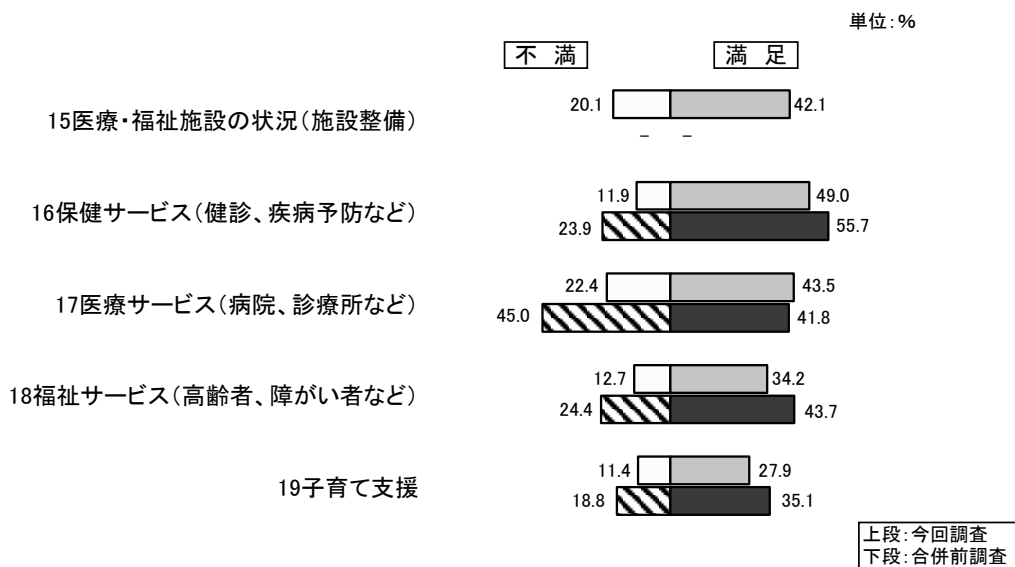


合併前調査との比較

合併前調査（平成14年10月実施）との比較では、「医療サービス（病院、診療所など）」で『満足』が増加している（1.7ポイント差）。その他の項目では、いずれも微減傾向にある。

一方、『不満』については全ての項目で減少しており、特に『満足』で増加がみられた「医療サービス」（22.6ポイント差）では、大幅減である。その他、減少幅が大きい順に、「保健サービス（健診、疾病予防など）」「福祉サービス（高齢者、障がい者など）」「子育て支援」（各12ポイント差、11.7ポイント差、7.4ポイント差）となっている。

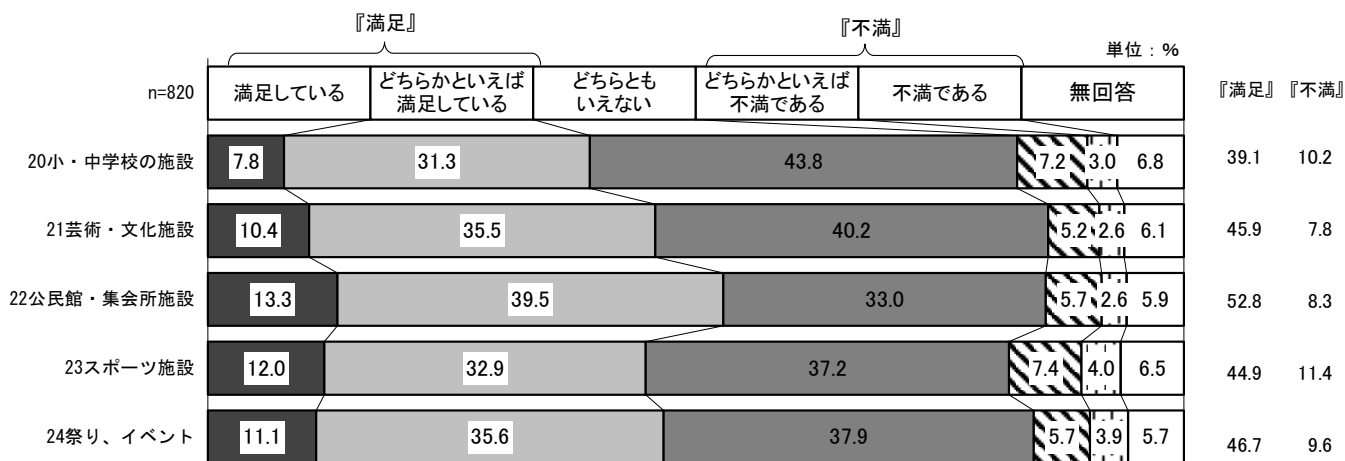
なお、「医療・福祉施設の状況（施設整備）」については、合併前調査の項目にない。



④教育・文化

教育・文化に対する満足度についてたずねたところ、すべての項目で『満足』が『不満』を大きく上回った。「公民館・集会所施設」は『満足』(52.8%)が半数を超え、その他の項目も「小・中学校の施設」(39.1%)を除き、いずれも4割台となっている。

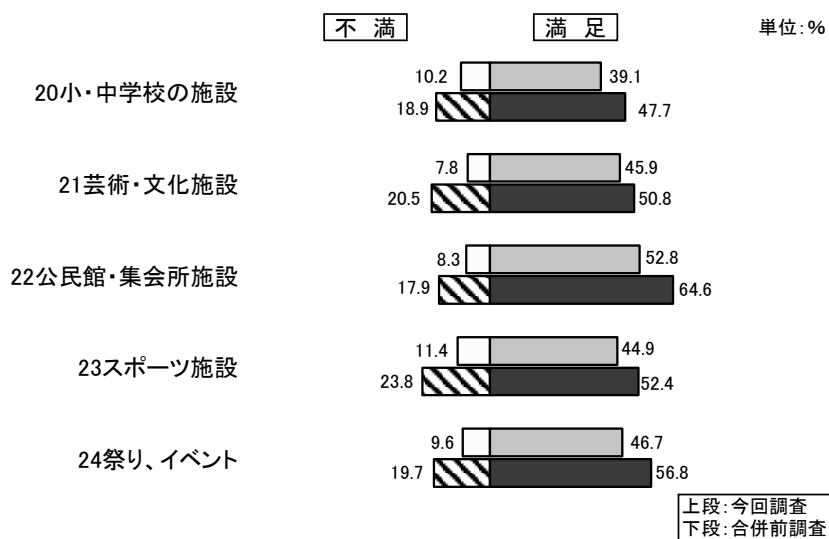
『不満』が1割を超えるのは、「スポーツ施設」(11.4%)と「小・中学校の施設」(10.2%)である。



合併前調査との比較

合併前調査（平成14年10月実施）との比較では、『満足』『不満』ともに減少しているが、『不満』は「芸術・文化施設」「スポーツ施設」(各12.7ポイント差、12.4ポイント差)で10ポイント以上減少している。

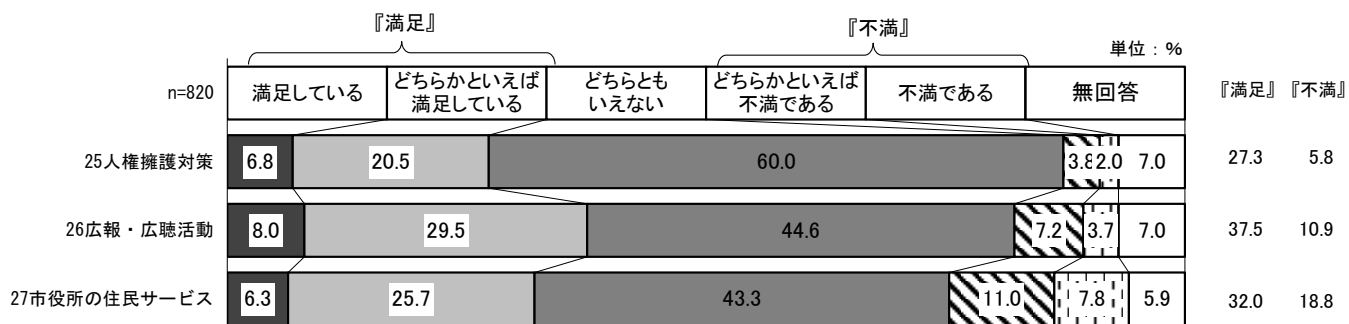
一方で『満足』は、「公民館・集会所施設」「祭り、イベント」(各11.8ポイント差、10.1ポイント差)などで、減少の幅が大きくなっている。



⑤市政・まちづくり

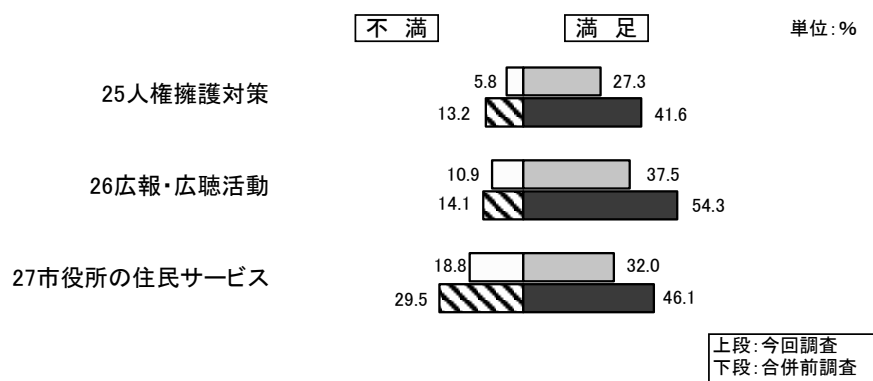
市政・まちづくりに対する満足度についてたずねたところ、すべての項目で『満足』が『不満』を上回るものの、『満足』は「広報公聴活動」(37.5%)、「市役所の住民サービス」(32.0%)ともに3割台にとどまる。

一方、「人権擁護対策」は「どちらともいえない」(60.0%)が全項目中で最も多くあげられている。



合併前調査との比較

合併前調査（平成14年10月実施）との比較では、『不満』『満足』ともに減少しているが、『不満』に対して『満足』の減少幅が大きい。『不満』は「市役所の住民サービス」(10.7ポイント差)で大きく減少している。反対に『満足』は、すべての項目で10ポイント以上減少しているが、特に「広報・広聴活動」(16.8ポイント差)ではその差が大きくなっている。



Ⅲ 自由回答

調査票の最後で、市政やまちづくりに関するご意見やご希望、アイデア等を自由記入形式で求めたところ、230 人の方から記入があった。以下は記入内容を分野ごとにまとめたものである。

1. 自然環境・生活環境

- ・空き地、休耕田、道路の雑草が目につく。湯の丸 I C から常田交差点、浅間サンライン等は観光客の印象が悪くなると思う。河川改修はコンクリート等の人工物ではなく自然な形の護岸を目指してほしい。以前テレビで見たところではコンクリートブロックの岸を壊して昔ながらの植生を行っていた。
- ・景観の美しい場所には、人は集うのです。利便性や経済だけが重視される町には住みたくありません。
- ・常田の清水は飲めるんですか？汲めるようにしては田中の町までもってくるのはどうか。
- ・荒れている畑地が多い。何とか活用できないか。山森林の再開発を考えてほしい。
- ・緑化を推進する割にはその庭木の処理方法が不十分。山などに捨てる人もいるがきちんとゴミ袋に入れようと思うと小さすぎて破けてしまい、また袋が北御牧地区と比べ高額であり、垣根をやめて塀にしたいくなります。
- ・現在のゴミの分別（出し方）によりゴミの量は減少したかと思うが、それよりも市外から来た人が「ゴミの分別が難しくて良く分からない」とよく言います。或いは、家庭で奥様は分かっているが他の人は分からず困っていると思われる。せっかく根付いたが、もっと出し方は簡単明瞭に出来ないものか？このようなことで「住みづらい町」には決してなってほしくない。
- ・ゴミの分別に迷うことがあります。ホームページに 50 音順で検索できるようにしてほしいです。カレンダーだけでは大まかすぎて分からないことがあります。
- ・庭の草、切り落とした木の枝等燃えるものは家庭の焼却装置で焼却させて欲しい。（庭に掘った穴等の焼却装置）。ゴミ袋に入れて燃えるゴミで出すのは多大な労力がある。高い金を出して市で焼却処分するのは税金の無駄。まとめてゴミステーションに出すと市の担当から苦情が入る。これらのゴミの処理には大変困っている。
- ・道路脇に花等を良く植えているが中途半端にやるならやらない方がよい。住んで間もないので、良いところ、悪いところが良く分かりませんが、水道代が高い。ゴミ袋代が高くゴミ袋に名前を書く必要があるのか？ということに疑問を感じています。
- ・市役所を美しくする前に、町を美しくすることも大切だと思います。通学路や公園には沢山のゴミが落ちています。汚れている地域で育った子どもはかわいそうです。佐久市で行っているようなゴミを無くす事業が必要なのではないかと思います。
- ・東御市のゴミ袋が高すぎる（市外の方が安い）税金も含めているのであれば改善してほしい。
- ・他県から東御市に引っ越してきました。ゴミの分別が細かすぎます。ゴミを少なくすることは大切だと思いますが、ゴミ処理専門の業者や職員を増やし、個人の負担を少なくしても良いかと思います。その為の費用を個人が市へ協力することを惜しみませんので。

高齢者も多くなります。ゴミを捨てやすい方法を皆で考えてほしいと思います。

- ・ゴミ収集のことですが、よごれプラの回収が月1回というのはとてもつらいことです。よごれプラは燃やすゴミに含めるか、もしくは月2回の回収にいただければと思います。
- ・特にお願いしたいのが、ゴミ収集の資源ゴミについて。ある程度の広さの地域にひとつストックヤードがあるわけですが、必然的に車を使わずには運ぶことができません。また鍵が当日しか開かないとなると、平日の朝に車に乗れる人が資源ゴミを運ぶということになってしまいます。高齢者のお宅には、こうした資源ゴミが実はたくさんあったり、可熱ゴミに紙類が多いと広報にありましたが、ストックヤードまで行かれない方が仕方なく自宅近くの収集場所に出せる可熱ゴミで処理している現実があると思います。他市町村で行っているサンデーリサイクル（日曜に資源ゴミ収集）を行うとか、可熱プラゴミステーションに資源の日を設けるとか、いろいろなやり方を設けて欲しいと思います。生活パターンは皆それぞれなので、ぜひ。
- ・花岡市長は東御市を4万都市にすると約束した。この達成にはきわめて厳しいものがあると思います。人口を増やすには、子どもを多く育てることもさることながら、雇用機会増大と転入者を多く求めることにある。しかし今の東御市には魅力になるものが少ない。東御市は晴れの日が、こうした自然環境を活かした施策を講ずる事が肝要と思い、メガソーラー基地など一考に値する。東御が魅力ある都市として発展することを願っています。
- ・東御市は南面傾斜地を要し、日照時間も長い。この自然環境を有するので自然エネルギー太陽光発電を企画するべきと思う。観光開発や道路整備も必要と思うが、太陽光発電に力を入れるべきだと思います。
- ・旧東部町は日当たりも良く住居地域としては最適地であり今後も増加すると思います。そのため、農地の転用に当たっては虫食いの許可は慎重、排水路を先行して整備するなど計画的な開発を望む。
- ・地域間の格差が大きすぎる。生活道路が穴だらけでもそのまま、道路拡大を希望してもそのまま。田中周辺だけ整備され、払っている金と同じだと思うと不公平を感じる。田中商店街だけは綺麗になったと思うが…だから何？市中の生活道路や大雨の後、街中をよく見て回ってほしい。うまく排水されず困っている場所、狭い道、治すべき所はたくさんあると思う。（自分の地区だけでなく）特別素晴らしくする意味はないので、全体を普通に使いやすくしてほしい。変な理由くっつけないで、使うべき金だけ使っちゃんとしてほしい。
- ・東御市に移り、未だ1ヶ月足らずのため、回答できる項目が限られてしまいます。目の前の道路に歩道がない、信号が無い等子どもにとって危険を感じるところがあり改善を要望します。ゴミステーション場所も悪く不満。
- ・東部のみ光回線が通っているのはどうかと。北御牧への光回線の開通を願っております。
- ・合併特例債があるといって、中心部に莫大な金をかける必要はないと思う。もっと端の方にお金をかけるべきと思う。
- ・農業排水路を公共下水道に接続し、廃止することにより維持管理コストを抑えられる。これらの見直しを早急にすべきと考える。他にも効率的なまたはコスト削減になること

を検討、実行していったほしい。高速バス利用者駐車場が狭く、駐車できないときが多いので場所を広くするか、もう1カ所作って欲しい。

- ・観光客はゴミを出して汚していくだけなのであまり歓迎しません。農産物を売り出すことや、自然の景観を整えて定住する人を増やすことを進めて欲しいです。
- ・災害にあった場合に、困るのはライフラインの内、下水道だと思います。下水道が地震によって破壊されれば汚水を流せず、非常に困ることになります。その時のために通常より下水道管のメンテナンスが必要です。もちろん現在も行っていると思いますが、あまりにも少なすぎます。それから仮設トイレの整備・準備です。レンタル会社との協定が必要かと思います。道路についてはもう十分でしょう。これ以上大きな道路を造る必要はないと思います。それよりも地区の小道の整備がまだまだです。側溝もです。
- ・市長が替わった時期は、仕事の関係で東京にいたため知らず、再び東御に戻ってきて驚きました。田中周辺の整備が進みサンライン沿いは同じ市内とは思えないほど荒れ果てた印象を受けます。工場用地になるとかの話を聞いておりましたが、土地の整備だけで建物が全くない状態に不信感を抱いています。
- ・商業地及び工場など、18号より上のサンライン沿いに集まってきているので、先を見通した開発立地をもっと進めていくことが必要である。逆に18号沿いに空き地が目立つ。
- ・旧東部町の道路整備が進んでいないことに対して不満を持っています。大学から帰宅時等、深夜に街灯がない狭い道を通らざるを得ないことが少し怖いです。道路拡張はまだ良いとしても、街灯の設置は少しでも進めて頂けたら幸いです。
- ・また、田中駅周辺の路上駐車が大変迷惑ですので、ボランティアを募る等の手段をとって頂きたいです。午後4～5時半にかけて大変危険だと常々感じております。以上2つが学生として気になる点になります。参考にして頂ければ幸いです。
- ・端にゆったり歩ける歩道が無く散歩がしにくい。道が狭いところが結構多い、ぐねぐねして遠回りしなきゃ行けないことが多い。ゴミ袋の金額も高いので、リサイクル回収してもらえるものは持っています、ご老人の方達は大変そうです。ゴミの回収場所も遠いので不便です。
- ・デマンドバスについて、路線バスに対してデマンドバスはバス（大量輸送機関）の出前である。もっと身近で気軽に利用できれば人の体に血流があるように、東御市内の人の流れが活性化するのではないか。（例：東京都武蔵野市のデマンドバス、小振りなバスが明るい色で塗られ、街角から街角を定時で巡っている。どこで乗ろうがどこでおりようが一律100円。デマンドバスから路線バスへ乗り換えていく人が多い。）

町を花一面に、東御市は少し前、南斜面で日だまりであり、花を表す町としていたことがあったのでは？

- ・ビューラインの整備を望みます。上田から佐久に通じる道路ですから
- ・東御市のおかれた環境等を考慮し、特色のあるまちづくりについて知恵を絞り、活性化できると良いと思う。（にぎやかな町でなくともゆったりとした田舎でよいと思う）
- ・滋野駅前の道路は狭いです。対向車とのすれ違いで、何回も車の側面をこすっています。凍ると危ないです。
- ・何年か前に河川工事が上の方を先に広がり、集中豪雨の際、下の河川が行き詰まり床下浸水したことがありました。建物が先で道が狭い、反対ではないでしょうか。道を広げ

てから建物ではないでしょうか。

- ・開発地域未整備地域の開発を要す。
- ・美味しい水が飲みたい。良い水源地を持っているはずなのに妙にカルキ臭い。
- ・公共交通手段が無く、車がないと不便。観光もままならない。交通量の多い道には自転車と人が通れるスペースがあると良い。地域の人と気軽に挨拶しあえる町になるとよいな。
- ・下水道の処理をもっとしっかりしてほしいです。そうでないと環境が悪くなりかねません。
- ・公園（近くに子どもが遊べるような場所）ほしい。バスケットのゴールを外に作って欲しい。上田城や小諸の南城公園に行かないと無い（体育館以外でも練習したい。）
- ・問 18 についてもう始動していることなので、どうせやるなら地域住民の憩いの場、集いやすく使いやすい施設であるよう願います。
- ・利用したいときに利用できるデマンドを（土日終日の時間の運行）、公園を中心にした街づくり。
- ・ゴミ収集場所の検討、歩いて 5 分くらいまでの所に設置。
- ・国道 18 号線沿い、サンライン沿いに、飲食店がもっとあってほしい。です。コンビニは結構あるのでもう良いと思います。
- ・我が家は傾斜地にあり夕立の時など、大雨が降ったとき上の方からの水が流れ込んできて、庭を川となって流れ、植えてある植物が流されてしまいます。先日もそっちこっちの道路が川になりあふれていました。この家の雨水の処理の整備をお願いしたいです。
- ・道路歩道信号（渋滞）、南北道路がない
- ・田中町内も花壇があり、綺麗な通りになったと始めは思いましたが、今は手入れで整えている花壇の方が少ないと感じます。特に FM とうみの前 2 カ所、木の植えてある下は雑草だと思いがすが。
- ・歩道の広さですが、商店の通りは広くて仕方ないと思いますが、県道望月線は車いすがすれ違えるようにと聞きましたが、雪のある冬場はどうするのでしょうか。街中でも雪のかいてないところがあるのに、全体に国道の歩道ぐらいで良いのではないのでしょうか。その方が車も静かに走ると思います。
- ・交通安全に関して 10 年ほど前までは、譲り合いとかマナーがまだ良かったと思いますが、最近はマナーの悪さが目立ちます。東御市に限ることではないのですが、もう少し何とかならないものでしょうか。
- ・市民病院の件、設備は良くなっていると思いますが外来の流れが良くないと思います。人は足りてるとは思いますが検討をお願いします。
- ・家の前の側溝のゴミは町の清掃の時にだけ綺麗にするのではなく、ゴミが自分の家の前に溜まったら掃除をしてもらいたい。雨が降るとある場所で山のように流れてきたゴミが溜まって、片付けにとっても大変だから。
- ・市より上田建設事務所に要望してほしい。県道浅間サンラインの新屋～井高間の歩道整備、両側の縁石の交換亀裂が入って危険です。
- ・ハード事業について、旧東部地区に集中しすぎている。良くない！明神池周辺に子どもが遊べる遊具を、中央公園規模のものを設置してもらいたい。

- ・各地区に1つ子どもが遊べて、家族で楽しめる公園があると嬉しい（駐車場、トレイ設備有り）。そうすれば、各地区へも行く機会が増えると思う（スポーツ施設や図書館、温泉などと隣接しているともっと良いと思う）。
- ・車に乗れない高齢者が気軽に外へ出られるようにしてほしい。デマンドでは行きは良いが帰りは待ち時間が長いとのこと。買い物など荷物がある時も気軽に低価格で乗れる物はないか？
- ・道路と縁石の間に出る草刈りですが、土が少しあるため草がすぐ伸びてしまっている。その土をきれいに取れば良いと思うのだが（一般道もそうだが、羽毛山工業団地の草刈りを見て）。ここは刈るより土を取った方がよい。
- ・レッツ号を利用しているが上田方面に行くとき、田中駅で30分以上またなければ電車に乗れない（接続が悪い）。ウォーキング時に気付くが農道等雑草や木がはみ出してきて歩きにくい。個人の土地でも処理をしないところは市で強制的に出来ないものか。
- ・しなの鉄道（田中駅、滋野駅、大屋駅）を利用できる人はごく一部。東御市民の9割以上の人の公共交通を何とかしなければ自家用車の運転が出来なくなる人は増えるばかり。買い物、病院にも行けない、さみしい東御市になってしまう。難しい、難しいでは前に進まぬ。職員の数を見直せば目途が立つと思うが？
- ・大きく広い公園はたくさんいないが、歩いていける所に小さくても公園がほしい。田中保育園が駅南口に移動したらどうするんだ？
- ・田中地区周辺だけの道路整備だけでなく、もっと他方の地区にも目をむけてもらいたい。
- ・野球場の建設希望。リニア、新幹線に対抗できる公共交通機関の設備の充実を願います。
- ・東御市へ越してまだ日が浅いので、東御市の地域を覚えるのに今道を歩いたり車で走ったりしているので、このアンケートはとても難しく大変でした。あくまでも自分の思ったことですので、あまり自信がありませんがよろしく。要望として1つ朝の通勤、通学の時間帯です。滋野駅が混雑します。学生を送ってくる車、通学の自転車で、あの長い道路が危ないです。皆急いでの時間です。何か少しでも道路を広くしてくださるようにできないかをお願いします。大変なことはわかりますが一度ご検討下さい。
- ・常田の交差点・信号機はあるが、久しぶりに渡ってみたが、車の交通量も多く、大人でも怖く感じた。歩道橋もしくは小学生の朝、夕誰か立って誘導した方が安心では…。
- ・図書館の充実、温泉を中心とした観光の充実（健康づくり、リフレッシュ）、北御牧地区の幹線道路の整備をお願いしたいと思います。
- ・10月9日の湯の丸に通じる県道で事故があり、通行止めになりました。自宅に帰ることができませんでした。災害時等も考え、迂回路を通してもらいたい。古い道がダムの下からのまわり道があります。現状は自動車通行できません。整備して頂きたいです。
- ・上下水道代が高いと思う。和地区、公園が少ない。駅前だけ栄えてればいいのか？住宅街の中の畑のたき火もう少し厳しく取り締まってもらいたい。朝から1日中火を燃やされると洗濯も干せずに大変迷惑。
- ・東御市に移って20年になります。その前は上田市だったのですが、街灯が少なく、暗い町だなと思いました。街灯をもう少し増やしたら防犯や健全育成にも役立つのではないかと思います。

- ・自分は消防団に入っていますが、結果ありきの消防団活動（ポンプ操法やラップ等）に疑問を感じております。想定訓練や救急救命の講習に力を入れた方がよいのでは？
- ・現在地元消防団に在籍しています。休日の出動もあり、本当は退団をしたいのですが、付き合いもあり、部長も2回経験しました。毎年入団勧誘に村内を回りますが、理解を得られず断られます。理由は職場環境も変化し、休日出勤も関係していると思います。私は入団して14年間活動していますが、ポンプ操法大会における練習がネックであり、消防団以外の人から見るととても入団する気持ちにはならないと思います。大会は本当に何の役に立つのでしょうか。東日本大震災ではテレビで消防団活動が大きな成果を上げ必要さは承知しています。
- ・各区の消防団、区の負担が大きくてあまり役立っていない。自然体で考え直してほしい。
- ・子どもや高齢者が関与する施設や環境を優先に整備してほしい。まだまだ通学路の危険箇所は数多くあり、毎年改善を要求しても変わらないとのこと。犠牲者が出る前の対応をお願いしたい。
- ・色々事情はあると思いますが、警察署が東御市一体感を持たせるためにも是非設置して頂きたいです。
- ・東御市には警察署がないのでしょうか？（免許の書き換えが不便です。）
- ・街灯が少ないように感じます。夜など外に出ると1人で歩くのは少し怖いです。
- ・メール配信@とうみの不審者情報が発生から3日後に配信では遅いかと思う。もっとスピーディーにできないか？
- ・7月、8月お祭りが集中し、それはいいことですが、車の進入が禁止され、周辺に住む者は迷惑しています。時間を短縮してほしい。必ず週末だし、仕事に平日行っている者は夏でもあり、来客や週末にしかできないこともあり、車を使えないのは非常に不便。進入禁止時間が長すぎるのと夕方に集中してほしい。

2. 産業

- ・海野宿の交通整備と拡大して魅力ある観光地に
- ・海野宿はとても素敵な観光名所で、情報誌等で良く取り上げられているのに、車がびゅんびゅん走っているのはもったいない。(私も車で利用するので生活道路としても使われるのは承知ですが…)。千曲川沿いの道を迂回できるように拡張して、土日祝だけでも歩行者天国に出来ないでしょうか？素晴らしい街並みをゆっくり観光していただいたい！今の状態では中途半端なところで途切れている感じです。
- ・振興公社も他の温泉施設などを見学し、民間をみてほしい。特に十福の湯など良い面を見習ってほしい。そして集客を計って欲しい。
- ・田中駅、田中商店街、海野宿を観光地としての一体化。旧北御牧村の別荘地として促進とその広報
- ・私の住む祢津地区には史跡や遺跡、湯の丸高原や百体観音などなど素晴らしいものが沢山ある地域ですが、今ひとつ活気がないような気がします。東御市海野宿のようにもっとアピールするとか、他の県や市のように観光地として整備するとか、そうすると近くに住む地域の人たちも、東御市をよくしようと活気がでると思います。それぞれの地区

で自分の住むところの良いところ自慢が出来たら楽しいですね。他県の人が住んでみたい東御市、言ってみたい東御市になると良いなあと思います。

- ・湯の丸へ登る百体観音のように芸術村へ上る道に焼き物でオブジェを置くなどする事で道路、周辺整備、観光につながるのではないかな。
- ・小学生の時から住んでいて、とても愛着があります。風土、食べ物、観光も上田市に比べても田舎の良さがあるが、いまいち知名度が無く残念です。もっと具体的なフリーブックや雑誌のようなものを創刊できたら良いのではないかな？そうしたら是非参加したい。
- ・東御市はすばらしい文化・歴史、農産物がたくさんあるので、もっと観光業に力を入れて、旅行者を歓迎する市政を取った方が良いと思います。住んでいる人々が考えてる以上に東御市に立ち寄る旅行者は多いように感じます。上田市ほど、前のめりでやる必要はないと思いますが、もう少し「姿勢」がいたと思います。
- ・高速道路の東部湯の丸サービスエリアに車を止め徒歩で自由に出入り可能な商業施設を作ったらどうか。多分想像だが、SAの利用者数は年々増加しているのではないだろうか？その利用者をSA内の利用だけで終わらせてしまうのは非常にもったいない気がする。例えば、SAに併設した地元の農産物直売所や市内商店街の扱う特産物や菓子の物産館など。SA内に車を止め、利用できる温泉施設等も良いのでは。何はともあれお金がかかることなので難しいでしょうが。企業誘致の取り組みの他それ以外での外部から市内にお金を落とす仕組みを検討してほしい。
- ・買い物は大型スーパーがある上田市や佐久市に流れてしまうし、スポーツ施設や文化会館、温泉などは近隣にも似たようなものが多いので、もっと東御市独自のものというのを作ったらよいと思う。東京で行われるような演劇やイベントを誘致するとか、大きな企業の支店を誘致するなど人が集まってくるようになればもっと活性化されると思う。
- ・市町村の活性化のための土地の誘致を全国的に発信していくべき。情報網が充実している昨今、企業も含め商業施設への提供等力を入れるべき。新幹線は通っていないが、東部湯の丸ICがあることを見逃さず、その周辺に街づくりの拠点を置いたりする事も視野に入れたらよいのではないのでしょうか。(余談ですが田町商店街とにかく車の路上駐車が目立つ。特に花岡菓子店、白石精肉店周辺)
- ・行政と産業の縦割りを無くし、融通しあいモデル地区になれる産業構造の確立、買い物弱者対策
- ・東部湯の丸ICの名称変更による知名度の向上、経済効果の向上
- ・東御市にはファミレスやファーストフード店や大型デパートが無いので作って欲しいです。あと家電量販店など地域に役立つものを作って欲しいです。
- ・この町にお金を落とすような施設を多く作って欲しい。
- ・企業誘致に力を入れる。企業や工場の税金を安くしてしに来てもらおう。上田やころもない商店やスーパーなどを呼ぶ。田中駅を綺麗にする。東御市の入口があんなに汚くては人がおりないし来ない。上田駅のようにするべき。上田やころもに行くバスを整備する。
- ・以前から田中商店街の店の応対、対応が特に悪いと感じておりました。店に入っても「いらっしゃいませ」の一言もなく買い物をしても「ありがとう」の一言もないという店があります。いくら外観が良くなったとはいえ、無愛想な店主、店員がいるような店いき

- たくありません！昔からの商売をしている店とはいえ色々な人が気軽に入りやすい店作りをして頂きたいと思います。それも町の商店街の活性化につながると思います。
- ・それと、景観を損ねるようなただの古い家や「ゴミ屋敷」などと呼ばれる家は何とか出来ませんか。子どもが毎日通学する道に無くなれば（綺麗になれば）防犯にもなると思います。
 - ・ファーストフード店がない、だから税収が少なく市民に負担が来るのでは？東御市民になって1年になりますが、買い物は市外へ行ってしまう。
 - ・大型のショッピングモールや飲食店（ファミレス、ファーストフード、回転寿司）などあれば商業発展にもつながりそう。
 - ・40代以上の就職口があるように経験者、技術者などの就職斡旋などしてもらえたらと思います。
 - ・上田市内にはゲーム屋が4軒あり、良く買いに行くが、交通費で中古ゲーム2本買えるくらいかかる。東御市には1軒もない。電気屋も少ない。
 - ・基本戦略会の充実（大型工場の誘致、太田区との北に密なる経済交流）
 - ・JA信州上田とのパイプを太くして太田区との経済拡大
 - ・要望として市に1つレジャー施設を作ってもらいたいです。
 - ・東御市にTSUTAYAとGEOのような店を建ててほしい
 - ・田舎へ帰ってきても、公務員とは違う仕事なので職場探しに大変でした。雇用（就労）、市では力をいれていただきたい。高齢になると健康、経済的にやはり不安ですが、行政がしっかりしてるので、少しは安心しています。よろしくお願い致します。
 - ・子育て世代、介護者、高齢者が収入を得るための方法はないか？中小企業、NPOへの助成金は、悪用されることや不正受給が多いと思う。大企業が中小企業を手助けする制度を設けられないか（例えば、正社員が多い企業や、勤続年数が多い社員が多い企業が表彰、賞金を受け取り、その賞金で中小企業の手助けをするなど）。
 - ・大手企業を誘致し雇用に力を入れて欲しい。
 - ・農業の6次産業化の推進を1次2次3次が協力し合い、一つの産業としての確立。
 - ・後期高齢者になり、ある土地を活かしての家庭菜園（一部出荷もあり）で、作る楽しみ（少々きつい労働時もありますが）で時間を過ごしています。（いつまで続けられるかわかりませんが）ただ1人中心にやっているので、1通りの機械（農機）が必要で、これらの更新等での費用負担が大きいのが悩み。それに果たして子ども達が将来私の後をやってくれるか心配。おそらく他人に土地を貸し自分ではやらないと思われます。
 - ・細々と農業をしている民は馬鹿を見て、大経営規模の人は借金を背負って金のかかる農業、黒字のでない私達百姓に疲弊感が。
 - ・農業の高齢化が進み、10年すれば荒地が増えそうで怖い。美しい景観が荒地になってしまうことはマイナス。八重原米や東御市の野菜は美味しいので、担い手を増やしてほしい。力仕事のわりに低収入なので、気軽に作れて収入に満足できる方法はないか？例えば、市で高く買い取り、市民に安く売る。畑付き住宅を売る。農業技術の講習会農機具紹介、野菜作りアドバイザーなどサポートする。

3. 保健・医療・福祉

- ・病院に医師を増やしてもらいたい。時間帯もう少し遅くまでやってほしい。
- ・助産所、中央公園周辺、田中駅周辺、芸術の村、海野保育園、県外から（神奈川県）来た私にとって東御市はとても魅力一杯です。海野保育園のような子どもにとって優しく楽しい（給食など）保育園がスタンダードになり、小学校、中学校ものびのびした場になれば、ずっと住み続けたいと思います。助産所も市営で運営しているのが素晴らしい取り組みだと思っています。このまま花岡市長に頑張って頂きたいです。ただ市民病院の院内処方がなくなりとても不便です。一刻も早く院内処方に戻して下さい
- ・市外から引っ越してきて東御にすんでいます、子どもがいるので子どものことが中心になってしまうのですが、子どもの検診などが前のいた市と比べると不親切なのがとても気になりました。初めてで分からなかったのに職員の対応がとても冷たくて、がっかりしました。東御に来たことを後悔したくらいです。年配のめがねをかけた人でしたが、ベテランになるとそうなるのでしょうか？相談できずイヤな気分になったことを他の方にも味わってほしくないでその点を強化して頂きたい。
- ・児童の福祉医療費の受給制度がとても良いと思います。以前住んでいた自治体では、確か小学3年生までだった気がします。少子化の近頃ですが、子育て支援になると思います。（ニュースで医者につれていくお金が無くて子どもを死なせた事件が、今日ちょうど報道されてましたが。）市長頑張って下さい、応援しています！
- ・市民病院について一言。医師は診察に当たってパソコンの画面ばかり見ていないで、患者の顔を見て良く話を聞いてもらいたいです。市民病院が出来た当初は駐車場が広く良かったともいいましたが、その後助産施設、透析施設等できて駐車場は狭くなりました。これ以上狭くしないようにお願いします。
- ・施設とかにお金をかけなくても良いので、サービスをもっと向上させてほしい。（無料検診とか、無料入浴券とか具体的なもので）
- ・税金が上がる一方で満足感が得られない生活。
- ・子どものインフルエンザの予防接種を高齢者と同じく補助してほしい。
- ・中学校をバスで結ぶなどして北御牧へ東部から子どもを来やすくしたらどうか？
- ・子育てしている世代に来てもらえる様な市にしないと財政は良くなれないと思う。
- ・市民病院の先生が変わりすぎると思う
- ・市民病院について。東御お役所病院と言われています。私が今まで行った病院の中でダントツのワースト1です。システムの改善、職員、意思の意識改革が急務です。患者がろくにいないのに待ち時間が長すぎる。これでは余計に具合が悪くなる。まるで来るなと言われているように感じます。駐車場で手を振っている人がいるが、運転手にとって邪魔になるだけです。まさか給料を払っていないでしょうね。私は行く気がありません。
- ・これから始まる高齢化社会に向かって医療や介護の充実をはかれるように努力して下さい。
- ・市で推進しているにもかかわらず、一般検査、がん検診等の診察代が高い。子どもの医療費について、後で医療費が戻ってくるのであれば、受診する際のお金の負担を無くすべき。

- ・医療に関わる仕事をしているので、常々感じているのですが、健康維持増進のため、ひいては医療費削減のためには、環境整備が必要と感じます。ゆうふる田中やみまきのプールなど、そこに行って運動、健康づくりの出来る人はよいのですが、通勤で自転車が利用できたり、歩いたりできる道路、歩道の整備が必要と感じます。特に羽毛田工業団地など会社が多く集まるところにはあると良いと思います。青少年の健全育成のために、行き場所のない中高生が駅などにたむろするのではなく、学校とは違う居場所があると良いと思います。
- ・健康づくりに一段の努力をされ、予防に徹する。それにより健康保険料、介護保険料の削減になる。長生きしても寝たきりでは残念な人生である。「100才現役」をスローガンにして取り組んでもらいたい。
- ・福祉サービスの向上をお願いしたい。これからも地域に暮らしていく人たちをどんどん増やすためには高齢者や障害などに優しい市になってほしいです。
- ・保育料が高いと思う。他の市町村と比較すると東御は高い！佐久市では朝と夕方の延長（長時間）が無料と言うことで働く親にとっても優しい町だと思う。ムダな税金の使い方をしないで、市民のためにより良い使い方をしてほしい！
- ・中央公園は美しく安全でとても気に入っています。保健センター、市民病院等の施設がその近くにあり、それぞれが隣接していて大変便利です。子育て支援センターもこのエリアにあればより便利だと思います。例えば保健センターの3階とか。
- ・実家が東御市にあればと思うほど住みよい町だと思います。大変子育て等をする女性にとって安心して住めるのではないのでしょうか。自分、主人とも実家が上田市ですので、ゆくゆくは上田にいきますが、東御市の取り組みを見習ってほしいと思う点があります。ご苦労様です。
- ・子どもが住みやすい市になってほしい。
- ・高齢者でも働く意欲があるものには適当な働く仕事、場を提供してほしい。
- ・北御牧地区の公民館等回ることが多くありました。とてもなごやかな空気が流れ、東部町から行った人が皆、もう一度行きたいと感じました。役員ではないボランティアの皆さんの暖かさ、私達もいずれ年を取りますが、小さいお子さんを連れて公民館で1日過ごされていました。お年寄りの皆さんもゆったりとした気持ちですべてをお任せして、1日楽しくすごす。本当に素晴らしい事です。
- ・老人が多くなり、市の中央施設の利用・参加が困難となったので地区の公民館の利用と行政的な行事・内容の充実が望まれる。
- ・住民の生活に対する行政関心が薄く、陰樹の公道への竹木枝葉の障害が多くなり、区長や近隣への注意は「うらみ」を受けることが多く、公共団体の注意と排除が必要であり、年に1階でも関係部局の部課長の町内巡回を強く望む。
- ・市の特定健診、75才以上の無料券ではなくて、500円ぐらいにしてはどうか。医療もお金がなくて大変なのに、もう少し考えて欲しい。子どもも少ない中、働く場所がない。今は大学でていないと正社員になれない。東御市も学校へ行く奨学金制度をつくってほしい。親も生活が大変で学校へ出すのが難しい。市民税が高すぎです。

4. 教育・文化

- ・みまきニュードカンコの中の盆踊りで、みまきドカンコ音頭の振り付けが難しすぎて、初めての人や子ども達には踊れません。小学校でも練習があるのですが、2～3回やってもなかなか覚えられないようです。踊りの意味を考えると素晴らしいと思うが、すぐ踊れないのはどうかと思います。1回の練習で覚えられるようにしてください。
- ・一方で教育現場は教育委員会という民意を反映できないものによって閉ざされ、多様化した子どもや保護者のニーズ、教員達の潜在的ニーズが無視されている現状です。その為に子どもの暴力、いじめ、教員不祥事といった問題が起きています。我が子の小学2年生女子も2人の高学年男子から一方的な暴力を受けました。同級生の女の子も6年生の男子から暴力を受けたのですが、その保護者の方はその子の担任の先生から「そういうことはよくあること」と説明されたと言います。本当にそのような認識でよいのでしょうか。また、例えば人口呼吸器を付けた子どもが入学するようなケースでは看護師が一人付く等の特別対応をするケースが県内でもありますが、目に見えない心に問題を抱えた子どもが生きる力を育てるための支援は軽視されてきました。その結果が財政負担になってくること（生活保護、扶助費等）もご理解頂けるとと思います。時世的にも今がチャンスです。全ての人の人権が守られるという視点で教育現場を見直して建設的改革と暴力根絶をどうぞよろしくお願い致します。
- ・図書館が休館中に、小諸市立図書館を利用させて頂きました。小諸の人から東御市に住みたいという人が多いよ、という話を聞き、改めて東御市の良さを知りました。小諸の図書館の古いけれどぴかぴかの床に感動しましたがけれど、小諸も建て直しのこと、残念です。何でも新しければいいと言うことではなく、古い施設も大切に活用出来ればよいのにと思いました。
- ・合併してから、祭り、イベントが倍になってしまい、子どもの行事と併せると土日が毎週のように潰れてしまうので、縮小してほしい（例えば、東御市民まつりとみまきドカンコを交互にする、冬季、夏季スポーツ大会を1つにまとめるなど）。
- ・お祭り等で思うこと。近い駐車場に役員、手伝いの人の車が1日止まっていて、来場してくれるお客様が近くに止められない。市役所駐車場に止めたいが、送迎バスが無い（役員や手伝いの人のための）。何とか考えてみるべきだと思う。
- ・生涯学習、夜も参加できる講座を増やしてほしい。
- ・生涯学習の受講料を安く。
- ・中心のサンテラスホールに小ホールが無く、使い勝手が悪いです。中央公民館じゃ古すぎます。丸子のセレスホール小ホールのようなホールがほしい。また、25m プールがゆうふるたなかにほしかったです。
- ・すばらしい中央公園、もっと市民がウォーキングその他に利用するよう働きかけてほしい。
- ・田中駅前バイクで来て居座ったりしている高校生か中学生をどうにかしてほしい。また、歩道橋にも座って話し込んでいる人が居て、たまり場となり、渡ることが出来ず、何のために設置されたのかわからない。
- ・男女共同参画について、言葉では聞いていますが、誰が、どのような目的で何をしようとしているのかわかりにくいです。また、今どのようなことをしているのでしょうか。

5. 市政・まちづくり

- ・合併10年になって、当初のエネルギーが鈍化され、市政（市役所等の指導部）がマンネリになっているのでは？市民が政治（市政）に対して反応が少ない市議の代替わり（年齢等）時期だがこれからの「東御市はこうあるべき」という人も居ない。平和ボケか？10～20年後東御市はどうあるべきか考えた基礎作りが必要。
- ・東御市は税金が高い、行政にいる人が多すぎる。
- ・小学校単位の街づくり、具体的なイメージが浮かびません。
- ・税金の少ない市、東御市がよいのだが
- ・市民個人個人の行政負担（区費）に差が大きく、小規模区は負担は大きいが見返りは少ない状況となっている。全ての事業は市が事業主体となり、もし市民からの負担を得る場合は市民全員が負担とする型とすべき。今のやり方は差別に等しい！
- ・過去の署名運動は本当に強引な形で署名させられたものです。家では老人2人暮らしで仕事をお願いした方が仕事に来たときに書かせられました。あんなかたちで市政に発表があるとは思いませんでした。心の卑しい人が署名に来たんだなと思います。
- ・旧東部町と旧北御牧村とで格差が生じないよう、行政を行って頂けると嬉しいです。
- ・東御市を良くするために税金を納める。納得の出来る使い方を希望する。長期展望で考えてほしい。
- ・議員の定員数の削減、北御牧総合支所の人員削減
- ・まず第1に大切なのは”まちづくり”のコンセプトである。どこの自治体に行っても全部横並びの場当たり的な、いかにも役人主導の可もなく不可もないものばかりで、全くオリジナリティが感じられません。自分たちはどういう”まちづくり”がしたいのか、これからの社会はどう変化していくのか、人々のニーズは何なのか、それらを見据えた持続可能なまちづくり計画を希望します。あれも、これもと流されるのではなく、しっかりとしたもの住民に提示し、皆で同じ目標に向かって歩んでゆける”まちづくり”をお願いしたい。明日への希望や目的があれば必ずや人々の活力を呼び起こし、素晴らしい東御市を作れると思う。
- ・少子高齢化の時代、財政の健全化に努力し、次世代に借金の負担を残さない。行政の効率化、無駄の排除、不採算事業の見直し、社会福祉の充実、民間でも出来ることは行政はやらない、補助金行政の見直し、情報公開、職室の削減。行政への市民参加、10人程度の行政チェック委員会予算の消化体制から民間に市域の効率化導入へ転換
「私の一言」(目安箱) 年2回は必ず記入して返事を頂いておりますので割愛させていただきます。
- ・「まちづくり」「ひとづくり」からの精神を Don't forget! ハード面も良いが、ソフト面に力を！議員の経験のある区長から「議員より区長のほうが忙しい」と聞いたことがある。これをどう解釈したらいいか？あることを尋ねたいが、どこへ行けばいいかわからないことがある。「何でも相談窓口」のようなものは考えられないのか？
- ・町村合併の前後で、特に何も変化が無いと感じます。何か変化があったのでしょうか？様々な公演を行っているのは有線などで聞いていますが、何かに活かされているのでしょうか？

- ・市民総出で子どもを育て、未来を託す街づくり。不便も時には必要、箱物をこれ以上増やさない、縮小させる。住民税を減額するために、我慢すべき事は。
- ・より健全化財政の運営を望みます。
- ・合併の不安の中で一番大きかったもの、それは両村町の財政赤字のことでした。その時点では平成 25 年までには両村町とも借金は殆ど無くなるということで北御牧の作成した書面を手にして喜んだわけです。その後どうなったのかに興味があります。
- ・この町にお金を落としたいくなるような施設を多く作って欲しい。2500 人のアンケートの結果はいつどこで分かるのでしょうか。アンケートの調査結果を知りたいです。
- ・東御市は税金が高い、行政にいる人が多すぎる。医療サービスのように優れたサービスを提供できる力を持っていると思います。
- ・東御市役所、図書館などもう少し後でも良かったのではと思います。市の収入が少ないのに色々無理しすぎでは？特に何に役立ったのか一つも分からない駅（田中）の反対側の整備、業者と結託したのかと思っています。その費用を地域活性化に使ってほしかったです。どのように良くなったのかちゃんと説明してほしいです。
- ・町を整備してゆくことは大切だと思うのですが、車社会を基盤とした街づくりではなく、人が歩く街づくりにしてほしいなと思います。商店街で買い物をしたりするのも話をしますから、わざわざ町のコミュニケーションとして行政が取り組まなくても良くなります。
- ・お年寄りや歳を取って体は不自由ですが、知恵はたくさんあります。地域ごとに役員をたてて、いろんなイベントを仕掛けていますが、あまり行政が行き届きすぎるのもどうかなあと考えてしまいます。それによって忙しくなる役員のストレスは？お年寄りはそれを求めています。集まれる場所、車に頼らなくても歩いてゆける場所など、行政の関わる場所と市民に任せるところを分けた方が良いと思います。東御市は自然があり美しい集落です。その美しさを写せる鏡のような子ども達を育てるのは行政ではなく人々です。
- ・市長さんにお願いします。皆さんお金がありませんので節約を心掛けて下さい。
- ・将来 10－20 年後の町のあり方など、目的・目標有りの町を示し、住民が協力を惜しまない全町民の市政にみずからが東御市民であることに誇りを持って進める地域にしたい。
- ・高齢の人々が生活費等を心配に生きていくような社会にならないように、金のかからない老後があり、この地に生まれたことを喜んで死んでいけるような街づくりこそが行政と信じています。
- ・東御市はとても良いところだと思います。生涯学習にも子育て支援等、市民が幸せに暮らしてゆけるよう、みんなが協力してゆくことも必要だと思います。
- ・市政に、市民の意見を吸い上げ、住みやすい東御市にしてほしい。国、県、市のお金を大切に使うように心掛けてほしいです。市政に関する事は市民に情報公開し、アンケートなども取ってほしい。
- ・職員の皆さんがこの様に、積極的に市の将来について前向きに取り組んで頂いていることに感謝しますが、現状の市政は市民を二分するような行政を行っている。為政者は独断専行に進めており、説明不足を正すとやむなく結論ありきのうわべだけの説明会開催で抑えようとしている。あくまでも「市民が主役」であります。こんな行政では何のた

めの「まちづくり」のアンケートをするのか色あせてしまい東御市の将来を危惧すると共に残念であります。

- ・ 国保税の算出段階をもっとこまめにしてほしい。何万～何万の幅がありすぎると思うので。
- ・ 市関係の発行物があまりに多すぎる。資源、人的資源の無駄、あまりに多くの団体がそれぞれ発行物を出している、総合冊子一部を月1回で十分。今の様だとインパクトが薄まり非効率、見るのもうんざりです。このアンケートがあまりに冗長です。同じ内容の繰り返しや曖昧で具体的でない質問も多いと思います。国勢調査などはもう少しまとまっていた印象があります。みんな忙しいわけですから簡素化した方が良くと思います。私はこの地で生まれたわけではなく、よそ者ですが、東御市全般の取り組みには満足しております（このアンケートも含む）
- ・ 10年後の未来展望とその哲学的信念
- ・ 小学校、中学校の教員、校長の資源向上、人材の確保が急務
- ・ 老人も大事だが中年層を大事にした地域行政を
- ・ 東部町と北御牧村の合併は変だったと思う。（広域）も（JA）も川の向こうとこっちは違いなんか変。いまさらと思いますが、早く何も一つになると良いと思うのは私だけでしょうか。
- ・ 市政について先を注視し健全財政を望む
- ・ 東御市に住み4年になりますが、子どもには割合、手の行き届いた市であると感じています。問題といえば雇用、農業、医療に対して、中途半端なものを感じます。こちらに来て職を求めても自分に当てはまるものが見付からないため他市へ通っています。医者も手術しようにも他市へ行かなければ出来ないのには困りました。合併にともない北御牧の方々はどう思っているのか気になるところです。火のアートフェス以外に出向くことがないため、地域性が見えない
- ・ このアンケートは視点が広く、回答が私には難しかった。アンケートには直接関係ないかも知れないが、市議はもう少し政治、経済、教育等大学レベルの勉強をしてほしい。経験値、人柄、行動力ももちろん大切であるが、プラス知識が必要されると思う。
- ・ 地域（区内も含む）の情報を細やかに伝え、区域内の連携の上で大変重要な役割を果たしてきた有線放送を、地区住民に何の説明もなくただ老朽化、経費削減の観点から一方的に廃止にしたことは全く残念。情報の伝達はFMとうみでという事と思うが、電源を常時入れて聞いている市民は少ない。もっと細やかな地域の情報を伝達したり、交換できる方策を取っていかないと、旧東部町のような町全体を考えにくい4地域寄り合い所帯的な連帯感のない市になっていくと思う。
- ・ これからの施策は全てを少子高齢化を如何に見据えて、それに対処していくかにあると思います。そしてその対策のキーワードは軽減であると思います。すなわち逆ピラミッド型の人口構成の社会において、上部を支えていく下部（若年層）の負担を如何に軽減していくかが全ての施策のキーワードと思います。よって行政は軽減に焦点を合わせて進むべきと思います。
- ・ 連休の繁華街、たまにでたら市の職員だらけ！高給取りは将来も安泰だ。
- ・ 災害が発生しないと、問題が起きないと動きません、って私達の税金はどこへ

- ・市長のリーダーシップが感じられない。住民の方向をみているのか、市職員の方向をみているか、疑問を感じざるを得ない。議会との関係がなく、平穩無事にこなしているようでは市代表者としての意味がない。もっと活発な議論を望む。
- ・補助費を出してほしい。開発のことですが参加したくてもあまり情報がない。一部で動いているような気がする。
- ・健全な財政の維持管理で明るい将来を迎えられるように少し我慢をすることに協力していただける市民の指導者であってほしいと思います。
- ・市税を納めている側としては大切なお金、しっかりと無駄にせず使って頂きたい。市役所の中でもどのように節約して、いくら削減できたか金額を定期的に報告するのも一つの方法ではないか。増税がこれ以上ないよう、節約できない人もたくさんいる中、市はどのように市民のことを考えて行政を進めていってもらえるのでしょうか。よろしくお願いします。
- ・以前要望事項を区町名で直接町長にあて要望書を提出しようとしたところ、町会議員を紹介してほしいと言われたが、何故議員を通さなければならないのか。地域の実情を全く知らない議員を通す必要は全くない。市職員の人事について、東御の狭い範囲でたらい回しするのでなく、広域配転をして、他の市町村のやり方等勉強してくる等の方法を実施してもらいたい。
- ・小学校単位のまちづくりは面白いと思うし、PTAなどの地縁をいかしてて良いと思う。が、独り暮らしや子どものいない家庭などはその輪になかなか入れないのではと感じる。
- ・不景気の中少ない予算でよい市にし、他の市から羨ましがられる市にしてほしいです。道は今のままで良い。歩道を広げるくらいで良いと思います。
- ・各地区の活性化研究委員会と区長会に予算と権限を持たせ、地区独自の事業を促す。
- ・活性化研究委員会の事務局の充実を図るため、複数人の市職員を配置する。
- ・市民と行政のまちづくりに関わる役割を整理し、その中で行政は地区に対し市内に統一した課題を提示し、独自活動と共に統一的な課題にも取り組ませるような仕組みを作る。
- ・東深井地区の区費が高すぎて生活が成り立ちません。色々集金が多くて引っ越してびっくりです。税金が高い気がするのでやっていけるか不安です。市役所からたまに来る書類ですが、返信用封筒を入れてもらえると助かります。
- ・市の運営も会社の運営と同じように税收の範囲内でなるべく借金を増やさないよう優先順位を付けて運営して頂きたい。支出を抑えることです。民間は利益が上がらない年はボーナスが0の年もありました。それでも法人、市、県民税諸々の税金を納めていました。税金は大切に使いましょう。
- ・市のキャッチコピーに「自然と長寿の里」のような、末期老後、介護をメインにした市づくりがよいのではないかと、投資は必要であるが、工場企業に比べ収税は下がるが、市のイメージ「田舎のある自然」を売りにしたエコシティー、シルバーシティーで十分採算が合うのではないかと。今後10年内には要介護人口が1000万人とも言われ、超長期で考えれば仕事、商売が増え、市のイメージ収入をまかなえると思う。意外と首都近隣と近いことを理解していないのではないかと、2時間以内にある条件を持つと売りにして良いと考える。
- ・立派な施設整備のために多大な負債を抱えるのには疑問。ハードよりソフトの充実を。

広報誌は費用もかかっていそうだが、お年寄りにも読みやすい文字の大きさでよいと思う。人口は増加させなくても良いが維持できるよう引き続き子育て支援を。困ったときの相談窓口リーフレットは良くできていた。自殺予防継続望む。

- ・4万都市を目指す都市作りの努力、宅地等他市町村に負けない都市作り、10年後の4万都市への期待大である。
- ・何でもかんでも不足金を徴収されて困っている。市民祭り、防災訓練まで不足2000円を取られる。市民祭りの練習も出ないと2000円です。区長が権力を振りかざして住民はほとんど困っており何とかしてほしいです。奥さんまで役員にして二人で区を牛耳っており非常に問題です。
- ・周りの地域活性化等をみていると、やっている人が60才以上で若い人が居ない気がする。
- ・他の地域に比べて住民税が高い。燃えるゴミの袋の値段が高い
- ・自然あふれる東御市であり続けるためには、これから何をすべきなのかじっくり考えていただきたいです。私たちの税金を無駄にしないで下さい。
- ・田中地区の商店街が淋しくなった。空き地や住宅を市で多少の金銭を出して住民を誘致する様努力して、住民の多い街になることを望む。行政において何か考えて欲しい。市行政はじめ市内の状況を知るために前のように有線放送がほしい。今の機械では取り扱いが大変です。
- ・東御市だけで考えていいのか、もっと広域が必要では。
- ・東御市全般の取り組みに対して自分たちがどれくらい参加しているのか？アンケートを見て、市役所では一生懸命なのに我々是一日一日の生活に追われているので少し反省の気持ちもあります。年齢により施設を使う場所が違うので、答えがどうか。
- ・税金未納者、全額がどのくらいあるか不明だが、きっちり収納させるべき。市はどうせ強制的には回収しないだろうとなめられている。トラクターのナンバーを取らず平気で公道を走行している（ナンバーをとるのは当然の義務だと思う）。税金回収も担当職員を特定されないようにして第三者機関に回収をまかせるべき。一般の会社はみんな命をかけて回収しているのに！この問題の方向性を出してから、こんなアンケートを出すべきだ。
- ・（舞台が丘周辺整備）道を造るのに52億円もの金を使う余裕があるのなら他のことに使ってほしい。ヒビがあるところ、草が生え放題状態の所、空き地の増加など、もう少し細かいところにも目を向けてほしい。身近で小さなものでも問題には変わりはないと思う。
- ・無台が丘再整備事業、市政に失望した。
- ・市役所周辺の道路整備については高校の移転費用も含め問題があると思います。県立高校になぜ東御市が資金を出さないとしないのか。本当に必要な道路なのか、納得のいかないことばかりです。もう一度白紙に戻して考え直したらどうでしょう。どこからのお金で元は税金です。生きたお金の使い方を望みます。市役所の職員の態度の悪さにイヤな思いを受けます。全員ではなくごく一部だとは思いますが。イヤな思いを受けないよう改善を望みます。このアンケートの内容も良く理解できません。そんな状態で記入した結果から何が得られるのでしょうか。
- ・いつ決定されたのか分からない事業（田中駅の南口建設に伴う大規模工事、これから予

定されているらしい、東御清翔高等学校まで建て替えるおかしな道路工事など)、誰が、いつ決めて、どんな経緯があったのか、税金を使うのだから大きな事業はもっと民意を問うべきだと思う。サンテラスホールの職員の態度がものすごく悪い。子ども達に気持ちよく使わせられないのなら不要な施設。市民祭りに参加せず、雷電まつりを残せば良かった。

- ・ 15 億円の税金の無駄遣いは納得できません。補助金が出るとしても、市民がまじめに払っている税金を使うことには変わりありません。市民の声聞いてほしいです。雇用ですが市役所退職された方、再雇用されているのを見かけますが、今若者、大卒でも職に就けない方多いです。なんとか市で大幅に採用し育てて欲しいものです。保育園、園長先生男性もよろしいかと。何年か前ありましたけれど。
- ・ 東深井、県線必要ない。何故大金をかけるのか、もう少し市民お声を聞いてほしい。市民投票してみてもはどうでしょうか。議会の決定だけでは不満です！
- ・ 舞台が丘施設整備については二期事業の見直しを求めます。元気でみんなが住みやすい東御市にするにはまず健全財政（負債）の少ない施策を子ども孫のためにも。
- ・ 舞台が丘整備計画及び東御清翔高校の建て替えに伴う新しい道路建設に反対です。わざわざ新しい道を路建設する必要はなく税金の無駄遣いだと思います。
- ・ 舞台が丘整備の第 2 期工事が順調に進むようにご尽力をお願いします。期待しています。アンケートの集計等ご苦労様です。
- ・ 15 億円道路絶対反対。いずれにしても税金なんです、補助金も市民のためにといいはみても口先だけで開かれた行政といっても決して開かれた行政になっていない。市長個人の思いで行政をやってもらっては困る。同じ税金を使うのであれば長野県のあちこちで電力に対する取り組みが進んでいることが法字どうされているが、東御市ではそのような取り組みか全くみられない。もっと市民の代表として市民のための行政であってほしい。
- ・ 最近色々な税金が上がり、また、近くにあった保育園も遠くに移動してしまう。市民病院があっても自分が通院しているのは佐久病院。無駄な大金をかけて外見だけ良くしても住民達は不便になる一方。また、生活がきつくなる一方です。51 億円もかけて市役所に近辺だけ整備するなら、側溝の蓋のない道に蓋を付けて頂いた方がまだましです。
- ・ 東御清翔の校舎建て替えを市がやる必要ないと思います。市民のみの高校じゃないし。
- ・ 以前テレビで道路計画ででていましたが、この問題について一つも知らなく、もっと住民に説明できるようにしてもらいたい。
- ・ 今回の 51 億円使用の件、無駄が多く市民の声が取り入れられない。市民の税金を使うのにおかしい。市長のお金だけで出来ないのだから。高校の建物壊して道路を開けてまた立て直すとのこと、大変な間違いをしています。よく考えてほしい。子ども、孫の代まで借金をしてしまいます。
- ・ 公民館の建て替えの陶芸教室部分に 1 億円ものお金をかける意味がわからない。少数の人達のために 1 億をかけるのなら福祉、子どもの教育にかけるべきだ。それほど有名な何かがあるのか？絶対おかしい！
- ・ 合併時には、特にハコ物には金を使わないとのことだった。高速道路入口、特に佐久市側の道路の整備、または新しい道路、橋の建設を考えて！

- ・15 億円道路の建設は絶対反対。何を考えているのか。市役所職員の対応が良くない。住民に対する奉仕する（サービス精神）気持ちが見られない。何かお願いするとできない理由を並べる。どうしたらできるか、と考えることができない。（普段目にしているはずだが、気にならないのか不思議）細かいことだが、市役所西のゴミステーション、何時も汚い。
- ・何 10 億円単位の予算を使うとしたら、高校を改修して道路を作るのではなく、国保料を下げるなど市民の利益に直接つながるように使って欲しいと思います。
- ・水道開栓するにあたり、わざわざ市役所まで窓口に行って、担当者に同行してもらったのは初めてです。（関東 3 県、関西 5 県移住しておりますが…）電話一本でいずれの地域もすすることが出来ましたので。
- ・公務員の皆さんは民間の厳しさを知らない。給与の大幅削減、一人あたりの仕事負担の増大、休日だからと言って休んでいられない、赤字農業もやらなければならない。自分の趣味に費やす時間など全くない。市民病院長は最悪である。もっと住民の声に耳を傾けるべき、もっと市民にサービスを提供すべきである。忙しい民間人のために窓口を土曜日くらい月 1 回でもいいから交代勤務で市役所を開放すべきである。
- ・土日の行政窓口を開設してほしい。健康診断が受けにくくなった。道路にゴミを投げ捨ててあることをよく見かけますが、時々パトロール者の人たちが片付けている姿を見るたびに頭が下がる思いと、マナーの悪さにがっかり！
- ・役所での手続きが出来ず市役所、福祉までいかないとダメなことが不便
- ・市役所の窓口業務を土曜日の午前中だけでもやってほしい。隔週でもいいのでとても助かる。意見要望等書いて入れられるボックスとかあればいいと思う。市役所の中ではなく外に。
- ・市役所の職員の態度が気になる。とても丁寧に対応してくれる人も中にはいるが、こちらから声をかけるまで気付かない、すみませんと声をかけても顔を見合わせていてなかなか出てこない、市民に対する態度が悪い（無愛想）など人として疑問を持つことが多々ありました。職員がそんなことで市政をやっていけるのか不安になります。
- ・東御市に転入した際、市民課の方に全て記載のある大きなカレンダーを手渡され、不明な点は組長さんに尋ねるように言われました。他市では書面に沿って簡単な説明も受けた記憶があり、知人もいない初めての土地で生活を始めるにあたり心細い思いをしました。健康診断の説明や観光パンフレットを使って説明して下さった市もあり、やや事務的な感じがしました。
- ・本所増改築のため支所に職員が何名か来ていますが、ほとんどの職員があいさつ出来ません。こんにちはと言っても返事がない。
- ・社会の不況時に、トップから末端までの給与水準が高いままで優遇されている意識がない仕事ぶりが目に付く。
- ・市民病院の職員が多すぎる。企業誘致をして若い人が市で働けるように！
- ・市の窓口職員の応接態度の向上を望む。やってやるというような態度の女職員がいて、不愉快だった。
- ・少し違うことかもしれませんが、私は何度か市の臨時職員の面接を受けに行き、その都度落ちていきます。すでに次の人が決まっている面接はやめてください。私の次の人がニ

コニコと笑って職員さんと話していました。時間と履歴書を用意して行くんです。その場面に私は愕然としました、噂通り！

- ・引っ越してきたばかり（6年前）は、窓口の対応も悪く（上下水道課や個人宅の焼却炉での火もやしについての問い合わせをしたときなど、本当にびっくりするほど不親切でした。このことと言えば今頃になってやっと「やめるように」というような広報がでてホッとしました）、転入してきて嫌な気持ちになりました。ただ一番身近な市民課はとても丁寧だったので、個人の力量に頼るところが大きく、意思統一されているようには感じませんでした。
- ・市職員の移動により、専門のことがわからない職員がいるときがあります。移動することも大切ですが、専門知識が必要です。何とかならないでしょうか？
- ・行政は市民の声、意見が反映されることを願っています。田中保育園移転の件、図書館の場所など市民の意見が反映されたのでしょうか？何か結果が決まっていて理由が後から付いてくる感じだと思う。特に図書館はもっともっと考えてほしかった。図書館はもっと広くてみどりのある静かな場所であってほしかった。凄く残念です。
- ・自治の精神をもっと市民と話し合うべし。
- ・現在行われている整備計画がずさんであったり、補助金が削減されたりもっと計画を慎重に練り市民の声も反映してほしい。
- ・市政、行政の内容が一般市民にわかりやすく伝えてほしい。知らない間に色々なことが決まっていくことが多く、その後の説明会などに行ったとしても、市民の希望を受け入れてもらえる隙がないように思った。合併も実はよく知らないうちに合併することになっていたというのが実感です。高校の多部制も、後から市民の声を受け入れられない段になってから知らされた感が大きかった。保育園の園庭芝生化も外観は良くても、その為の労力や費用のことを考えるとどうなのか、市民の意見が通る場をもっとしっかり知らせてほしいと思っています。要望は受け入れてもらえないところで知らせてもらっても不満だけが残ってしまう。
- ・新しい事業計画については議会のみならず広く市民の意見も聞いて頂きたい。
- ・市政で力を入れて活動していることや取り組んでいることが幅広い世代にわかりやすく伝わるようにしてほしい。
- ・政策の認知をもっと広めるべき。もっと明確な展望を示して、周知させてこそ議論が深まるのではないのでしょうか？
- ・まちづくりそのものも大事ですが、現在ある施設をまとめた地図つきパンフレットののようなものを作り、施設にそれぞれパンフレットを配置するなどして、この街のことを外からきた人達にダイレクトに、かつわかりやすく伝えるのも重要だと思います。
- ・地域行事の中に行政職員が顔を出すなどして、積極的に声をひろう必要があると考えます。参加されない方は不満が多く、参加されている方に、どうすれば参加されない方を集めることができるかのヒントがあるのではないのでしょうか。

6. その他

- ・「東御市」を「とうみ市」にするか別の名称に替えてほしい。普通に読める人が居ないため知名度は上がらない。
- ・実態が良く分からないので回答は良く分からなかったところがあります。
- ・アンケート等は 20 才以上の方限定にして頂きたいです。市のことについて私は全然分かりません。なので今回答えるのも大変でした。だとしたら市のことについて分かっていたり、市議会議員選挙などで投票権のある 20 才以上の成人の方がアンケートに参加をした方が良いでしょう。
- ・答えにくい質問が多かった（一般の人にはわかりにくい）
- ・東御の方へ越してきてまだ 1 年経ちません。なのでアンケートの方も「わからない」「どちらともいえない」が多くなってしまいました。これからに期待しています。
- ・花岡市長が頑張って下さっているので、東御市にすんでいて良かったなと思います。
- ・答えにくい質問形式、回答するのがイヤになった。質問がわかりにくく的を得てない。これらのアンケート結果で何がどう参考になるのか分からない。紙と時間の無駄。
- ・私には分からないことや市町村合併のことなどが答えにくかったです。
- ・どのようにして人を選ぶんですか？もっと若い人の方がよいと思います。
- ・アンケートに伴い改善されるのでしょうか、不安です。アンケートは何に使われるのか？結果はどうなっているのか？行政は何をしたいのか分からない。
- ・今回の質問に「わからない」がなかった（どちらとも言えないにした）。
- ・村の役に問題があります。区の集まりでお酒を飲んだりするのは良いと思うのですが、飲酒運転をさせるのがどうかと思います。区長さんに言ったのですが、はいはいと言うだけで、止めてもくれなかった。何かあってからでは遅い責任問題です。役なんてやりたくないです。

